

# 多摩川水系河川整備計画 参考資料

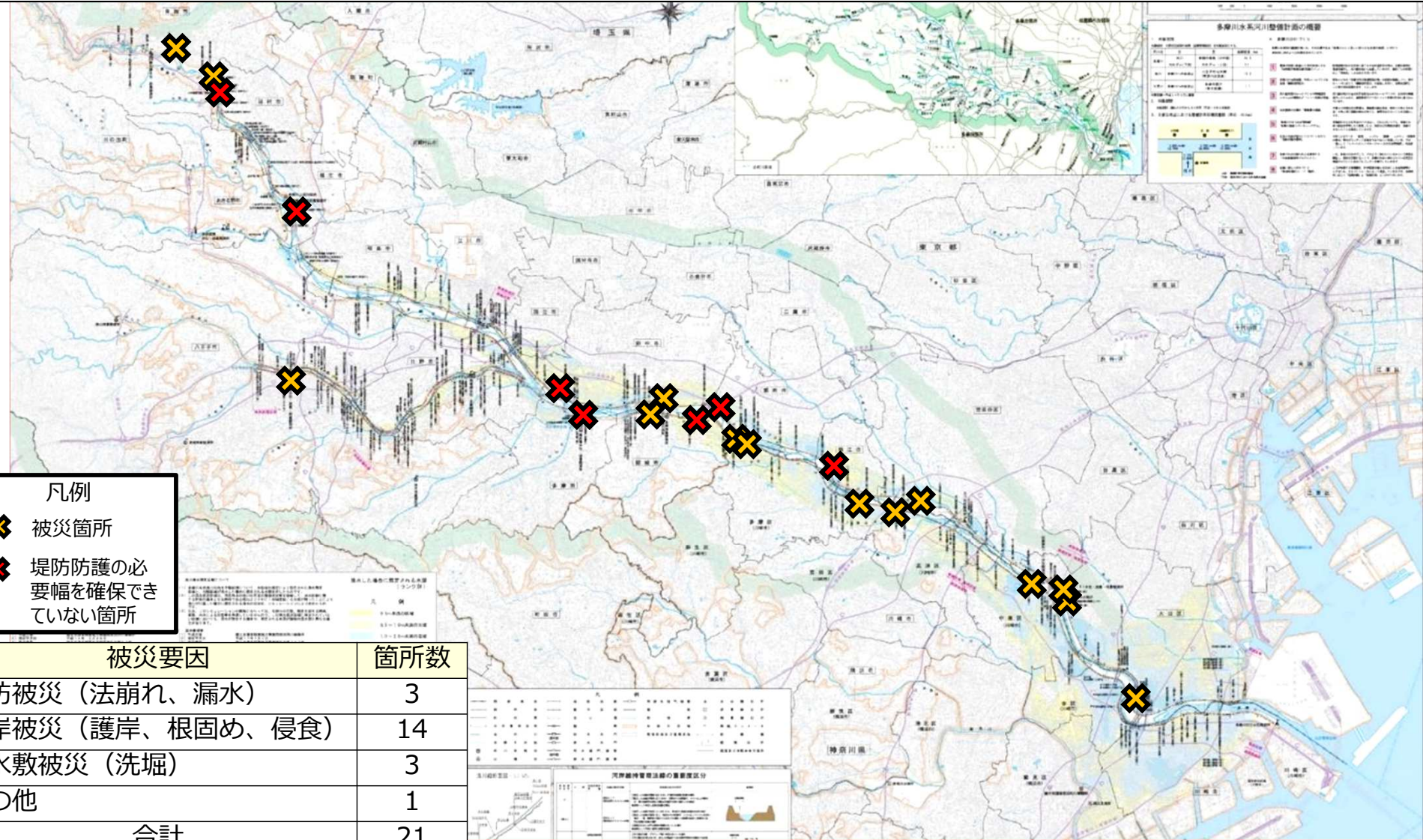
令和7年5月20日  
国土交通省 京浜河川事務所

# 水衝部対策

# (1) 令和元年東日本台風による洪水の被災 ① 河川の被害概要

## 河川堤防や河岸等の被害概要

- 多摩川・浅川では21箇所において堤防や河岸等の被災が発生した。
- このうち、河岸被災（護岸、根固め、侵食）や高水敷被災（洗堀）といった被災は17箇所になる。
- 河岸被災（護岸、根固め、侵食）や高水敷被災（洗堀）の生じた17箇所のうち、**7箇所では堤防防護の必要幅(40m)を確保できていない箇所の被災**であり、侵食が堤防まで拡大すれば破堤によって家屋浸水など重要な被害が発生する恐れがあった。



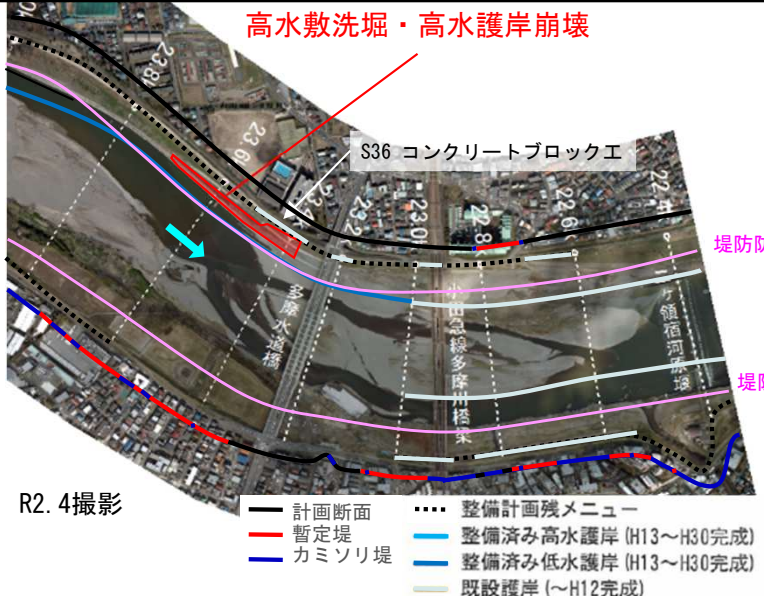
■ 河岸被災（護岸、根固め、侵食）や高水敷被災（洗堀）の生じた17箇所のうち、**7箇所では堤防防護の必要幅(40m)を確保できていない箇所の被災**であり、侵食が堤防まで拡大すれば破堤によって家屋浸水など重要な被害が発生する恐れがあった。

堤防防護の必要幅を確保できていない箇所

被災箇所番号	地先名	測点		延長	被災内容	痕跡水位(水深)	護岸設置時期	構造物に関する要因		河道線形上の要因					
								護岸の老朽化又は強度不足	構造物周り	湾曲による水衝	低水路の張り出し	川幅の急拡・急縮	砂州の固定化	砂州と滞筋の移動	
①	東京都大田区西六郷四丁目	左岸	7.6k-85m~7.6k+128m	213m	低水護岸崩壊	HWL超過(2.8m)	H12以前	○		○					
②	東京都大田区田園調布南	左岸	12.6k-30m~12.6k+27m	57m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL超過(5.3m)	H12以前	○	○ 橋脚周辺	○					
③	東京都大田区田園調布本町	左岸	12.8k-65m~12.8k+5m	70m	漏水	HWL超過	-								
④	神奈川県川崎市中原区上丸子天神町	右岸	13.6k-44m~13.6k+128m	172m	低水護岸崩壊	HWL超過(6.2m)	H12以前	○		○					
⑤	東京都世田谷区宇奈根一丁目	左岸	19.4k-87m~19.4k+4m	91m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL以下(3.4m)	H12以前	○		○	○				
⑥	神奈川県川崎市高津区宇奈根	右岸	20.0k-23m~20.0k+16m	39m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL以下(3.5m)	H12以前	○		○					
⑦	神奈川県川崎市多摩区宿河原七丁目	右岸	21.0k+123m~21.4k-51m	226m	河岸侵食	HWL以下(3.4m)	-								○
⑧	東京都狛江市元和泉三丁目	左岸	23.4k-66m~23.6k+94m	360m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL超過(4.2m)	H12以前	○		○					○
⑨	神奈川県川崎市多摩区菅野戸呂	右岸	27.0k+84m~27.0k+187m	103m	堤防法崩れ	HWL超過(2.9m)	-					○			
⑩	東京都調布市多摩川三丁目	左右岸	27.6k+84m	一式	水位計流失	HWL超過	-								
⑪	東京都調布市上石原三丁目~東京都府中市押立町四丁目	左岸	28.6k+35m~28.6k+197m	162m	水制工流出	HWL超過(4.8m)	H13以降(水制が被災)			○					○
⑫	東京都稲城市押立	右岸	29.2k-70m~29.2k+70m	140m	河岸侵食	HWL超過(1.8m)	-			○					
⑬	東京都府中市小柳町六丁目	左岸	30.6k+39m~30.6k+159m	120m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL超過(3.0m)	H12以前	○		○					○
⑭	東京都稲城市大丸	右岸	31.0k-48m~31.4k-94m	256m	河岸侵食	HWL超過(3.0m)	-			○					
⑮	東京都多摩市関戸	右岸	34.4k-19m~34.4k+101m	120m	高水敷洗堀	HWL以下(2.0m)	H13以降(護岸の被災無)								○
⑯	東京都府中市住吉町五丁目	左岸	35.0k+0m~35.0k+40m	40m	高水敷洗堀	HWL以下(2.5m)	H13以降(護岸の被災無)		○ 護床工袖部						○
⑰	東京都福生市大字熊川	左岸	49.6k-23m~49.6k+90m	123m	高水敷洗堀	HWL以下(2.5m)	H13以降(護岸の被災無)			○					
⑱	東京都羽村市玉川一丁目	左岸	53.2k+15m~53.2k+91m	76m	低水護岸崩壊	HWL以下(2.8m)	H12以前	○	○ 床止直下						
⑲	東京都羽村市羽西二丁目	左岸	55.6k-114m~55.6k-72m	42m	低水護岸崩壊	HWL以下(1.5m)	H12以前	○							○
⑳	東京都青梅市河辺町三丁目	左岸	58.2k+58m~58.2k+76m	18m	根固ブロック流出	HWL以下(3.1m)	H13以降(根固が被災)			○					
㉑	東京都八王子市中野上町一丁目	左岸	浅川11.4k-68m~11.4k+0m	68m	低水護岸崩壊 高水敷洗堀	HWL超過(1.1m)	H13以降(撥付部が被災)		○ 床固端部撥付	○					

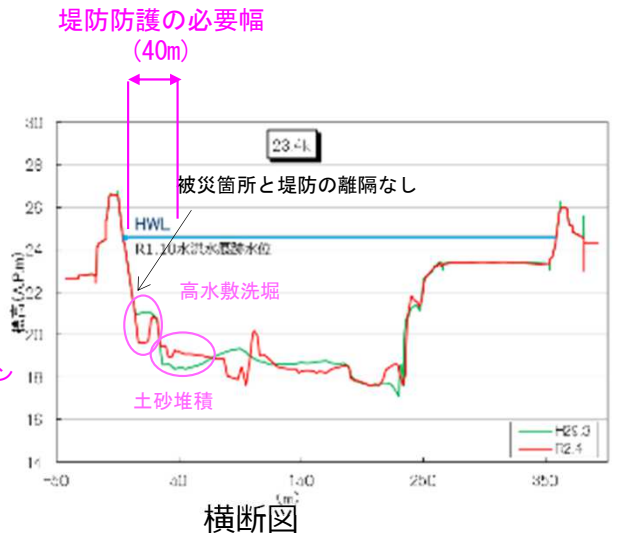
# (2)被災箇所状況 ⑧ 狛江市元和泉三丁目

- 左岸23.4k-66m~23.6k+94m：高水敷洗堀及び高水護岸崩壊
- 被災箇所において、堤防・低水護岸は完成されているが、高水護岸に関しては一部未整備である。また、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所となっている。
- 堤防法尻付近において高水敷洗堀及び高水護岸崩壊が発生し、下流には多摩水道橋があることから、被災が拡大すれば橋の損壊による交通途絶など重大な被害が発生する恐れがあった。

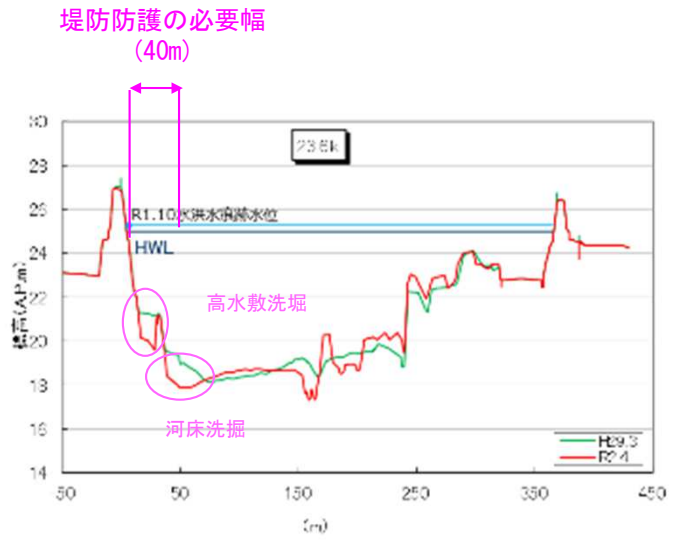


R2. 4撮影

被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況



横断面図



横断面図



出水時斜め写真 R1.10.13撮影

出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)

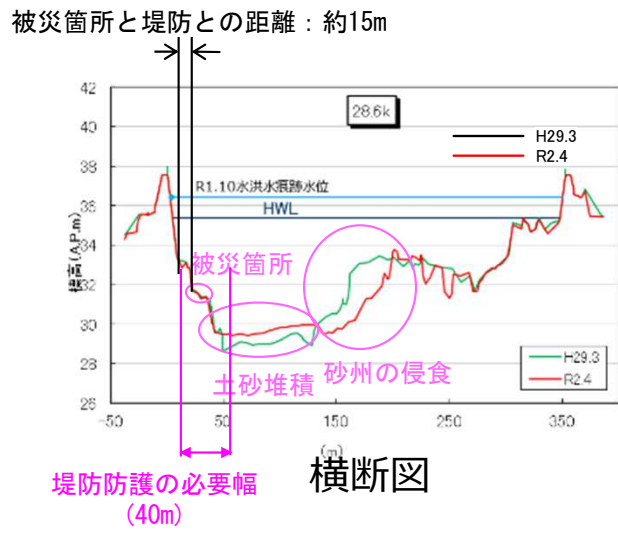
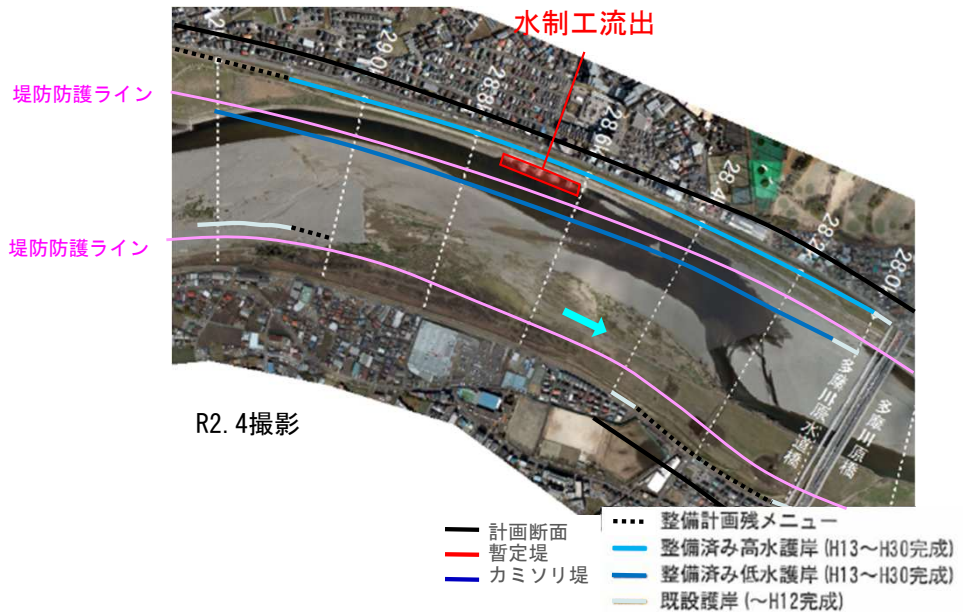


被災状況 (高水敷洗堀)



被災状況 (高水護岸崩壊)

- 左岸28.6k+35m～28.6k+197m：水制工流出
- 被災箇所において、堤防・高水護岸・低水護岸は完成しているが、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所である。
- 被災箇所と堤防の距離は15mと短く、痕跡水位はHWLを超過しており、被災が堤防まで拡大すれば破堤による家屋浸水など重大な被害が発生する恐れがあった。



被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況

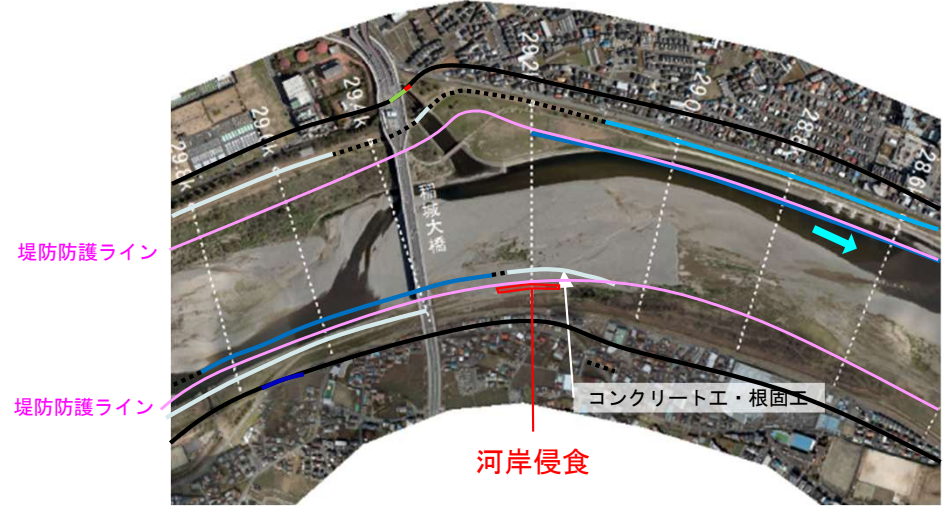


被災状況（水制工流出）



被災状況（水制工流出）

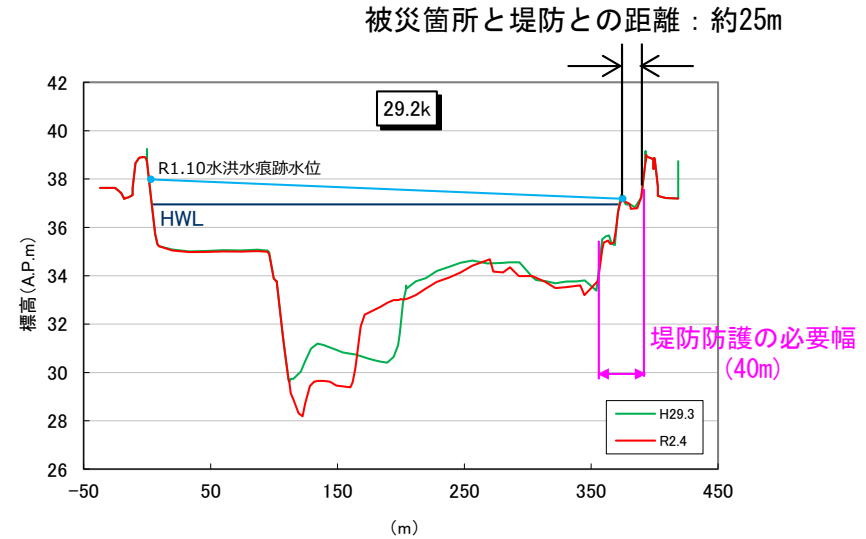
- 右岸29.2k-70m～29.2k+70m：河岸侵食
- 堤防は整備済みであり、低水護岸にはコンクリートブロック工及び根固め工が整備されているが、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所である。



R2.4撮影

- 計画断面 (Planned section)
- 整備計画残メニュー (Remaining improvement plan menu)
- 暫定堤 (Temporary dike)
- カミソリ堤 (Notched dike)
- 暫々定 (Temporary)
- 既設護岸 (Existing bank)
- 整備済み高水護岸 (H13～H30完成) (Completed high water bank)
- 整備済み低水護岸 (H13～H30完成) (Completed low water bank)
- 既設護岸 (～H12完成) (Existing bank)

被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況



横断図



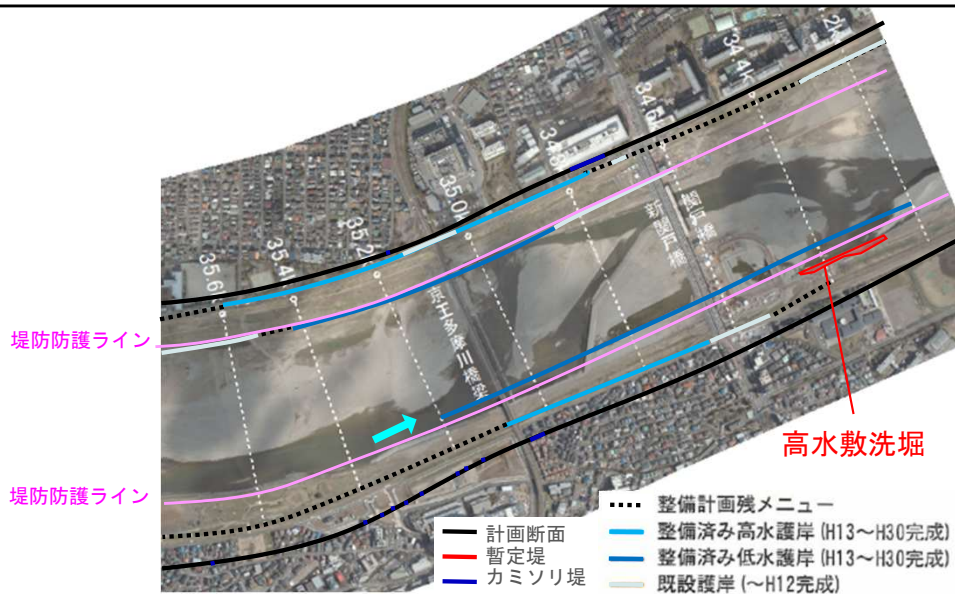
出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)



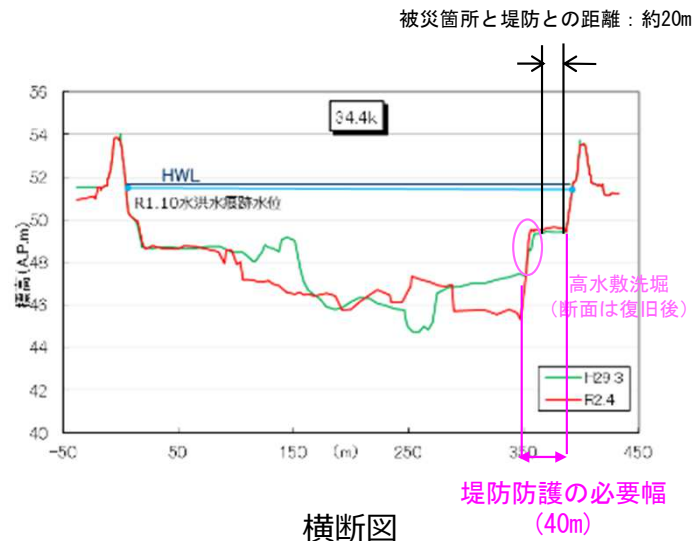
被災状況 (河岸侵食)



- 右岸34.4k-19m~34.4k+101m：高水敷洗堀
- 被災箇所において、堤防・低水護岸は完成しており、高水護岸は一部未整備であり、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所である。
- 被災箇所と堤防の距離は20mと短く、被災が拡大すれば破堤による家屋浸水など重大な被害が発生する恐れがあった。



R2.4撮影 被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況



横断面図



出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)



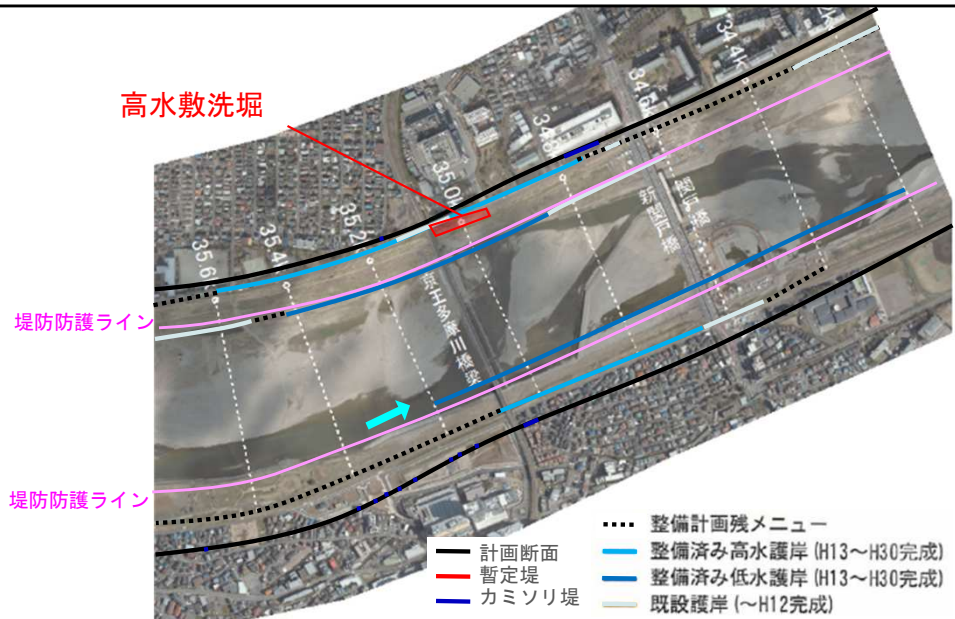
被災状況 (高水敷洗堀)



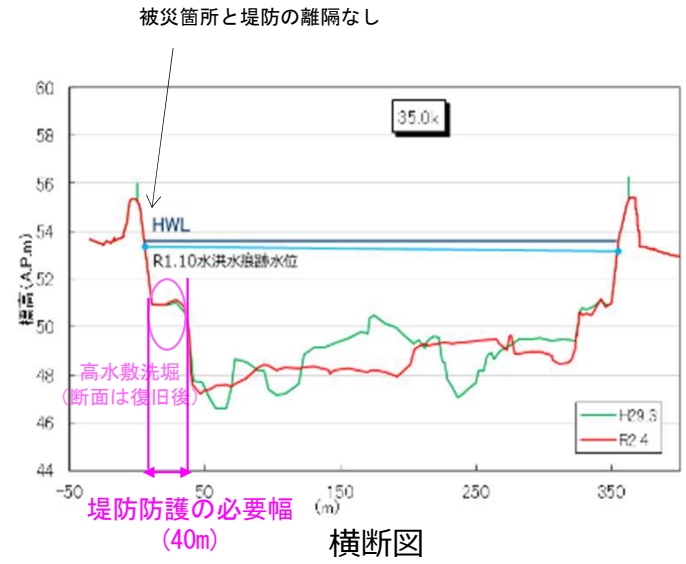
被災状況 (高水敷洗堀)



- 左岸35.0k+0m～35.0k+40m：高水敷洗掘
- 被災箇所において、堤防・低水護岸・高水護岸は完成している。堤防防護の必要幅（40m）は確保されているが、洪水流が高水敷に乗り上げ堤防法尻付近において高水敷洗掘が発生し、直上流には京王多摩川橋梁があることから、被災が拡大すれば橋の損壊による交通絶など重大な被害が発生する恐れがあった。



R2.4撮影 被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況



横断面図



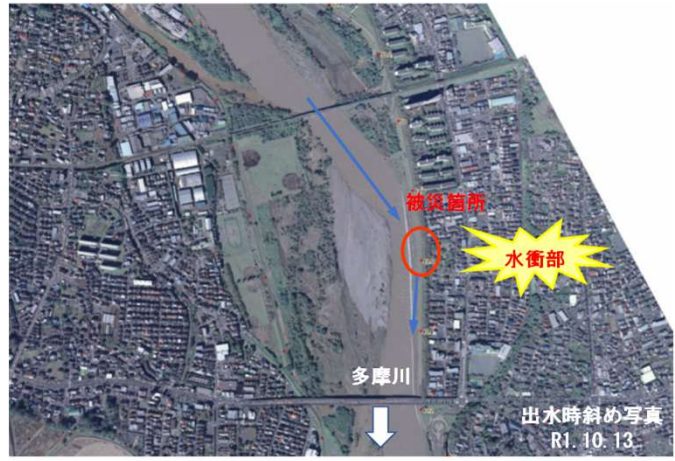
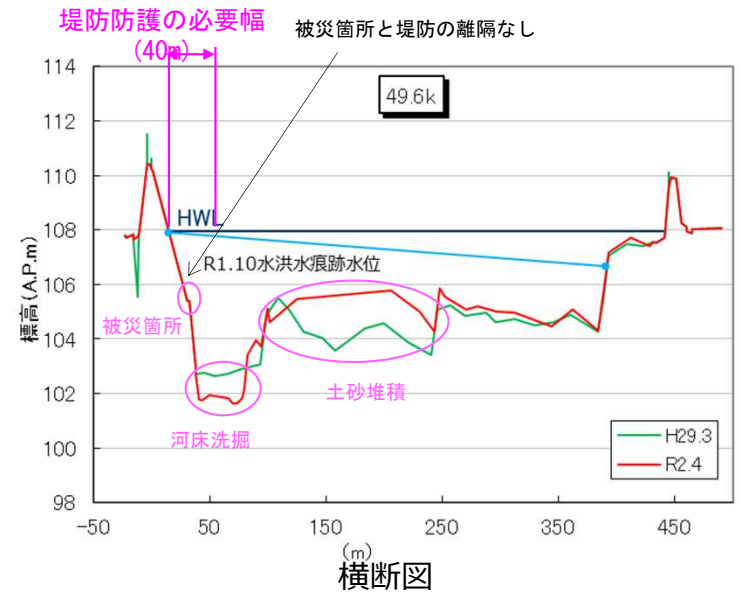
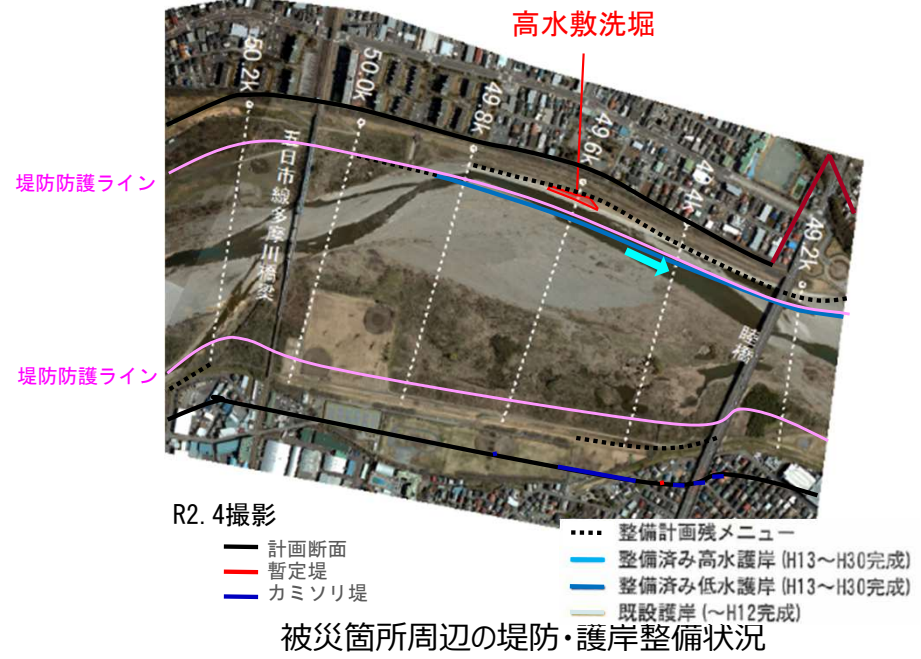
出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)



被災状況 (高水敷洗掘)

# (2)被災箇所状況 ⑰福生市大字熊川

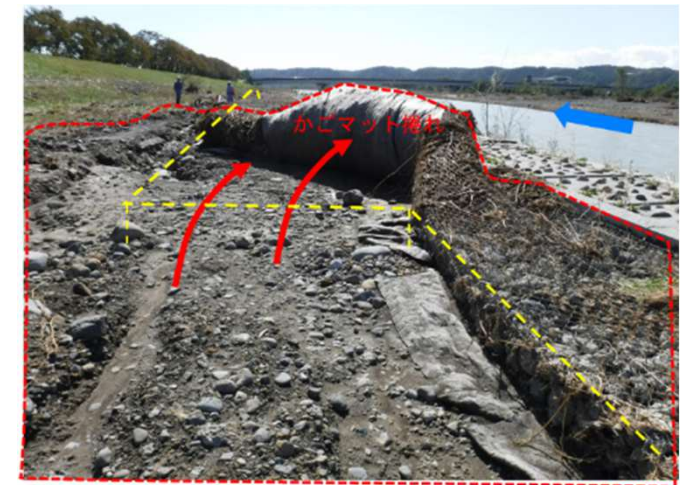
- 左岸49.6k-23m~49.6k+90m：高水敷洗掘
- 被災箇所において、堤防・低水護岸は完成されているが、高水護岸は未整備であり、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所である。
- 堤防法尻付近において高水敷洗掘が発生し、被災が拡大すれば破堤による家屋浸水など重大な被害が発生する恐れがあった。



出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)



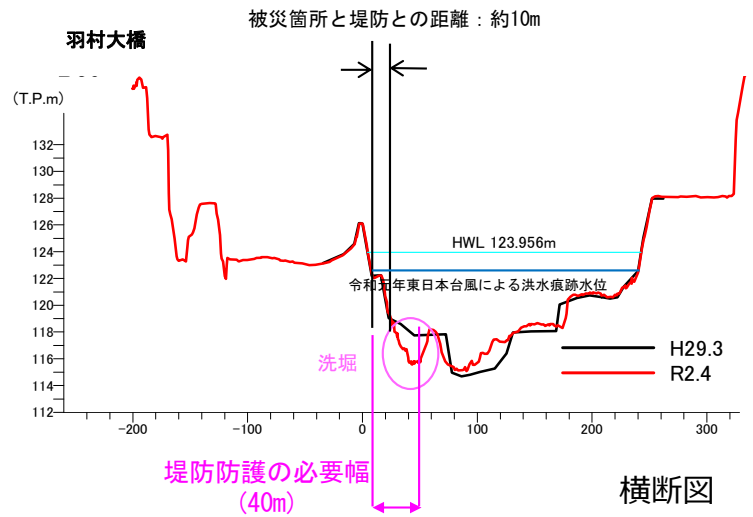
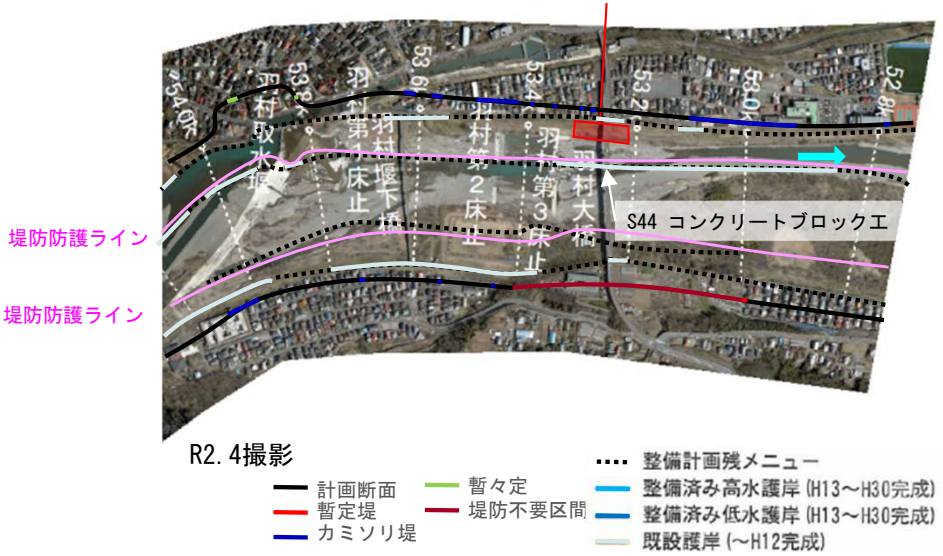
被災状況 (高水敷洗掘)



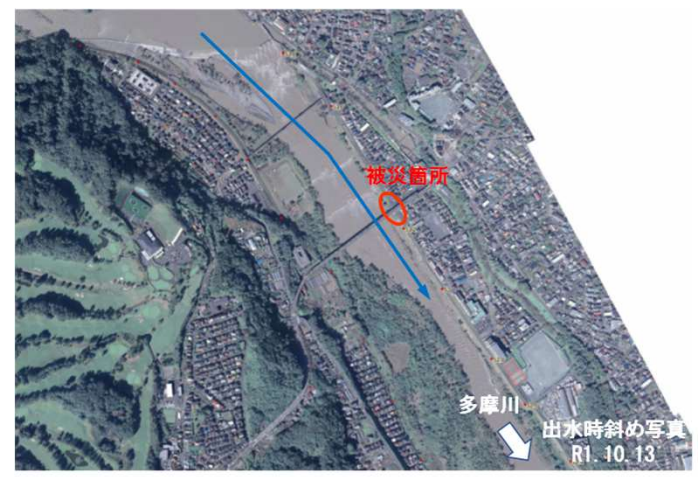
被災状況 (かごマット捲れ)

(2)被災箇所状況 ⑱羽村市玉川一丁目

- 左岸53.2k+15m～53.2k+91m：低水護岸崩壊
- 被災箇所において、堤防・低水護岸は完成されているが、高水護岸は一部未整備であり、堤防防護の必要幅（40m）が確保されていない箇所である。
- 堤防法尻から10mに地点において低水護岸崩壊が発生し、羽村大橋があることから、被災が拡大すれば橋の損壊による交通途絶など重大な被害が発生する恐れがあった。



被災箇所周辺の堤防・護岸整備状況



出水時斜め写真 (R1.10.13撮影)



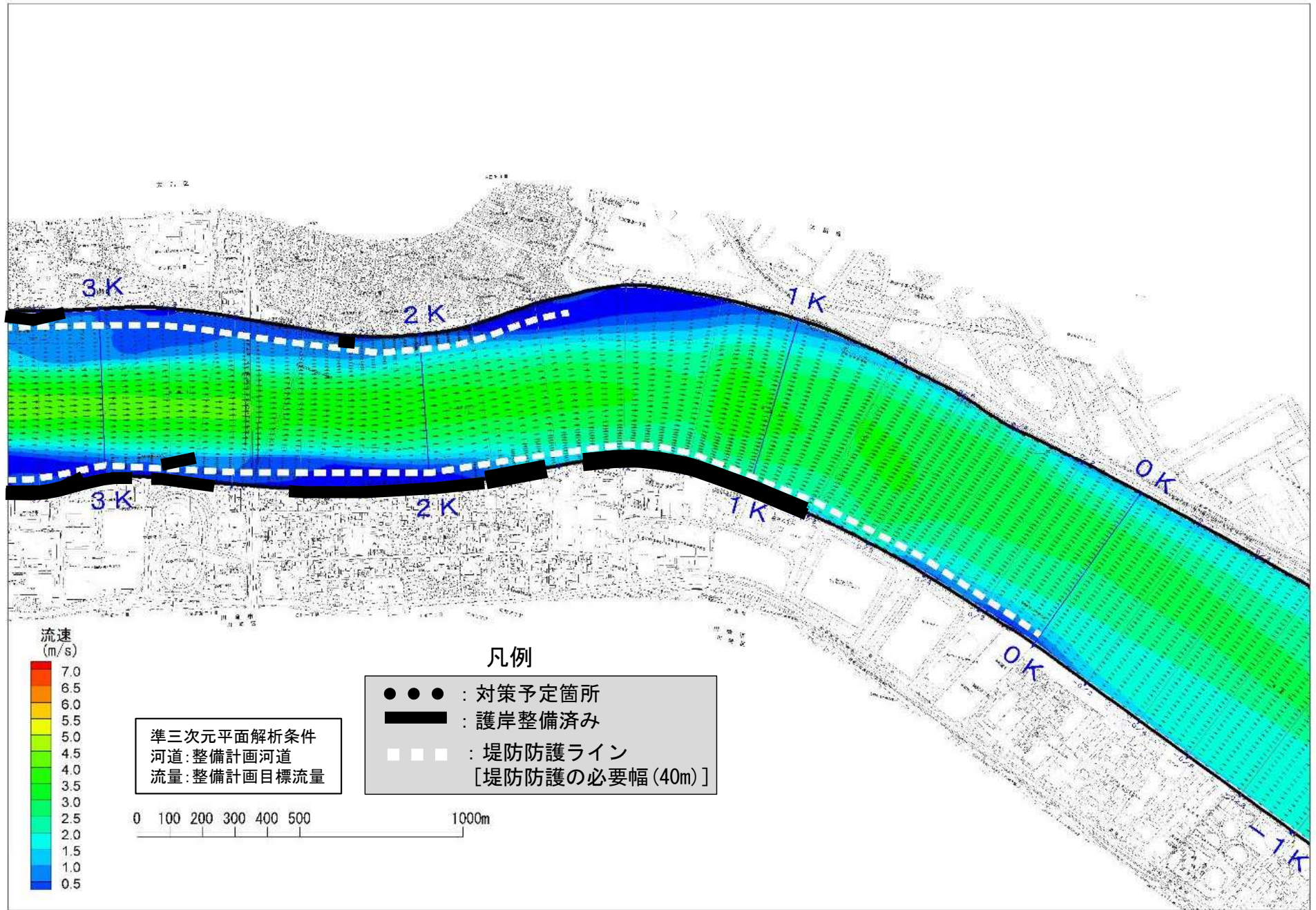
被災状況 (低水護岸崩壊)

# (3)水衝部対策の実施箇所

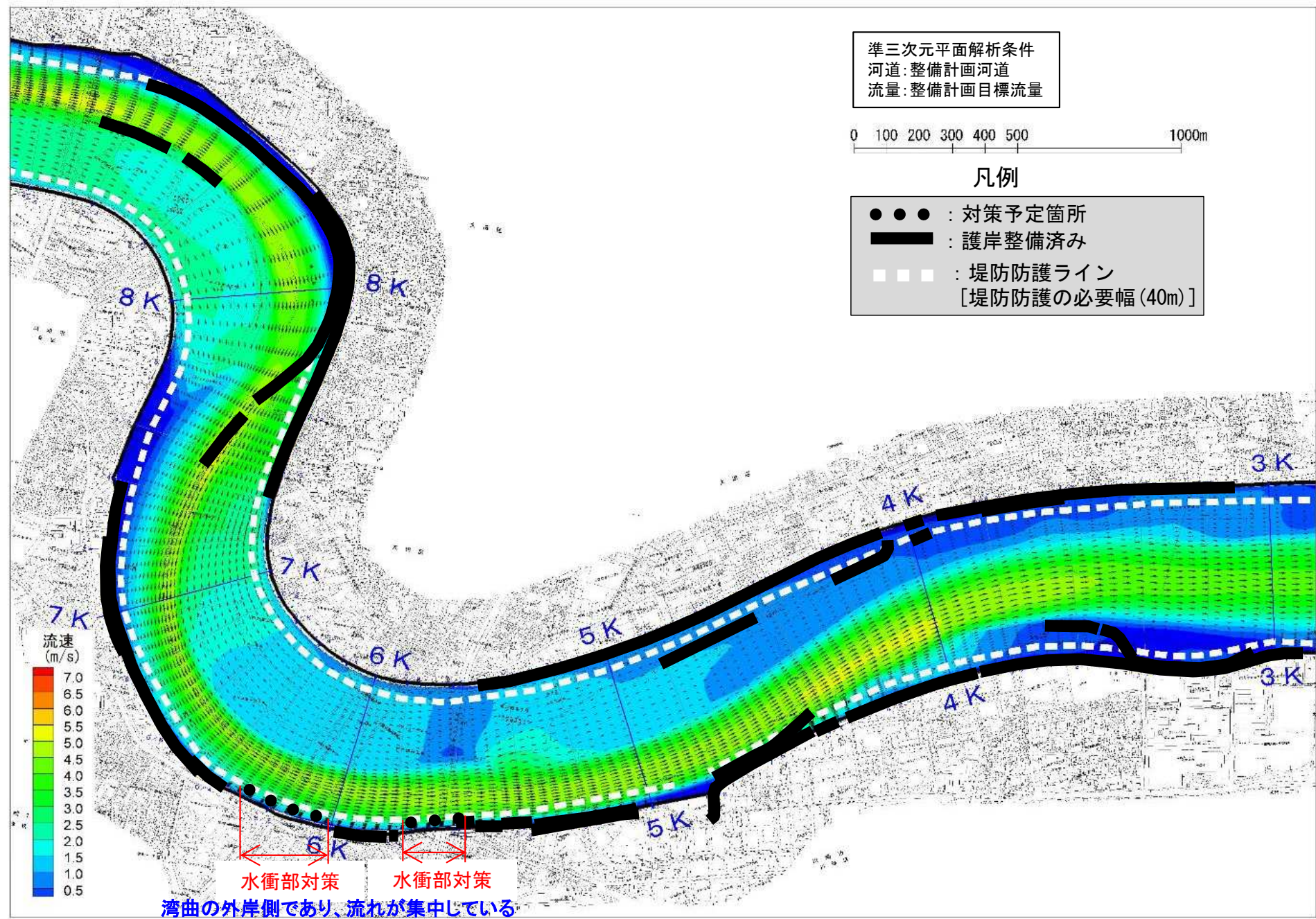
- 多摩川では15区間、浅川では8区間において水衝部対策を実施する予定である。
- 洪水時の流速ベクトル図と水衝部対策箇所の重ね合わせより、水衝部対策実施箇所は湾曲の外岸側や構造物(堰)周りなど、高流速が生じている箇所であることが確認された。

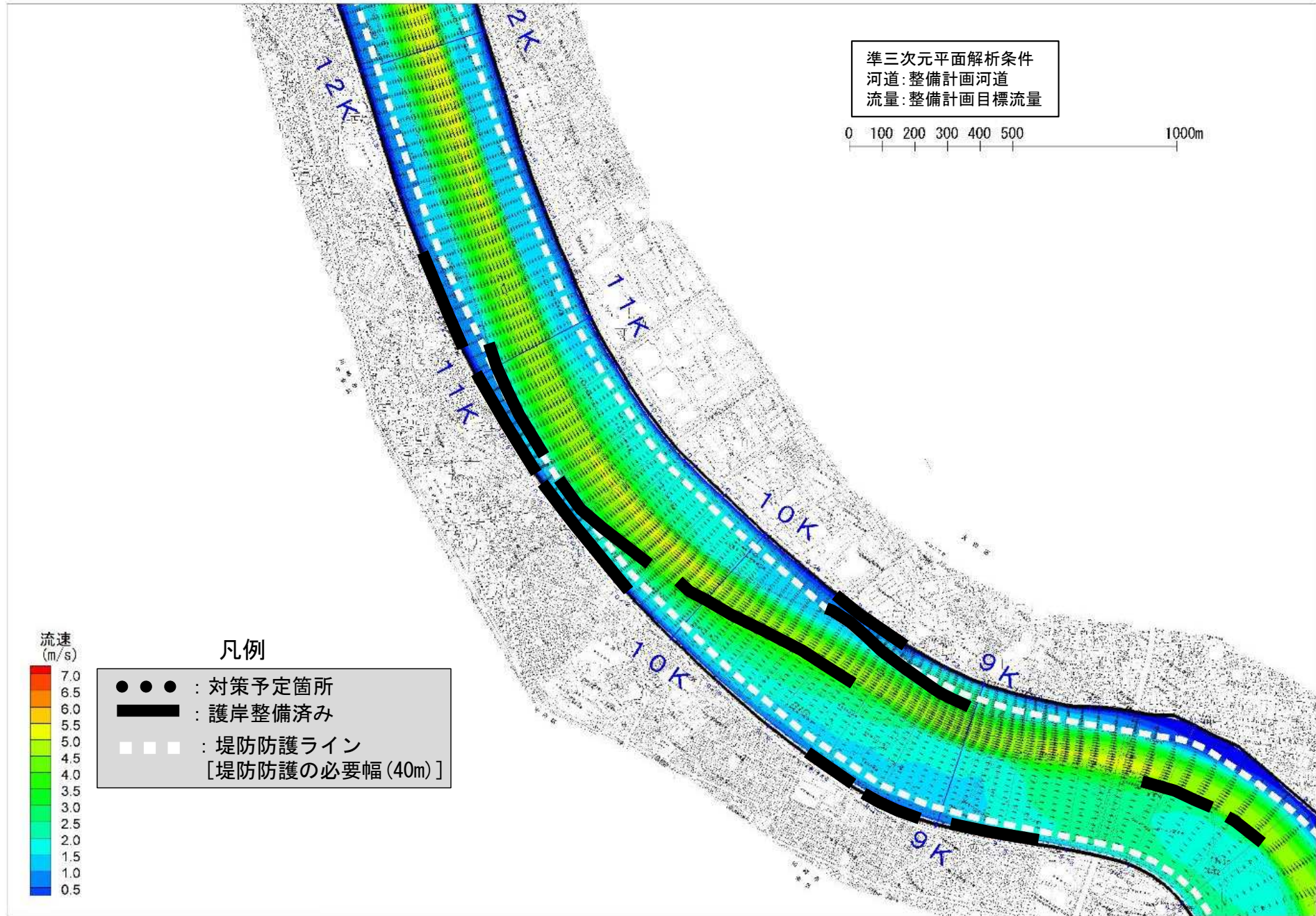
整備計画における水衝部対策箇所(案)

		区間	始点	終点	延長 (km)
多摩川	右岸	川崎市川崎区旭町～川崎市川崎区本町	5.55	5.80	0.25
		川崎市川崎区本町～川崎市幸区堀川町	6.00	6.26	0.26
		昭島市大神町	45.25	45.36	0.13
		八王子市高月町	47.80	48.40	0.63
		あきる野市羽	53.80	54.30	0.35
	左岸	大田区田園調布	13.20	13.40	0.25
		大田区田園調布	13.40	13.60	0.33
		府中市是政	32.40	32.88	0.47
		府中市四谷	35.30	35.80	0.39
		昭島市福島町	42.85	43.35	0.50
		昭島市拝島町	47.40	48.00	0.60
		あきる野市草花	52.80	53.20	0.44
		羽村市玉川～羽村市羽中	53.80	54.20	0.40
		羽村市羽中	54.20	54.30	0.10
羽村市羽加美	54.80	55.00	0.21		
浅川	右岸	日野市高幡～日野市南平	2.20	2.60	0.42
		日野市平山	5.20	5.40	0.20
		八王子市北野町	8.00	8.20	0.22
	左岸	日野市大字石田	0.00	0.20	0.20
		日野市万願寺	1.60	2.30	0.64
		日野市豊田～日野市東平山	5.20	5.40	0.24
		日野市西平山	6.80	7.00	0.16
日野市西平山	8.00	8.20	0.23		

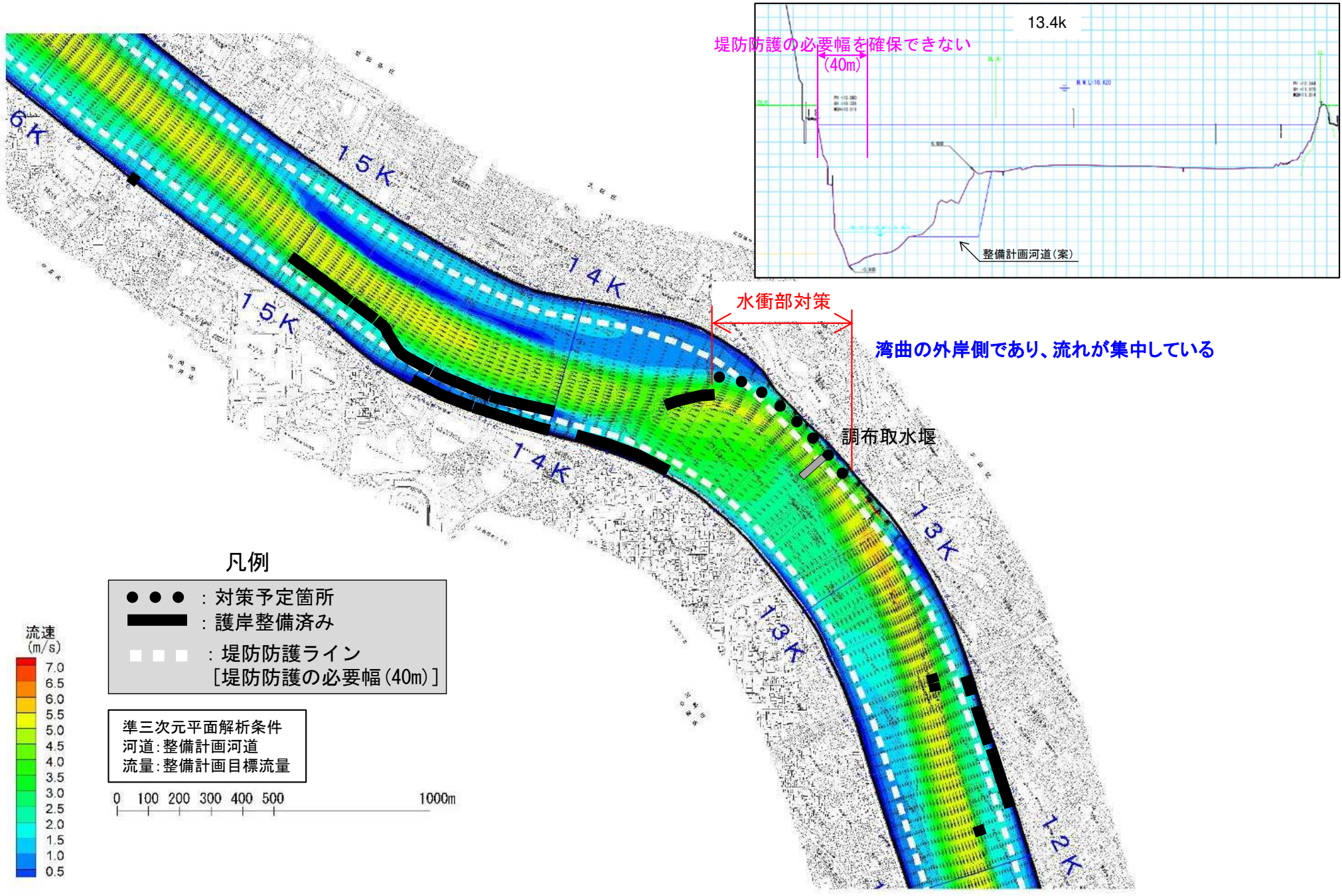


# (4)水衝部対策の実施箇所と流速分布

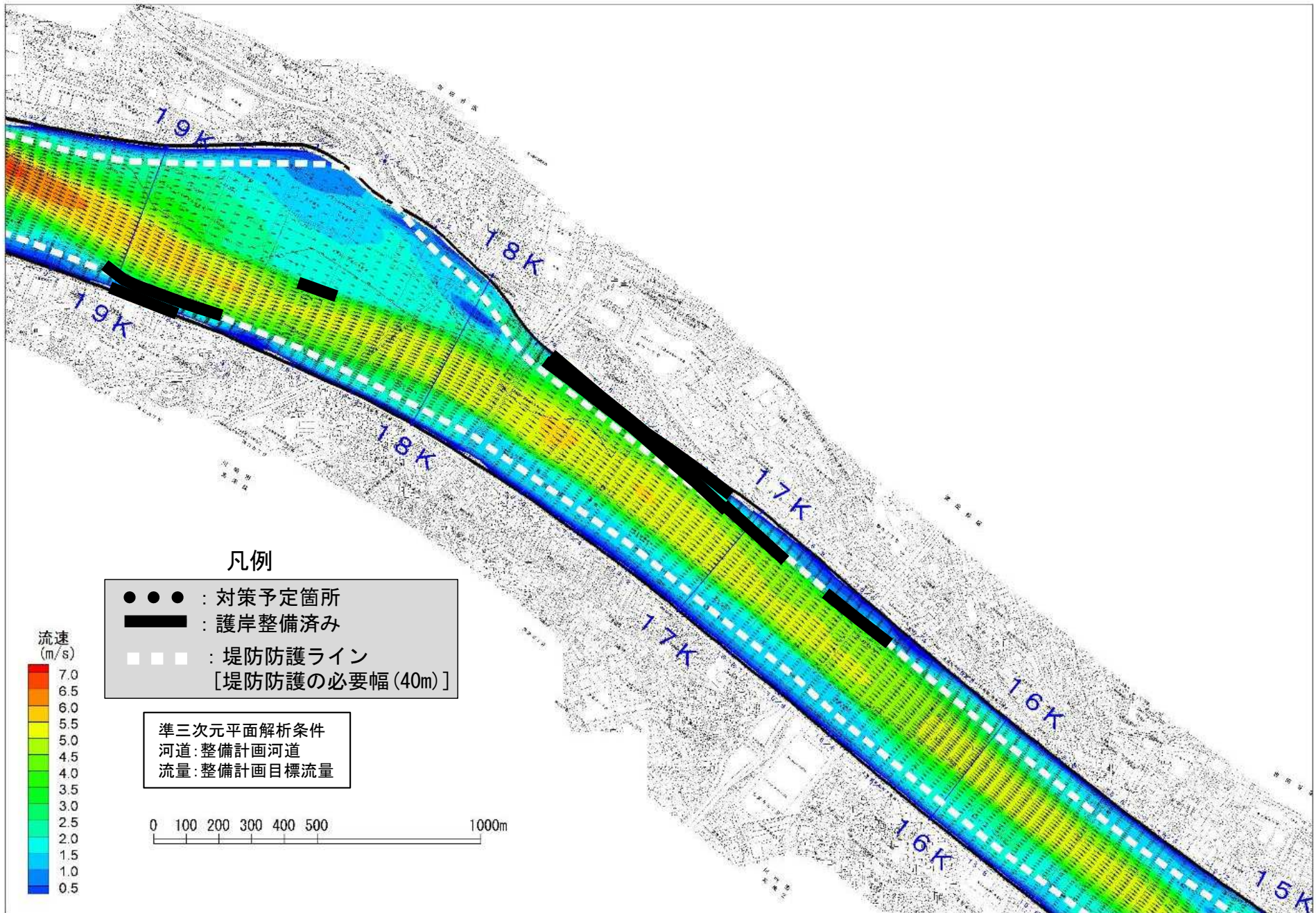


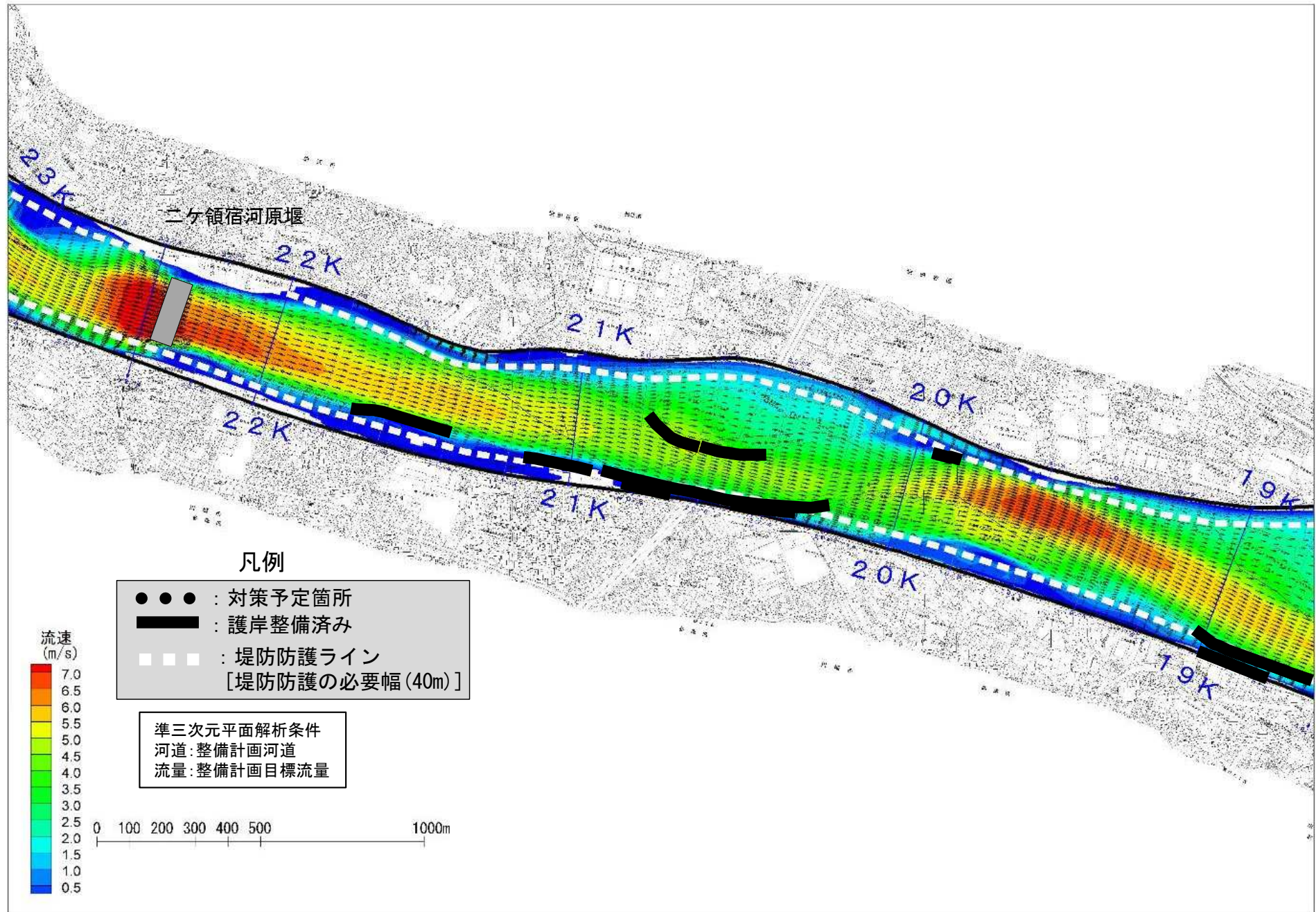


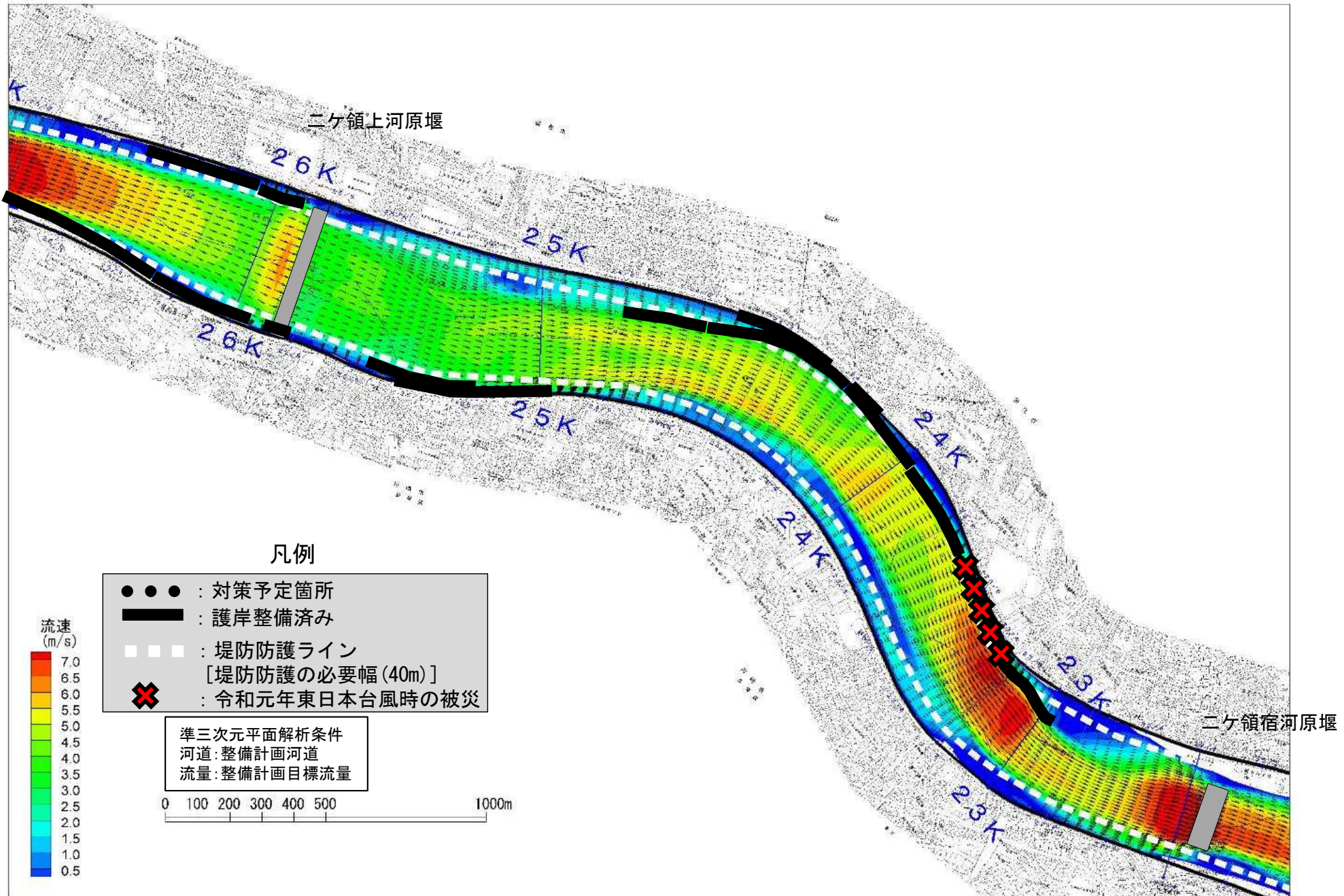
# (4)水衝部対策の実施箇所と流速分布

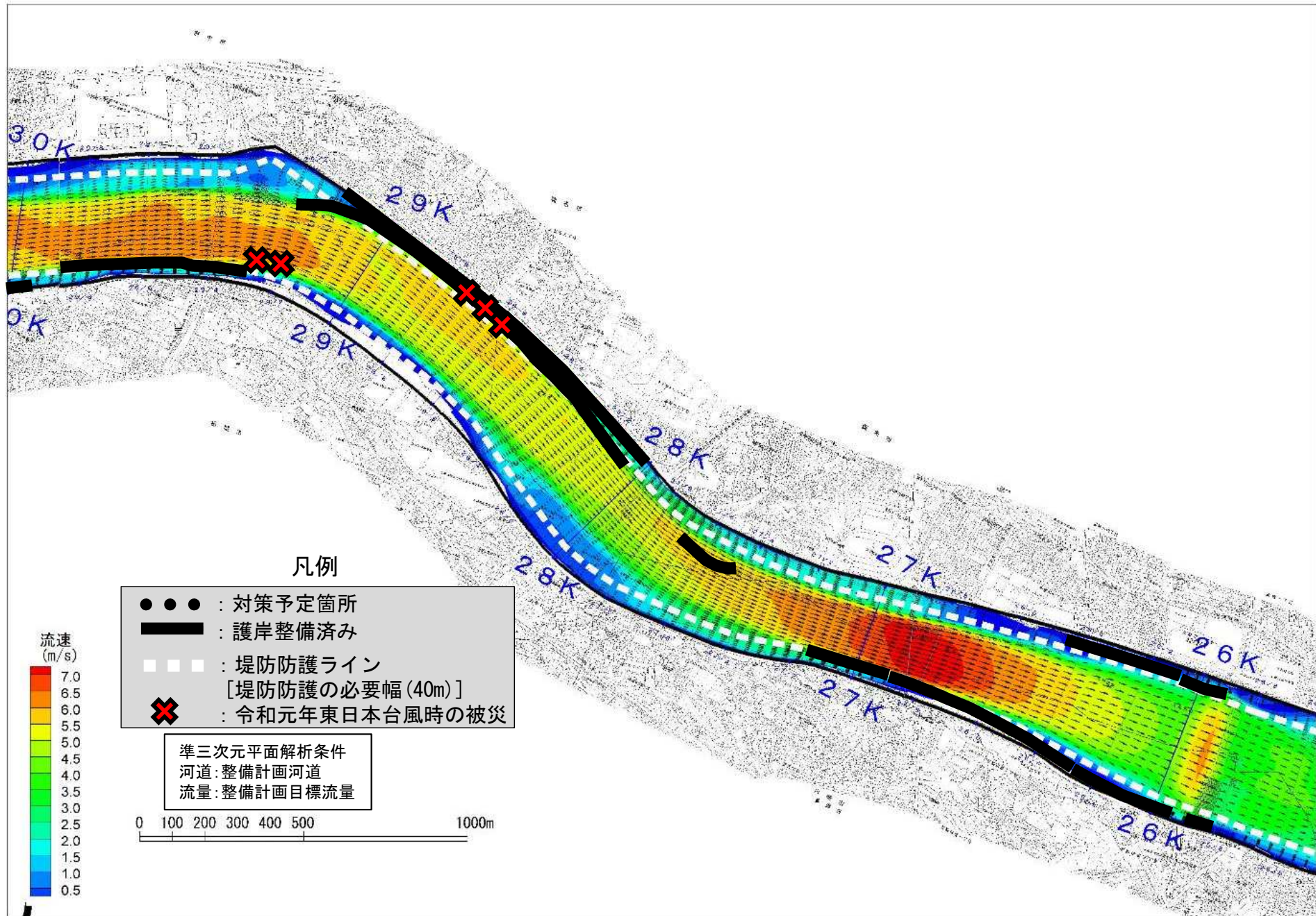


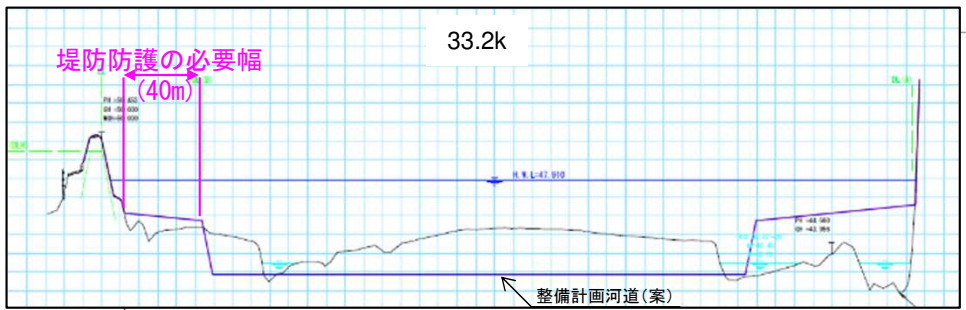




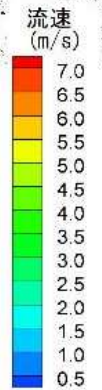
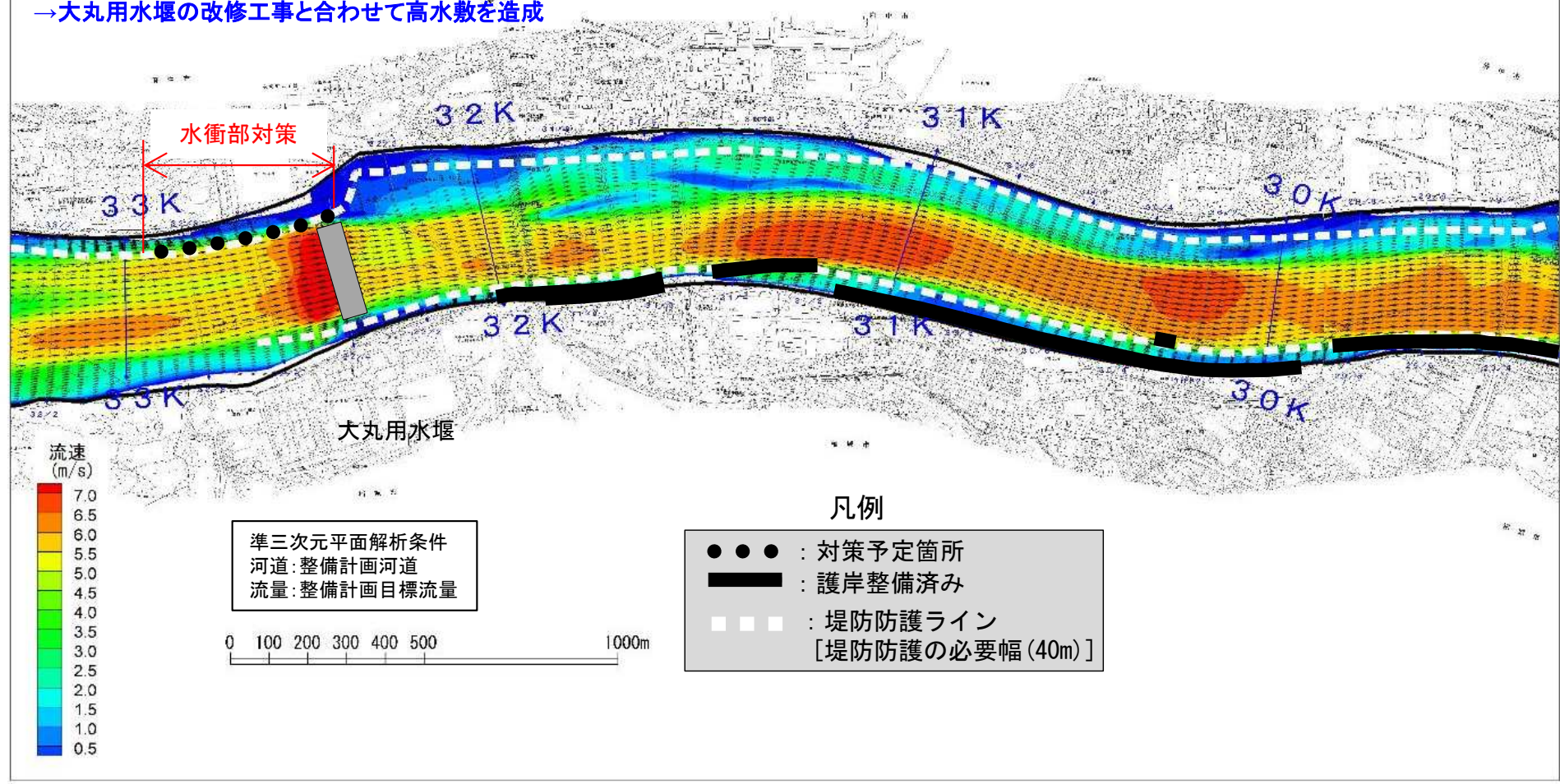






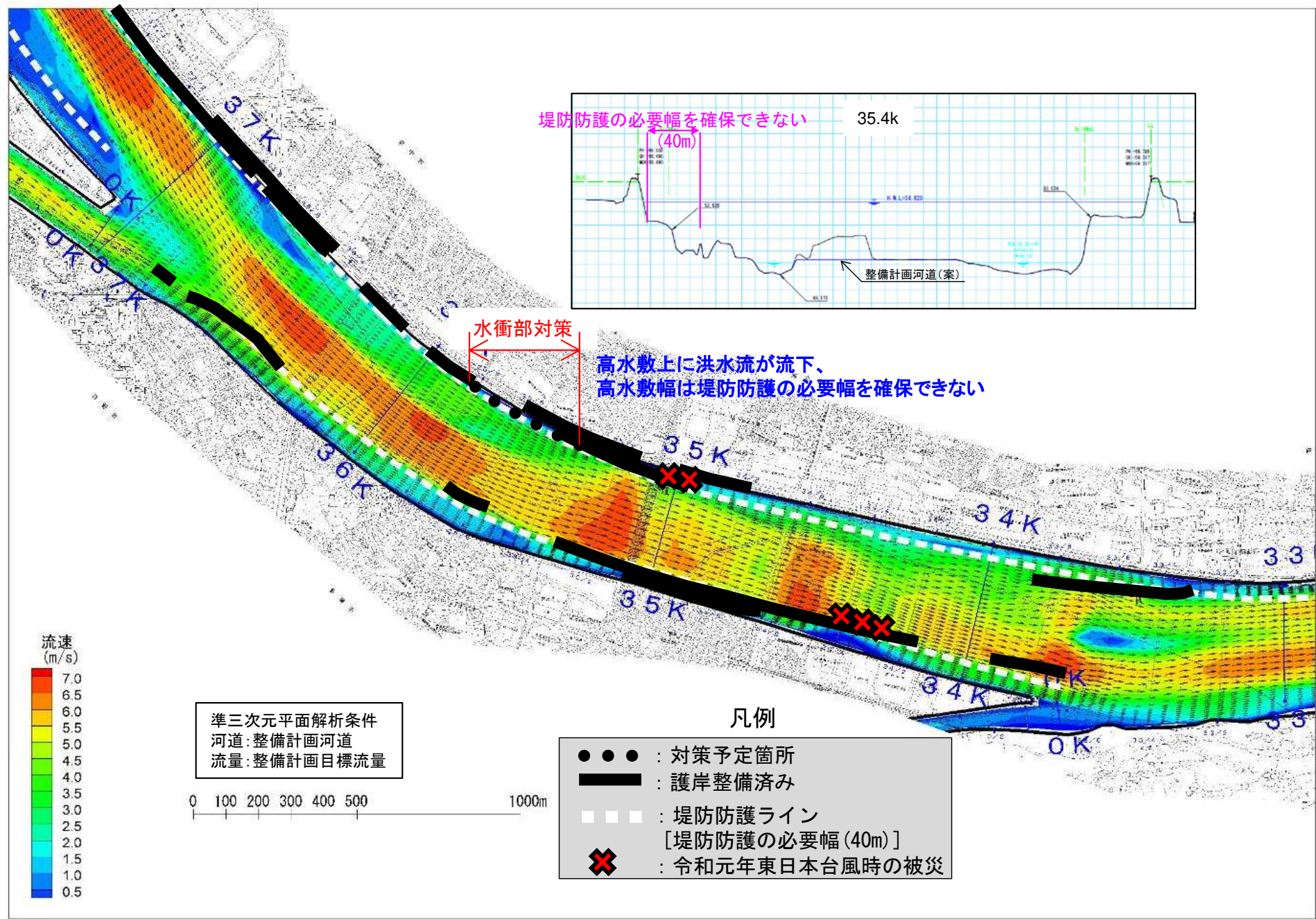


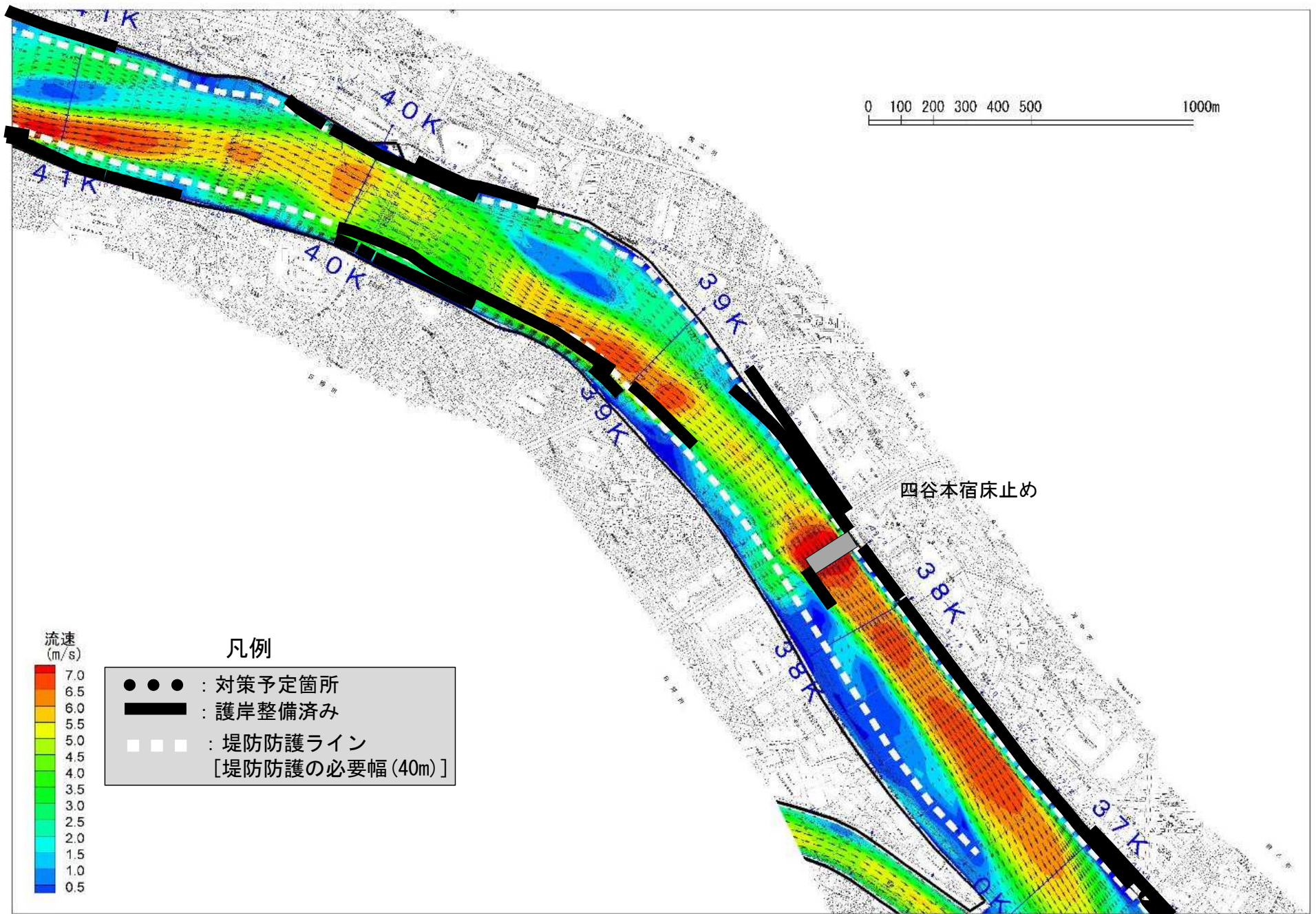
高水敷上に洪水流が流下、高水敷幅は堤防防護の必要幅を確保できていない  
 →大丸用水堰の改修工事と合わせて高水敷を造成

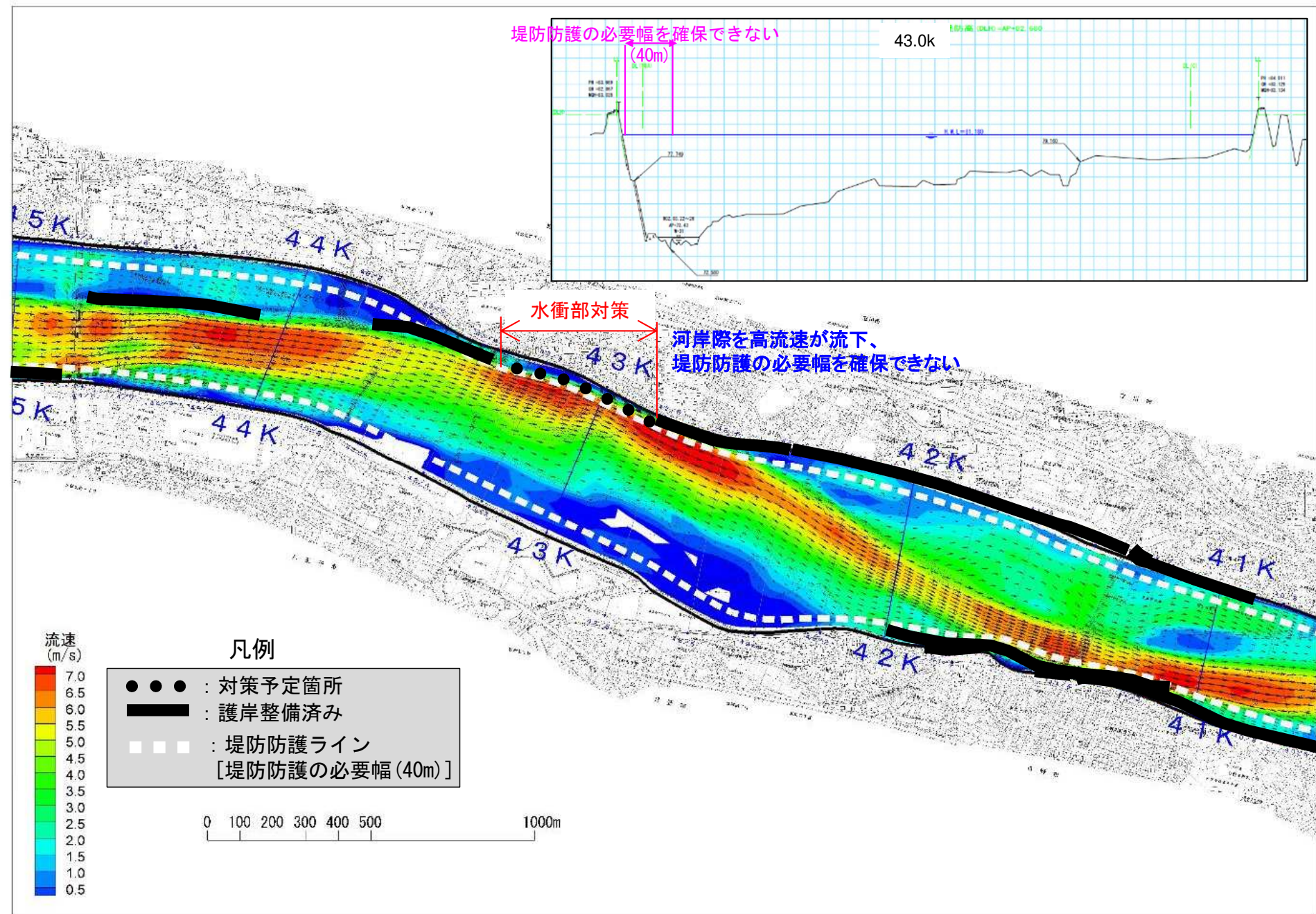


準三次元平面解析条件  
 河道: 整備計画河道  
 流量: 整備計画目標流量

- 凡例
- ● ● : 対策予定箇所
  - : 護岸整備済み
  - □ □ : 堤防防護ライン [堤防防護の必要幅(40m)]

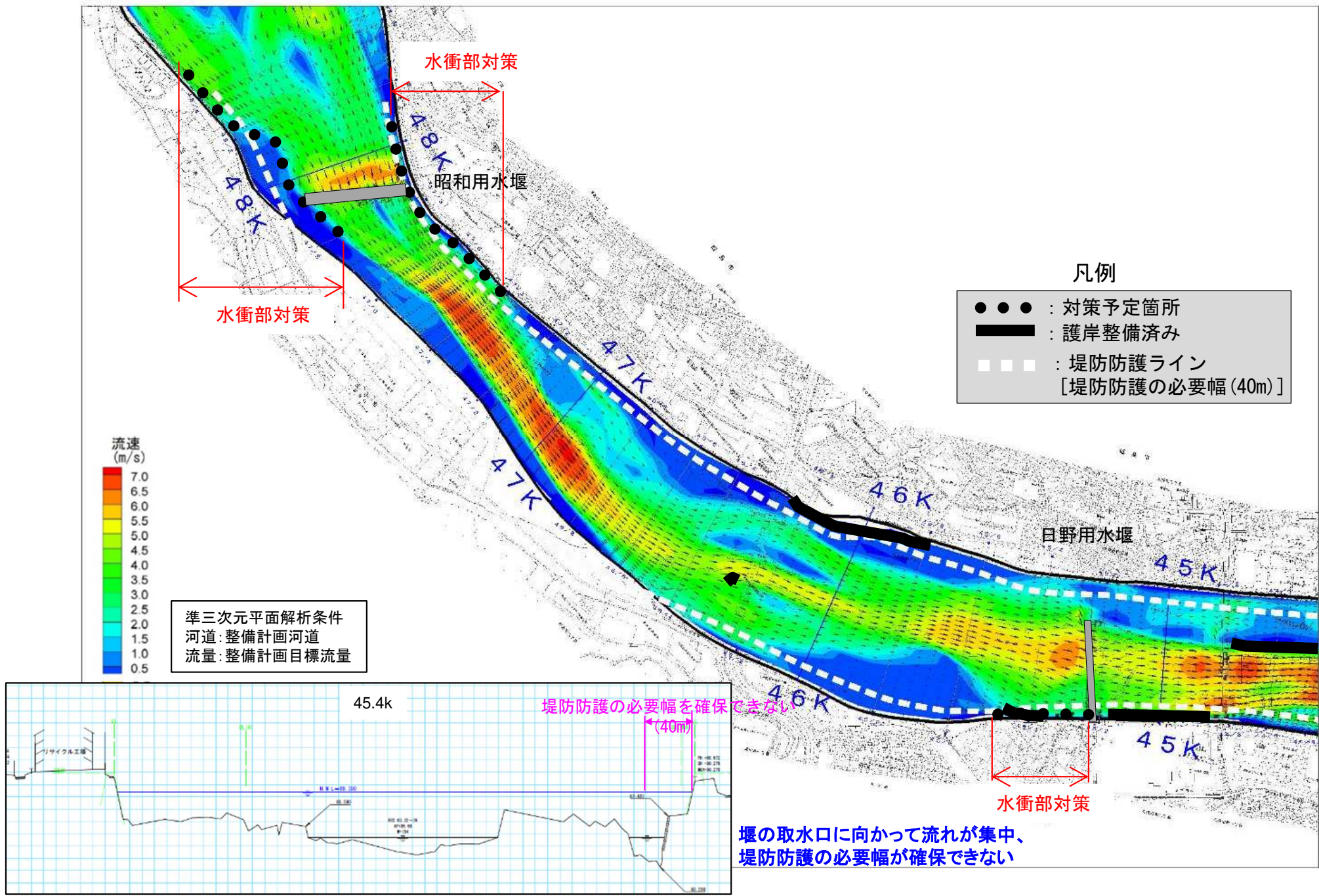


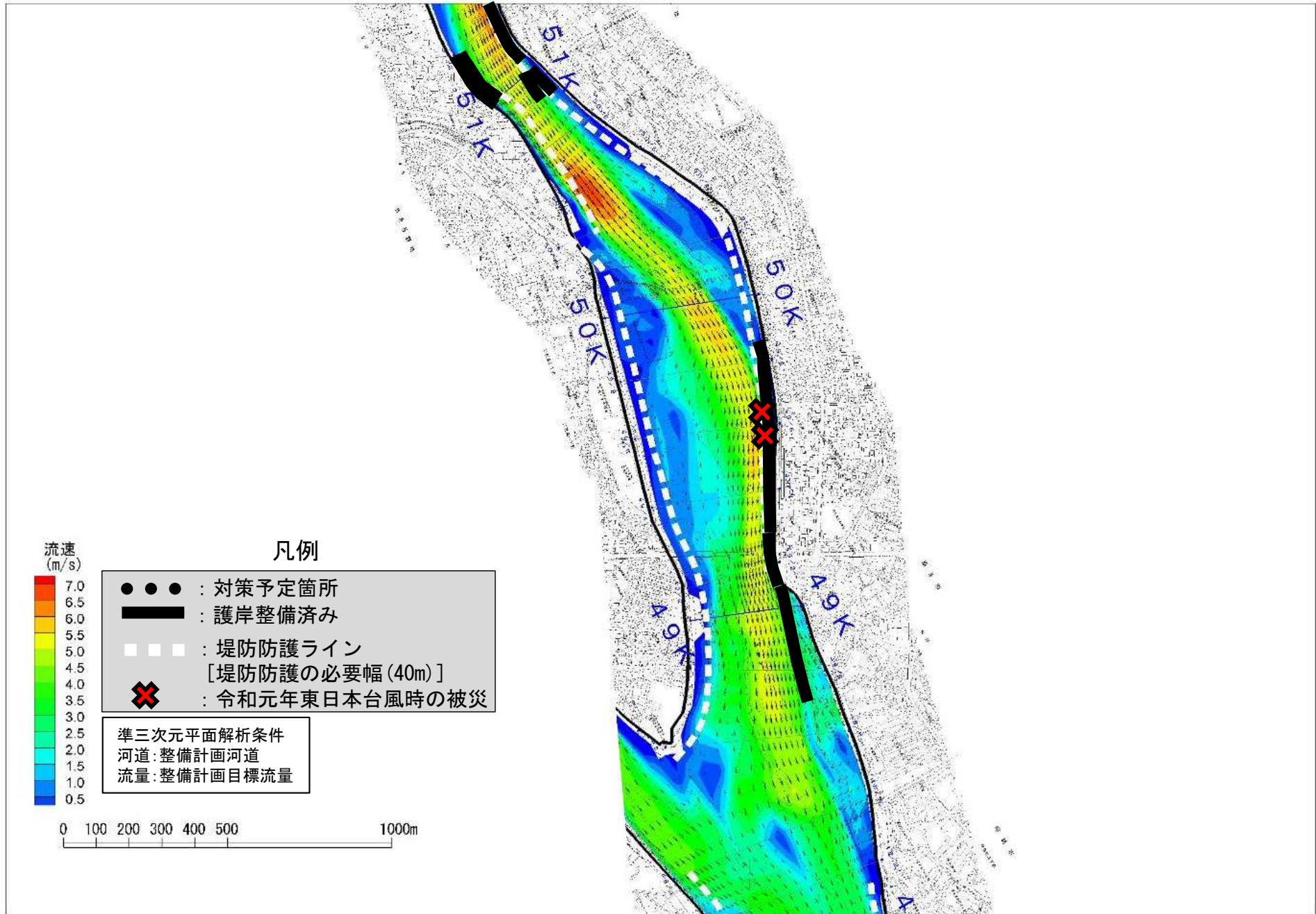


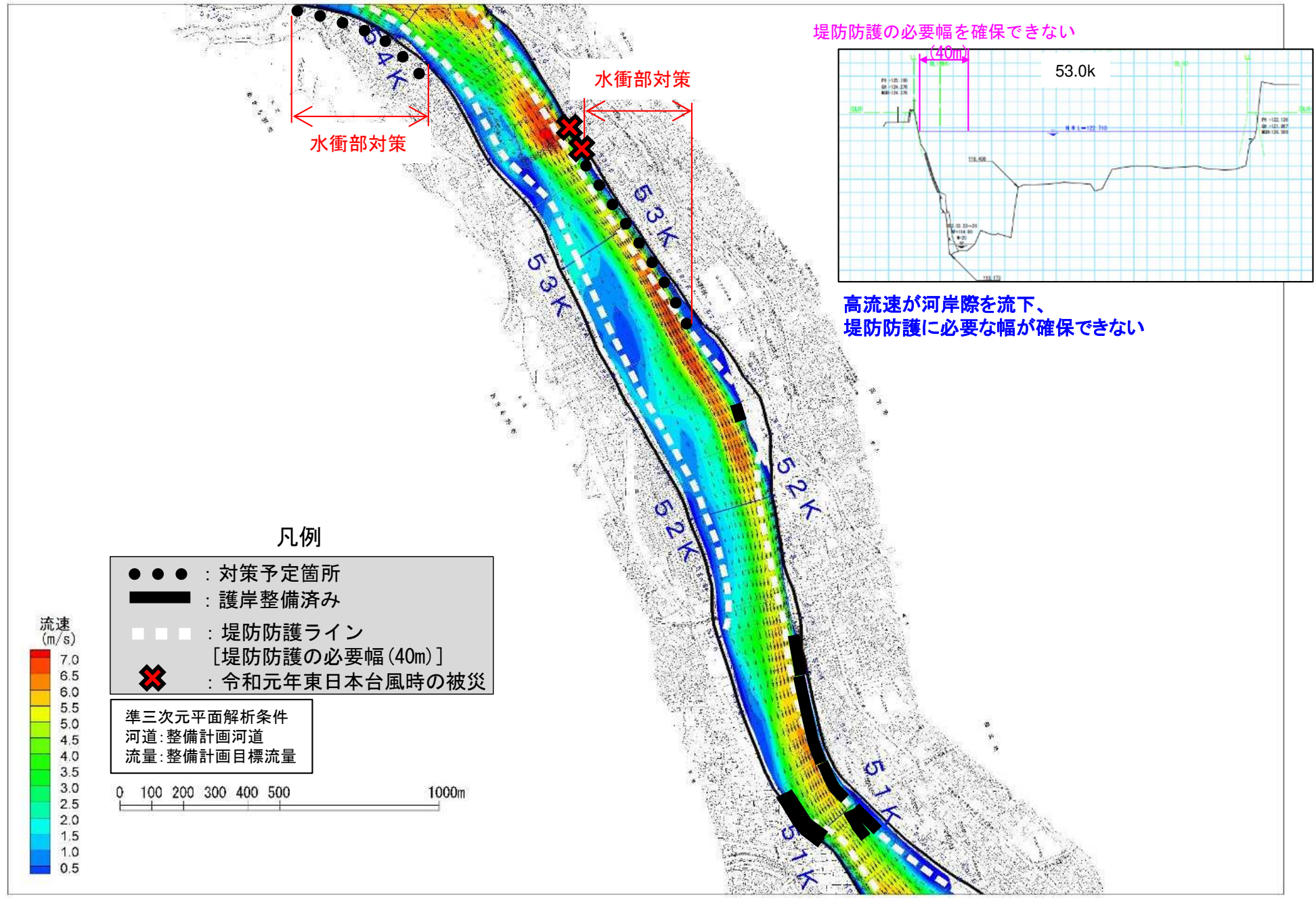




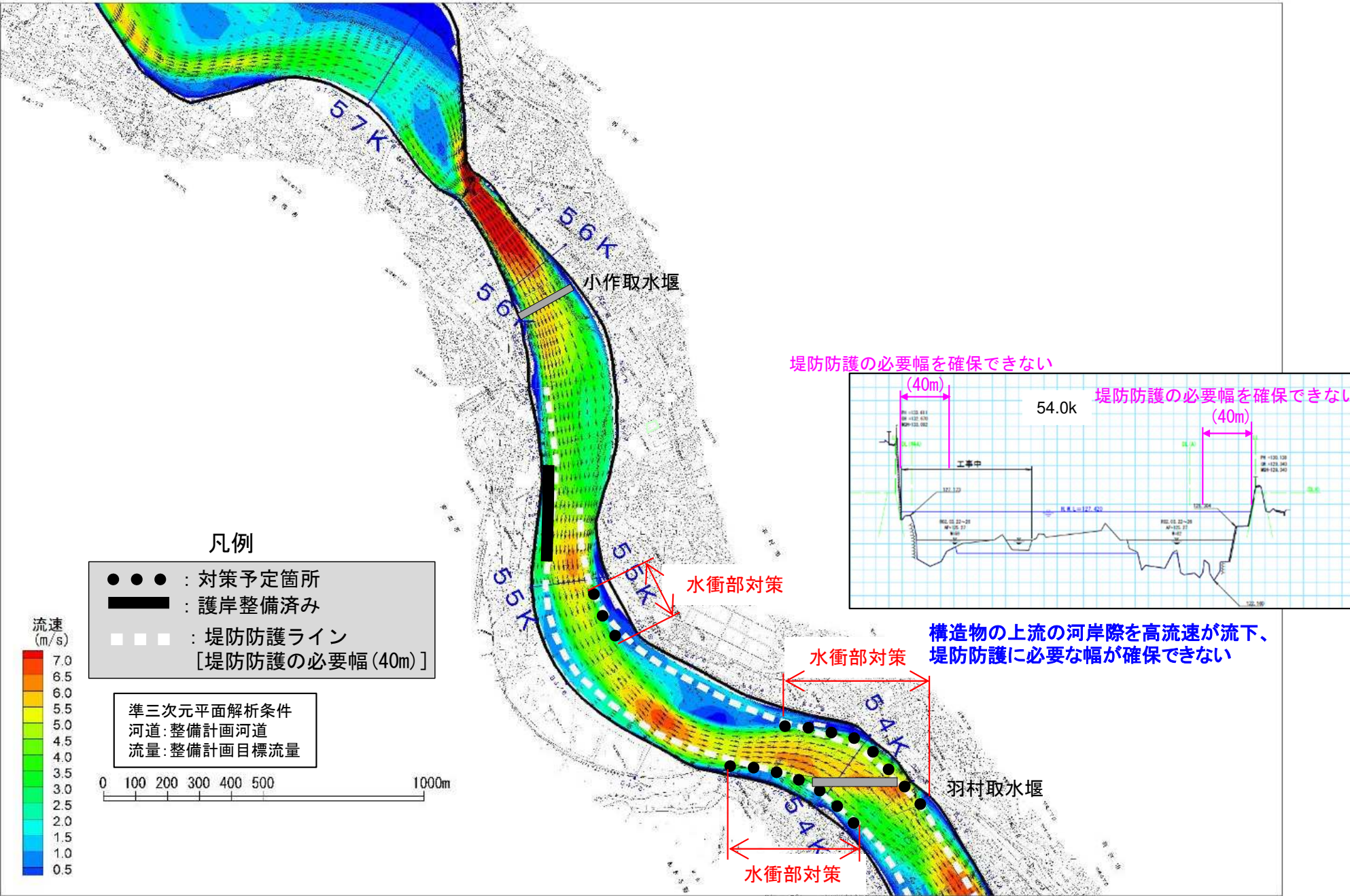
# (4)水衝部対策の実施箇所と流速分布

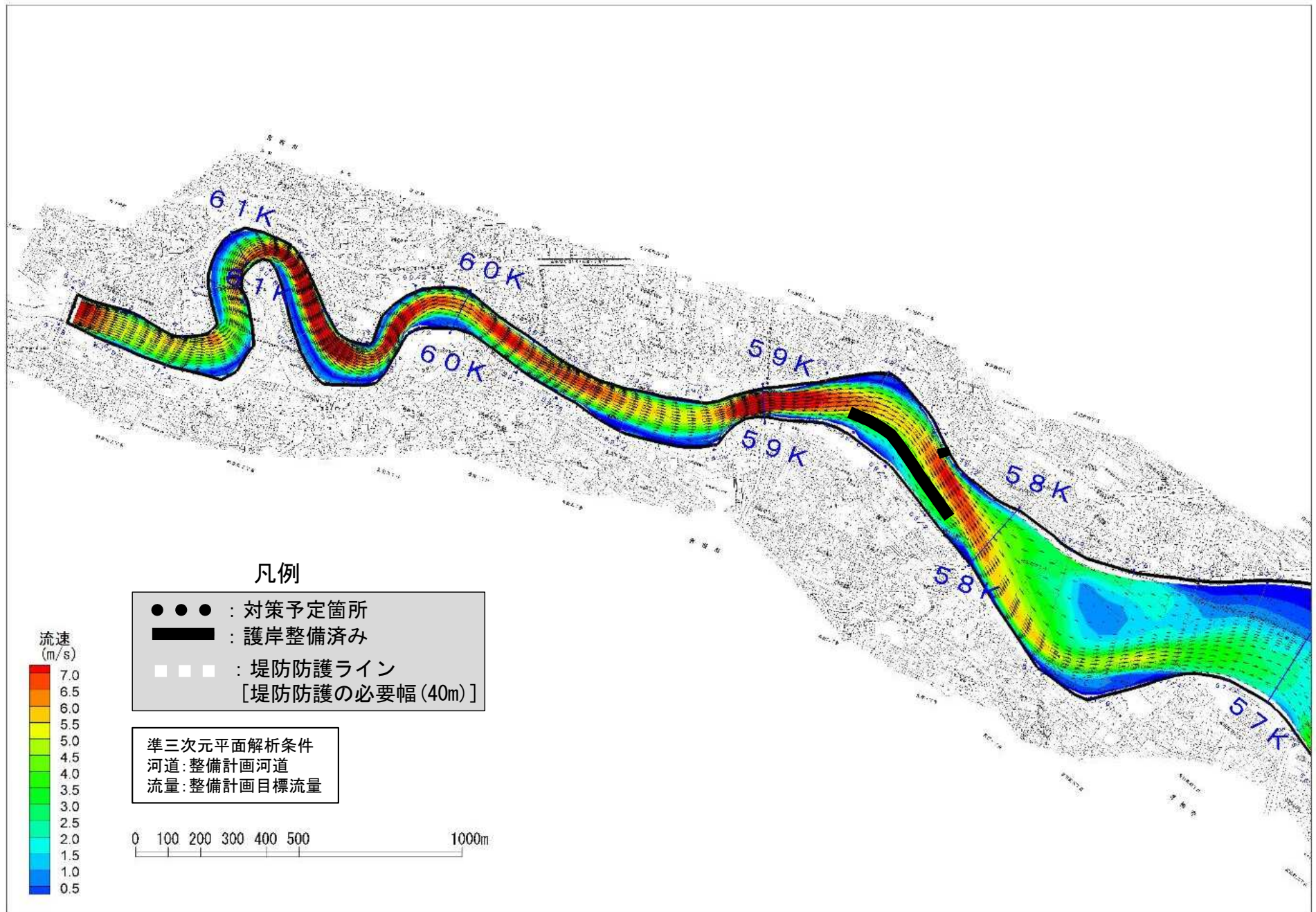




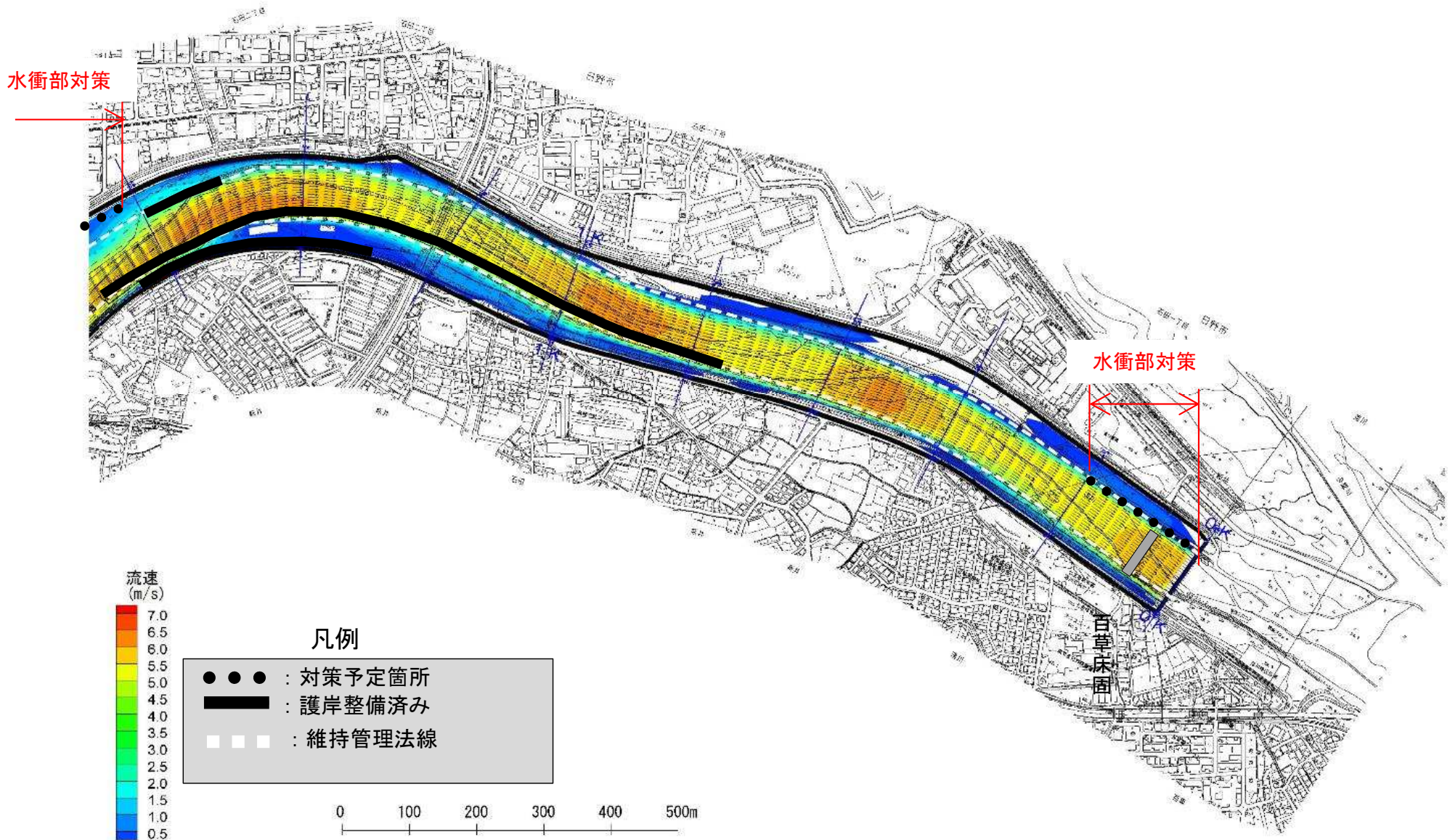


# (4)水衝部対策の実施箇所と流速分布

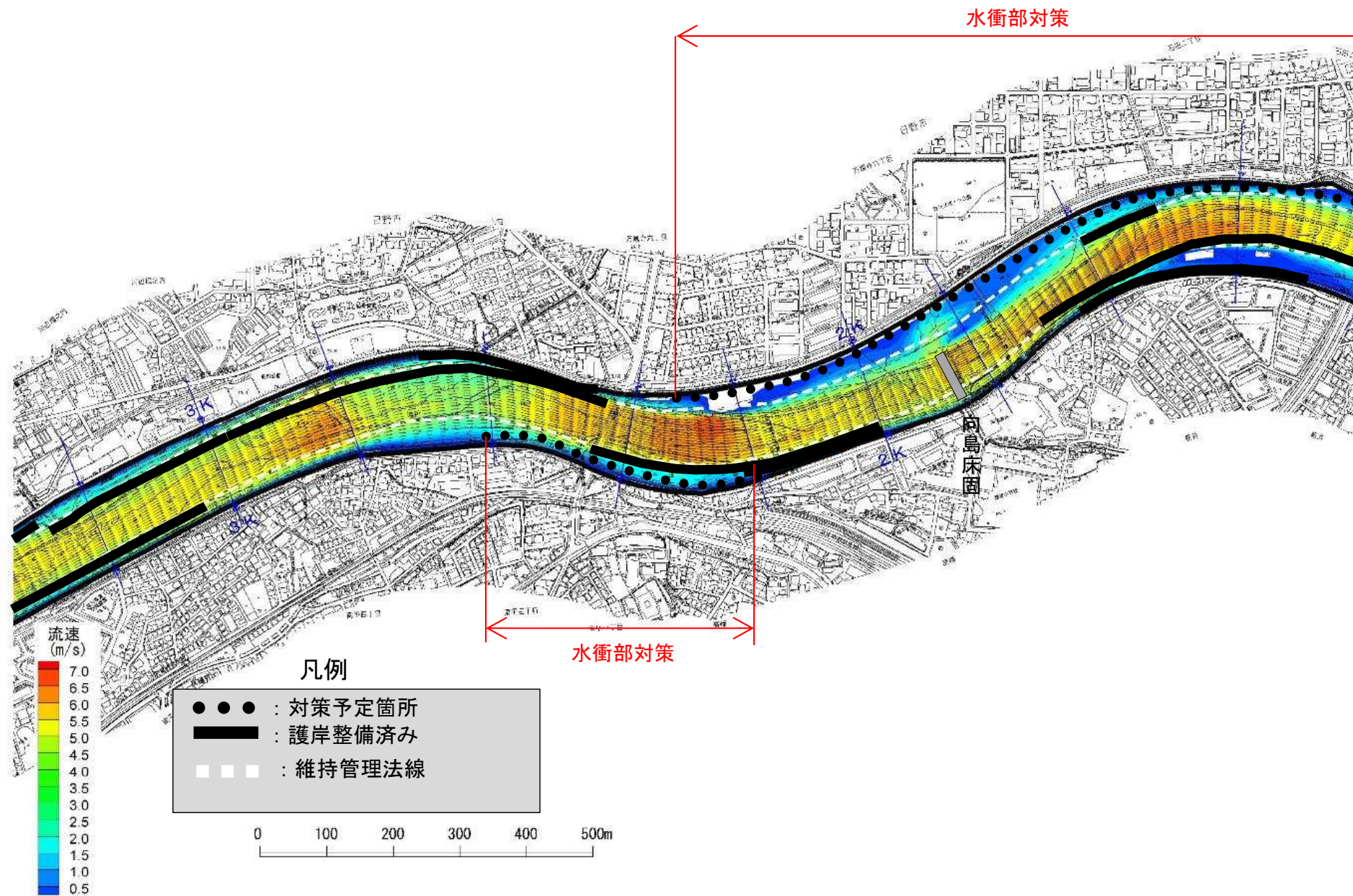




# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



# 【第5回No.1-1補足】 (3)水衝部対策の実施箇所事例

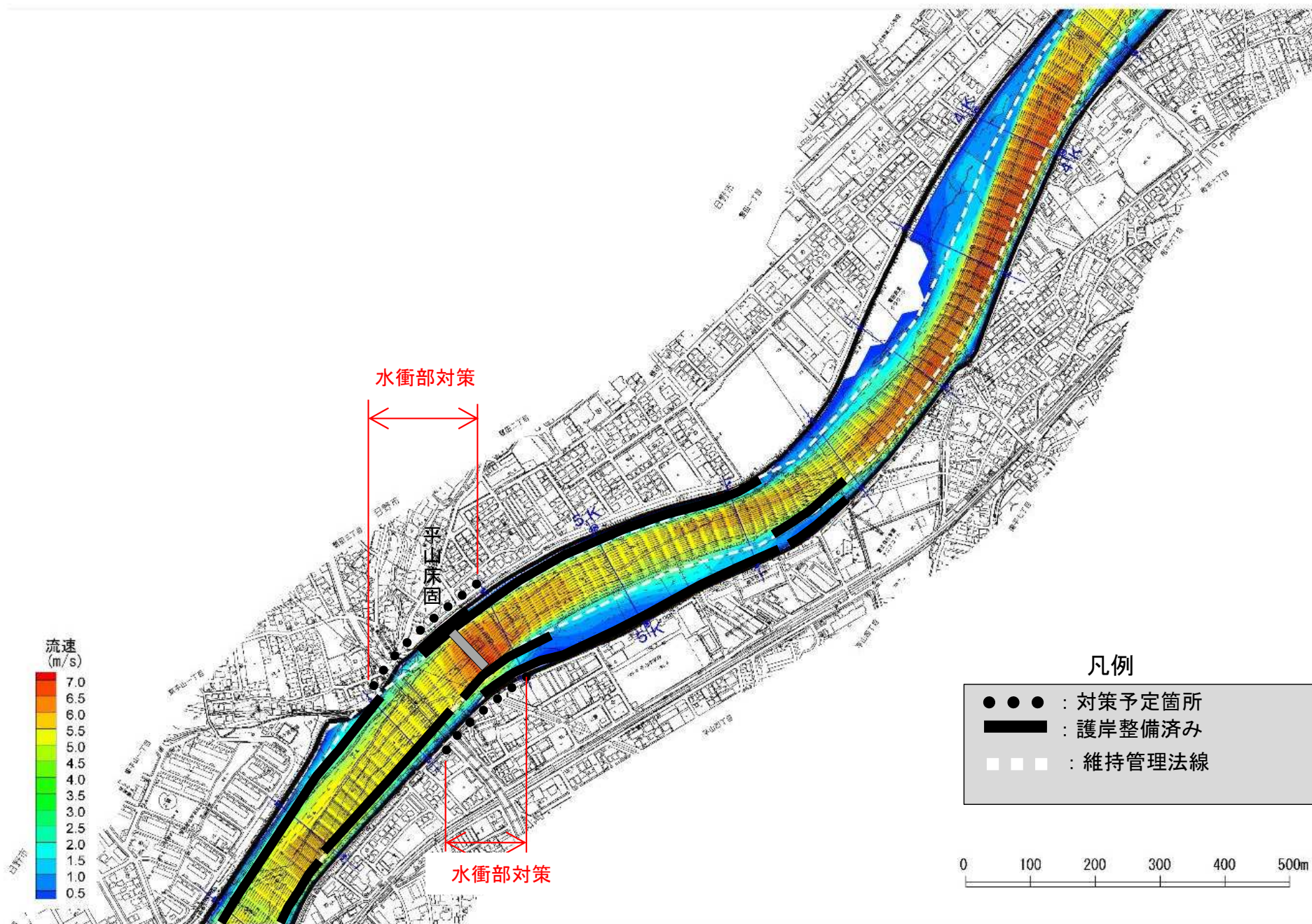


# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例

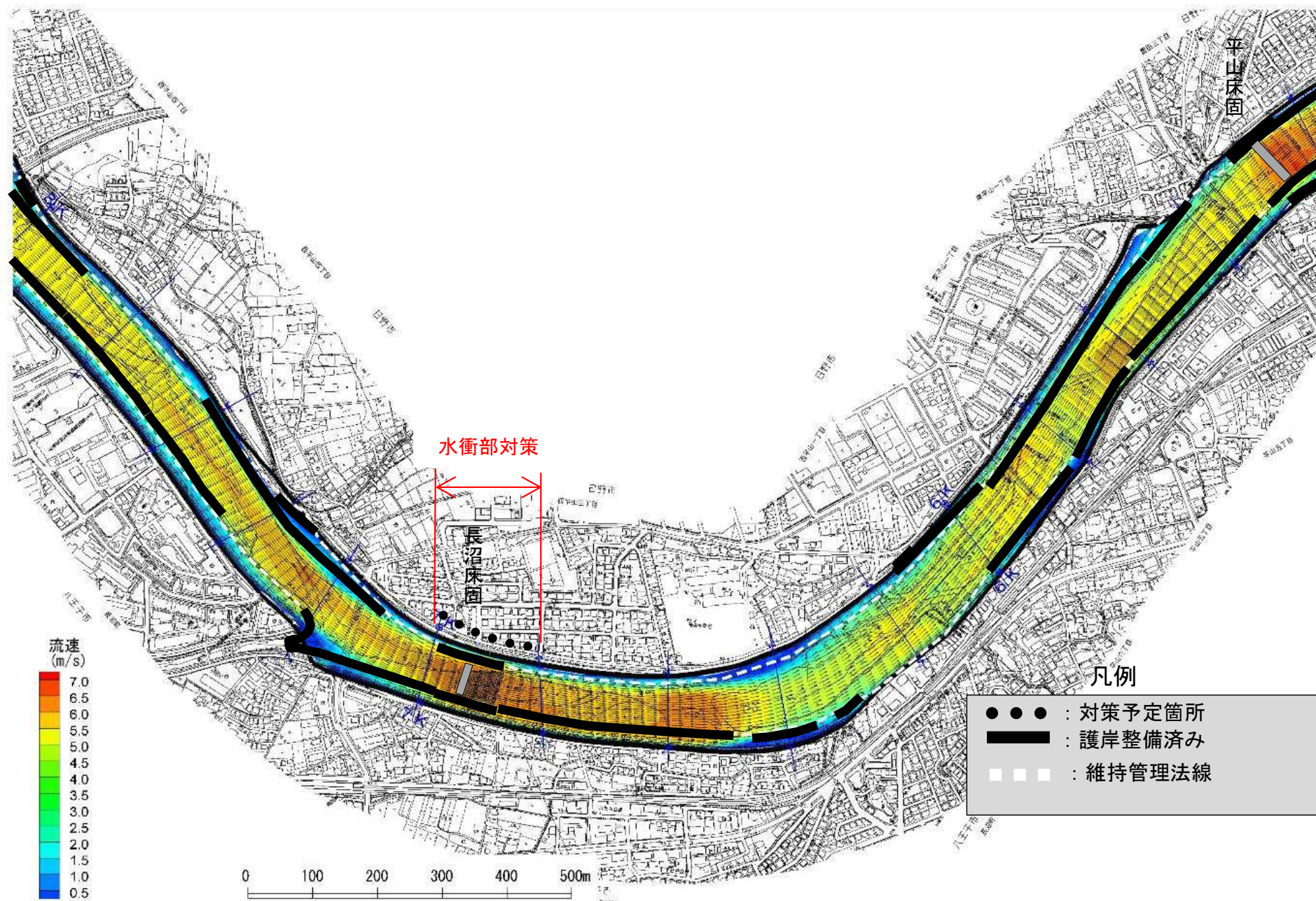




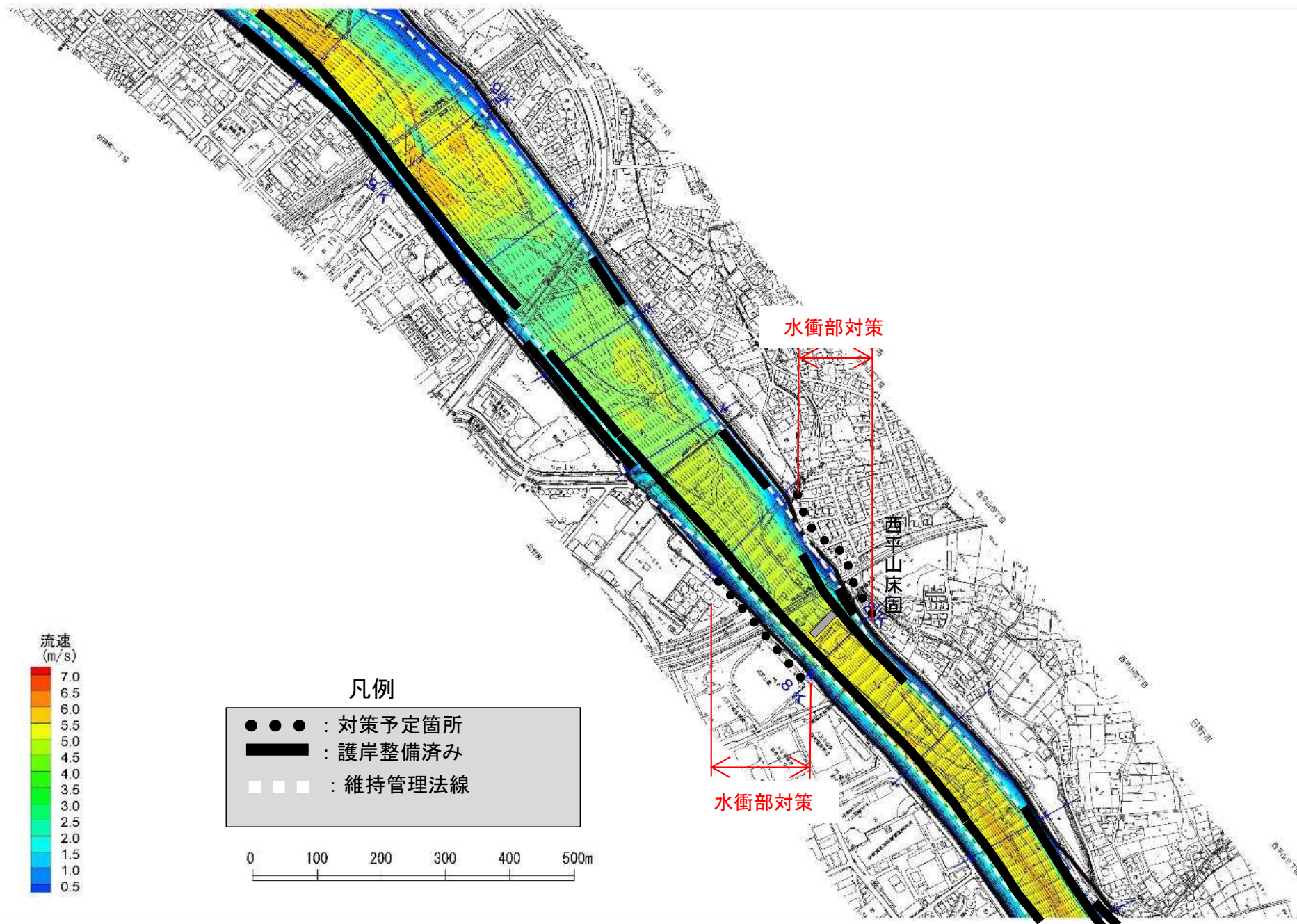
# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



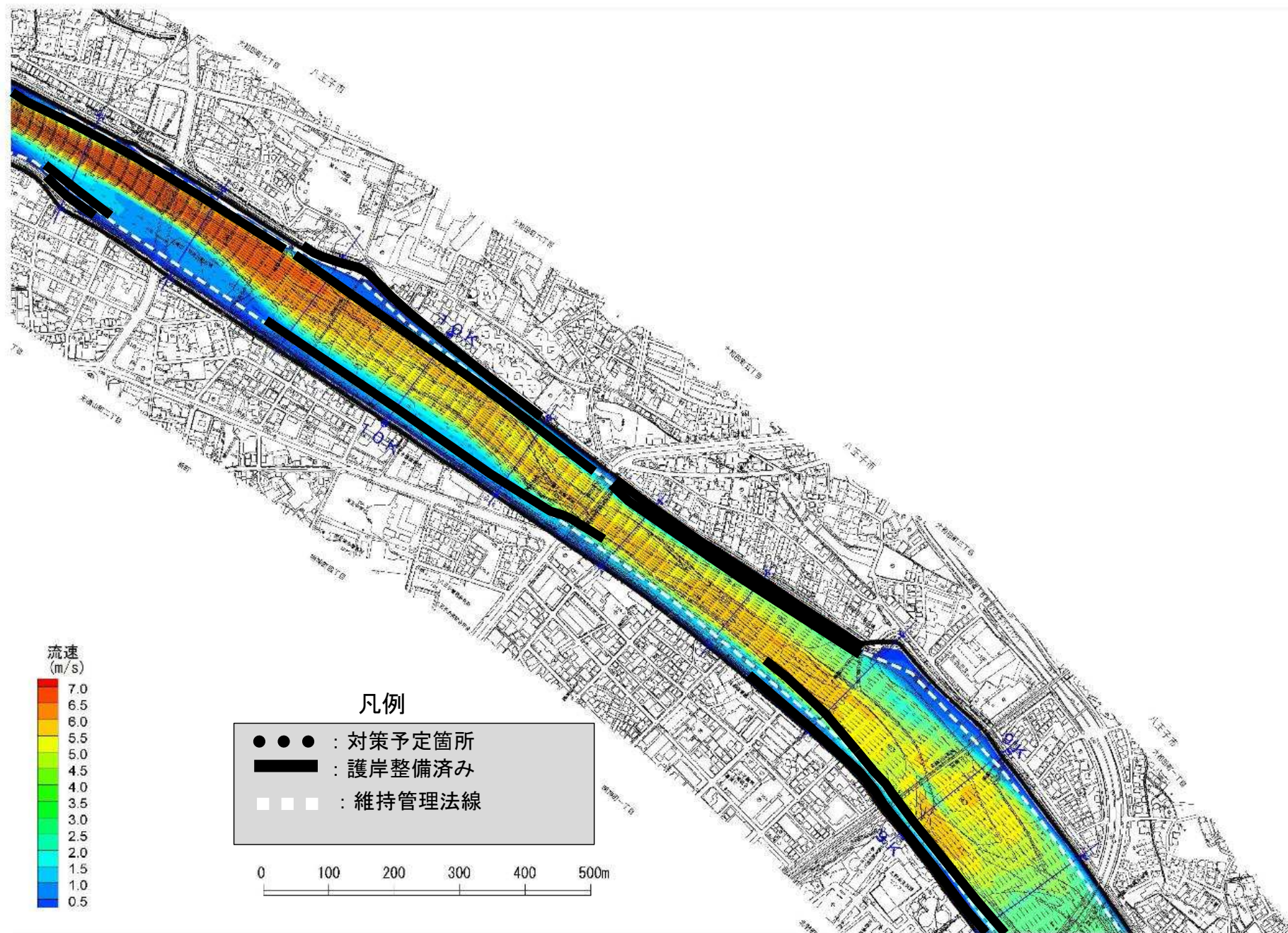
# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



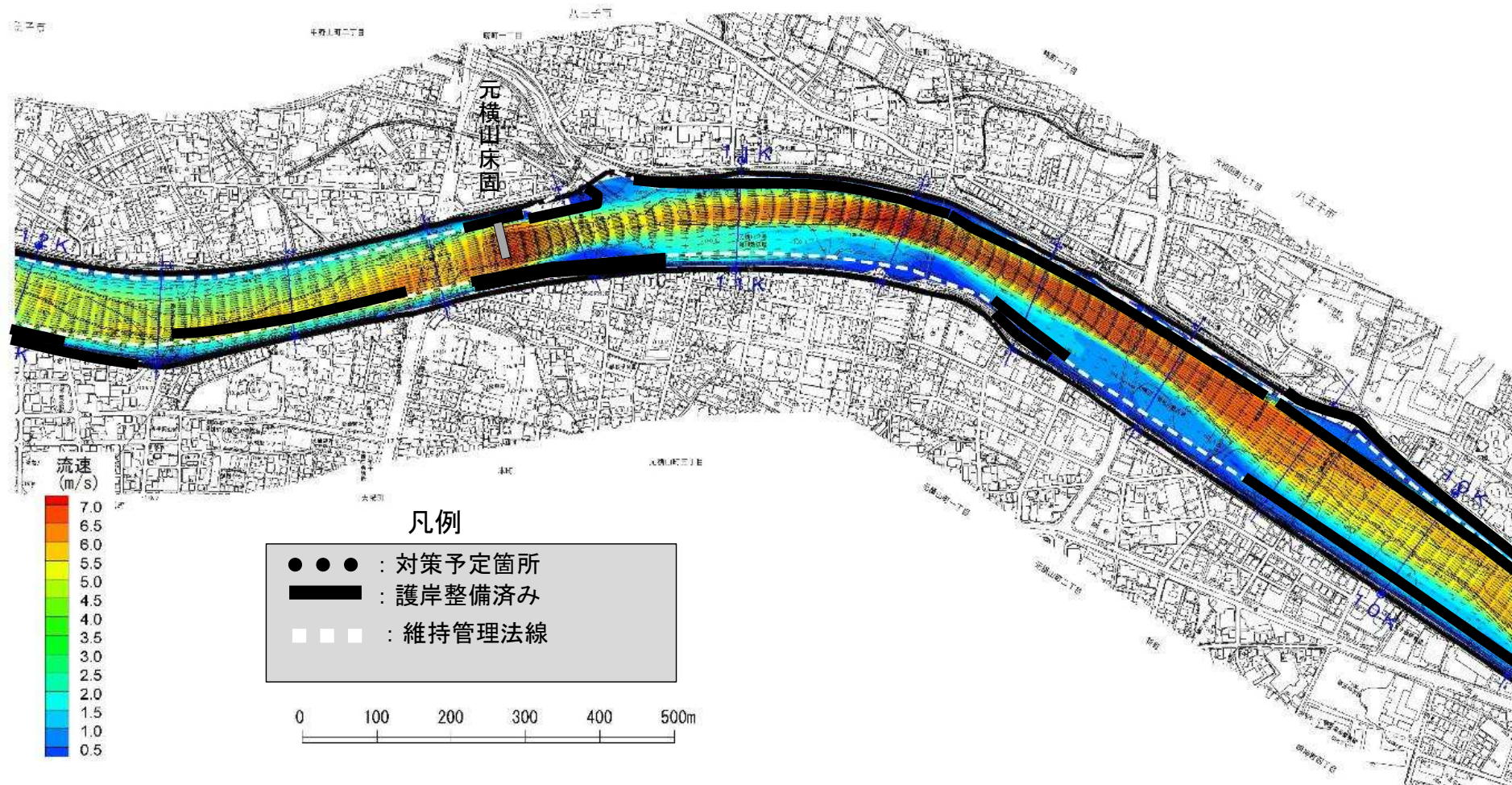
# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



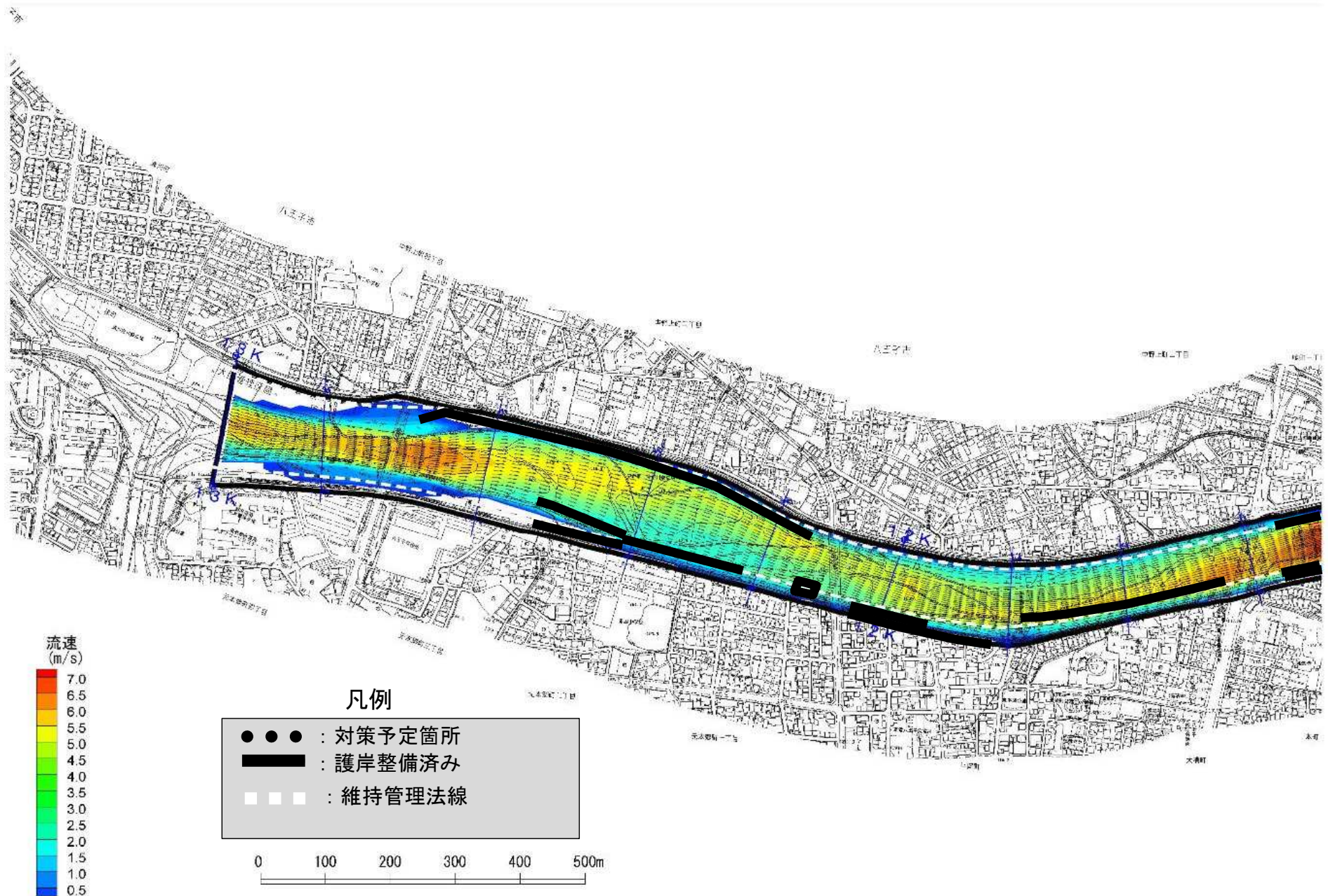
# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例



# 【第5回No.1-1補足】(3)水衝部対策の実施箇所事例

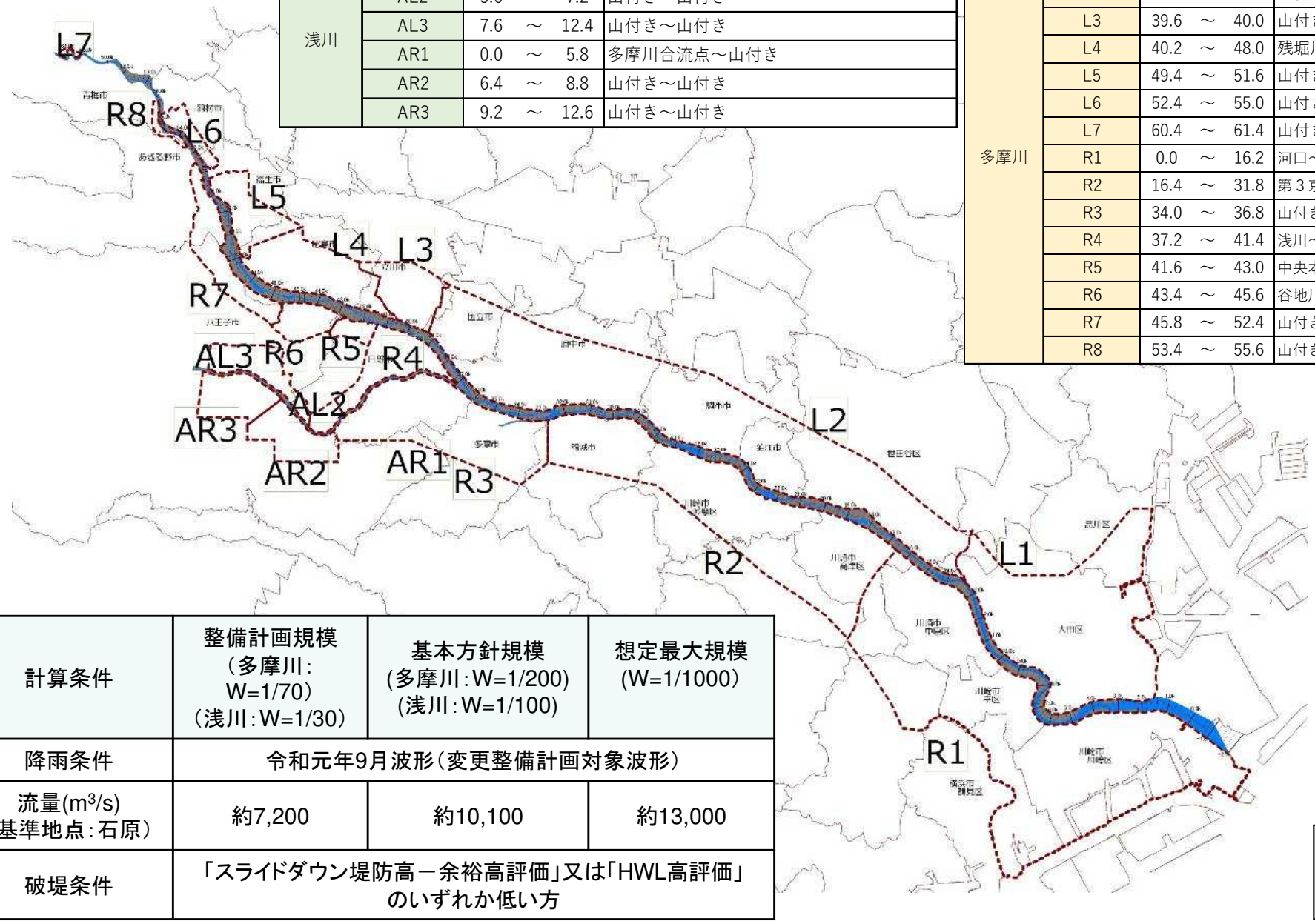


# 水害リスク評価

# (2) 多摩川水系の氾濫シミュレーションのブロック分割

河川	ブロック名	区間	備考
浅川	AL1	0.0 ~ 5.2	多摩川合流点～山付き (多摩川R4に含む)
	AL2	5.6 ~ 7.2	山付き～山付き
	AL3	7.6 ~ 12.4	山付き～山付き
	AR1	0.0 ~ 5.8	多摩川合流点～山付き
	AR2	6.4 ~ 8.8	山付き～山付き
	AR3	9.2 ~ 12.6	山付き～山付き

河川	ブロック名	区間	備考
多摩川	L1	0.0 ~ 13.0	河口～山付き
	L2	13.8 ~ 39.2	山付き～山付き
	L3	39.6 ~ 40.0	山付き～残堀川
	L4	40.2 ~ 48.0	残堀川～山付き
	L5	49.4 ~ 51.6	山付き～山付き
	L6	52.4 ~ 55.0	山付き～山付き
	L7	60.4 ~ 61.4	山付き～山付き
	R1	0.0 ~ 16.2	河口～第3京浜
	R2	16.4 ~ 31.8	第3京浜～山付き
	R3	34.0 ~ 36.8	山付き～浅川 (浅川AR1に含む)
	R4	37.2 ~ 41.4	浅川～中央本線
	R5	41.6 ~ 43.0	中央本線～谷地川
	R6	43.4 ~ 45.6	谷地川～山付き
	R7	45.8 ~ 52.4	山付き～山付き
	R8	53.4 ~ 55.6	山付き～山付き



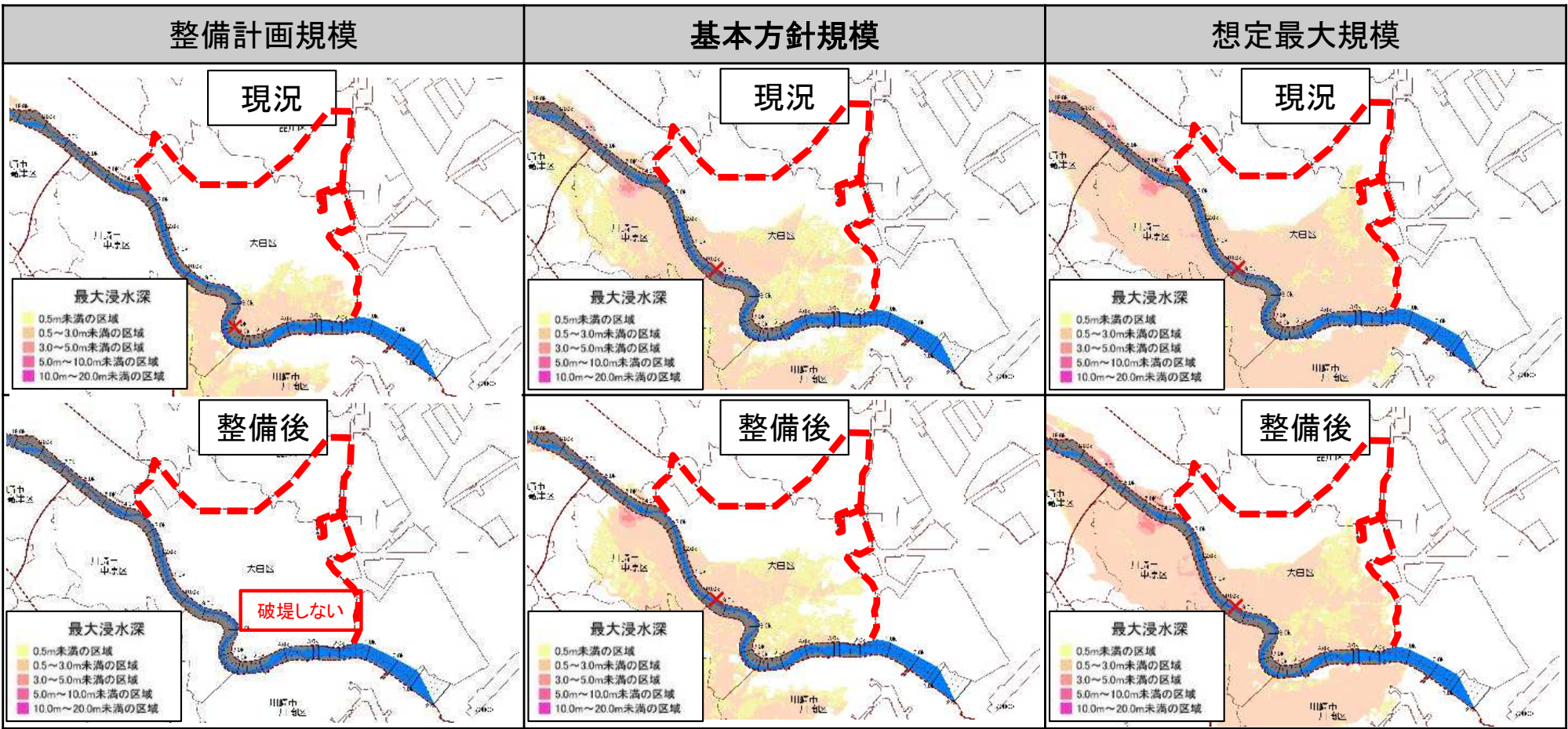
計算条件	整備計画規模 (多摩川: W=1/70) (浅川:W=1/30)	基本方針規模 (多摩川:W=1/200) (浅川:W=1/100)	想定最大規模 (W=1/1000)
降雨条件	令和元年9月波形(変更整備計画対象波形)		
流量(m <sup>3</sup> /s) (基準地点:石原)	約7,200	約10,100	約13,000
破堤条件	「スライドダウン堤防高-余裕高評価」又は「HWL高評価」 のいずれか低い方		

 : 氾濫ブロック

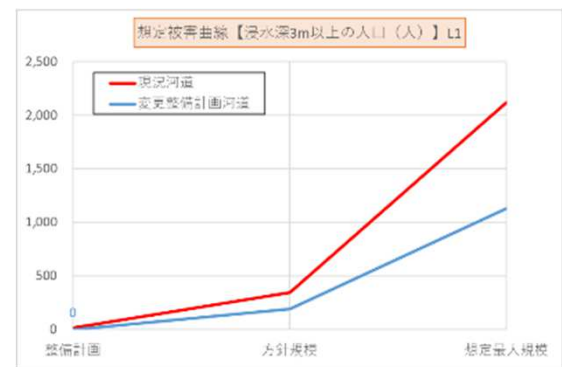
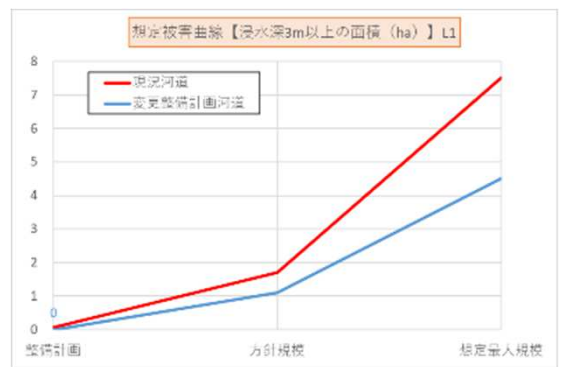


### (3) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L1ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて4,687億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は0.59ha減少。

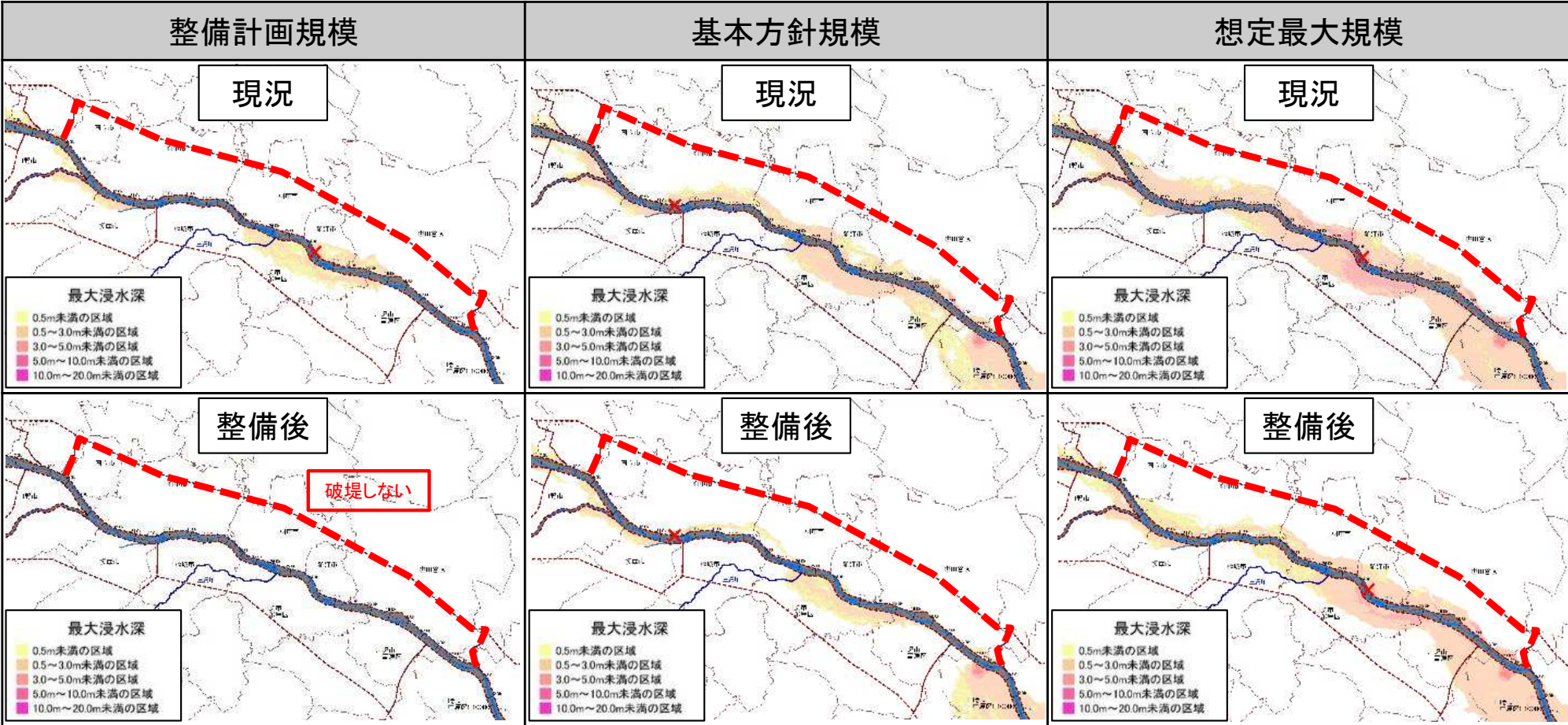


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

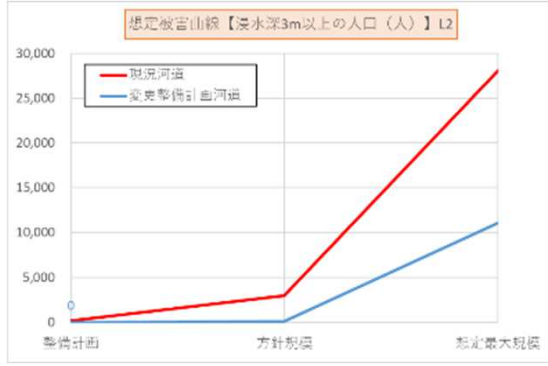
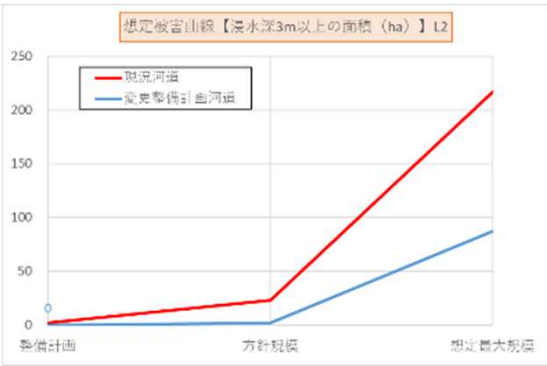
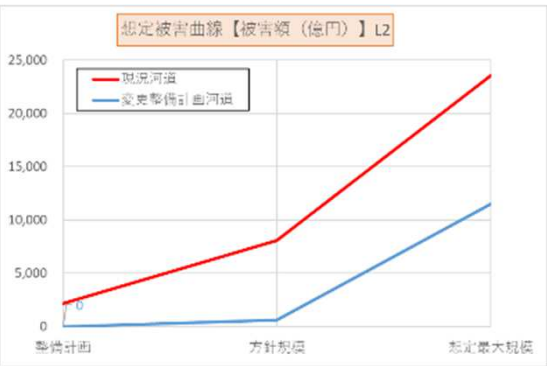


# (4) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L2ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて7,475億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は20.99ha減少。

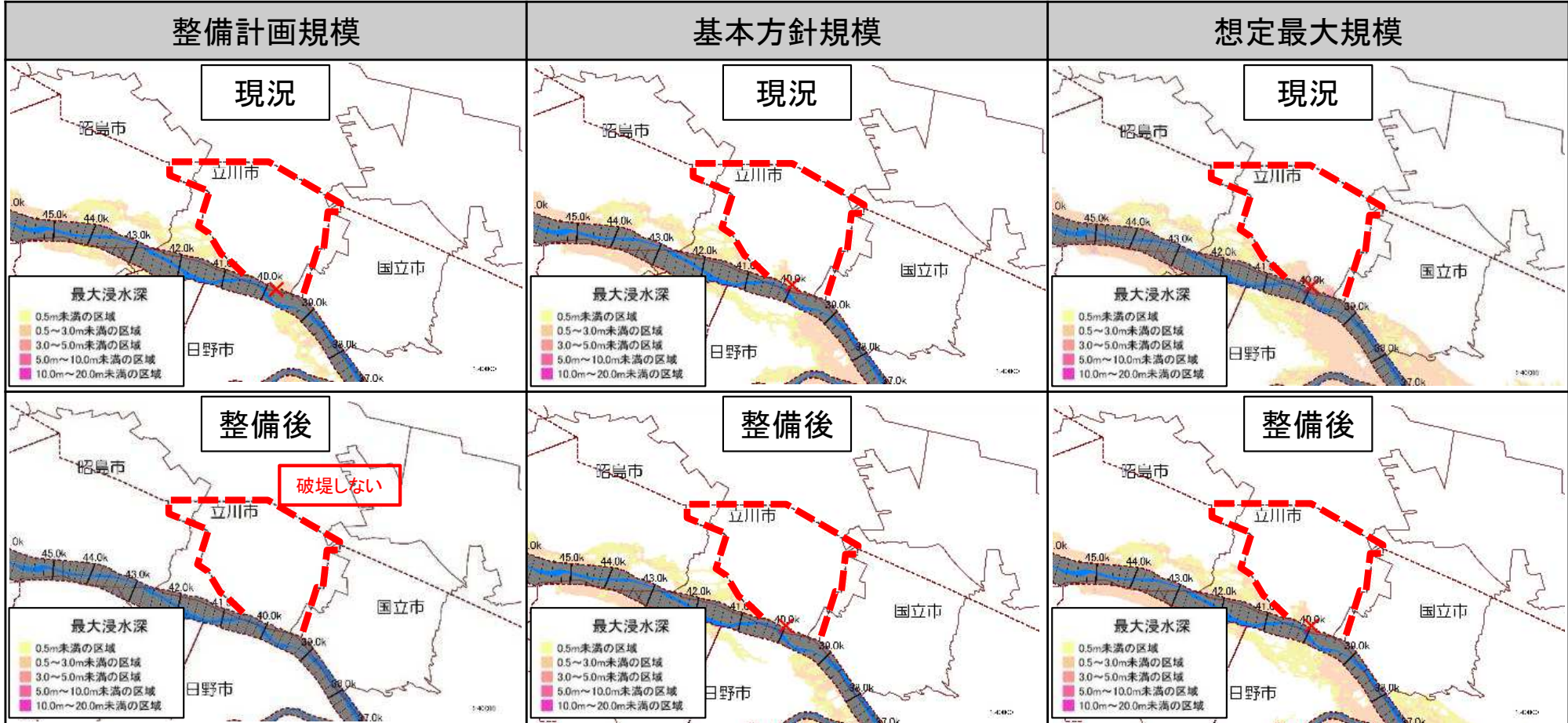


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

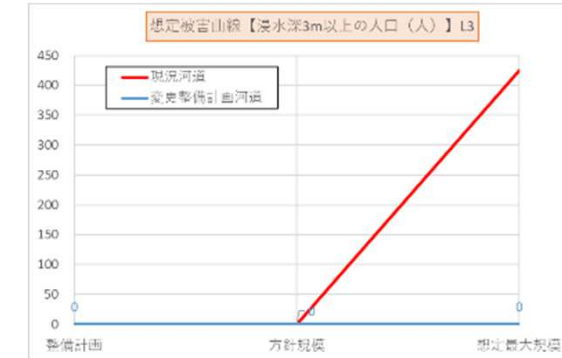
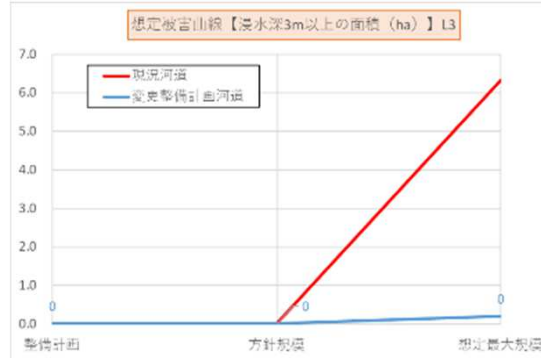
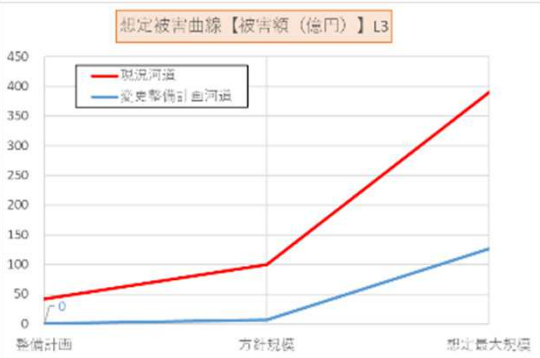


# (5) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L3ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて93億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化しない。

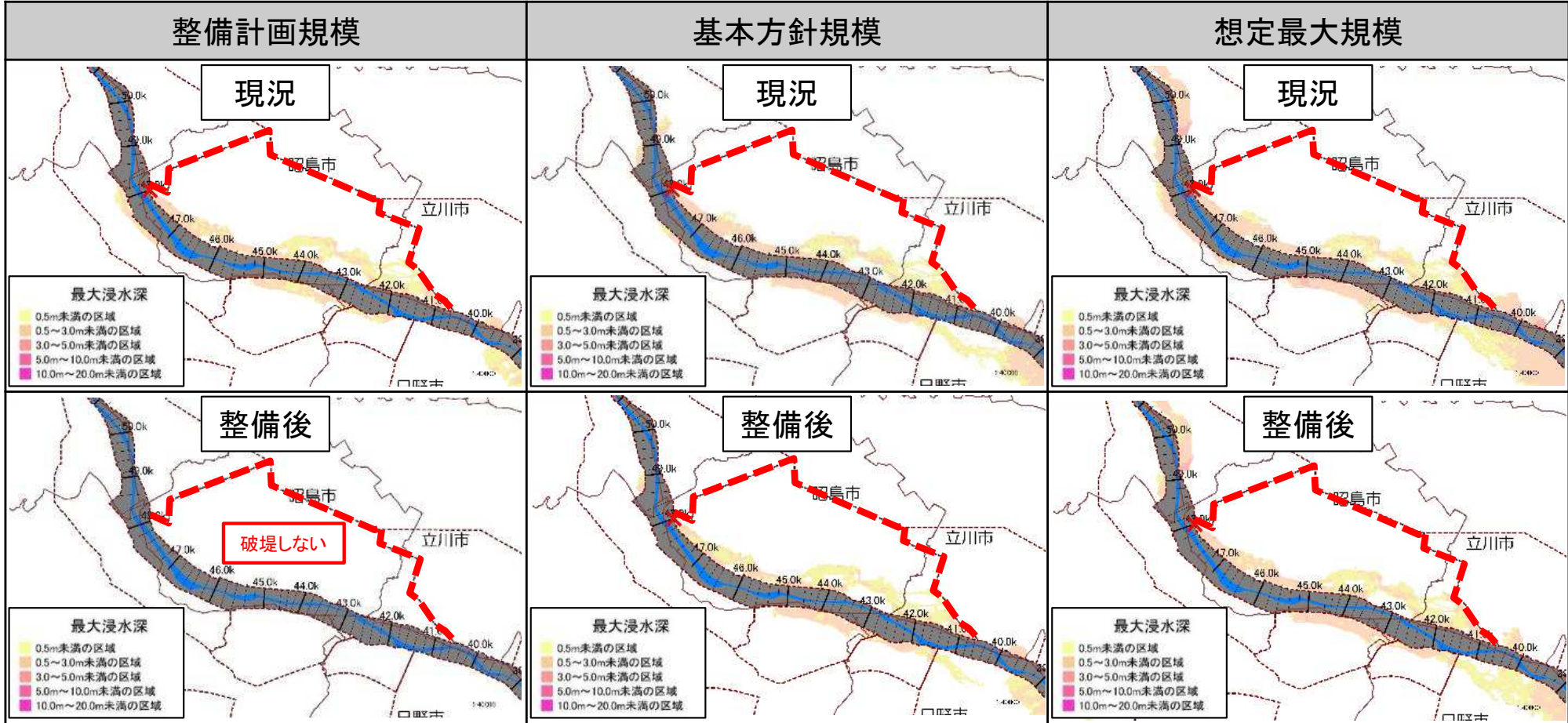


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

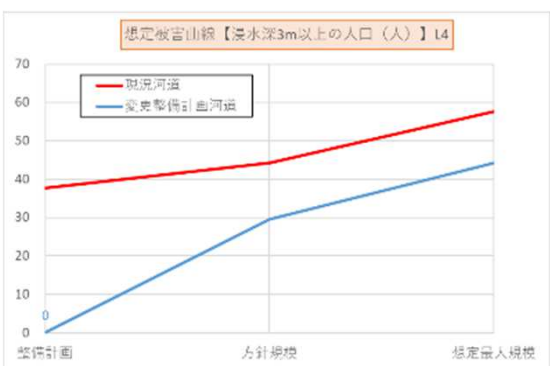
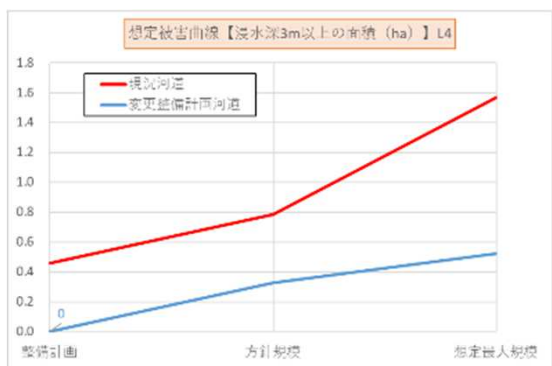
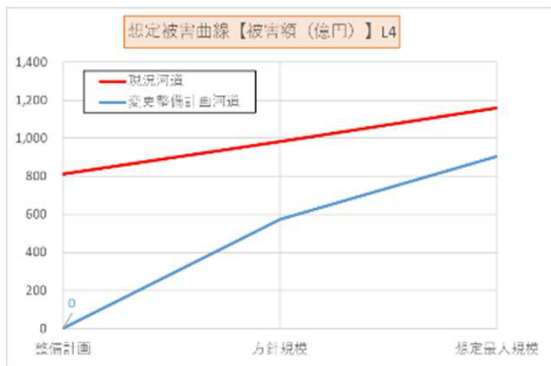


# (6) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L4ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて409億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は0.46ha減少。

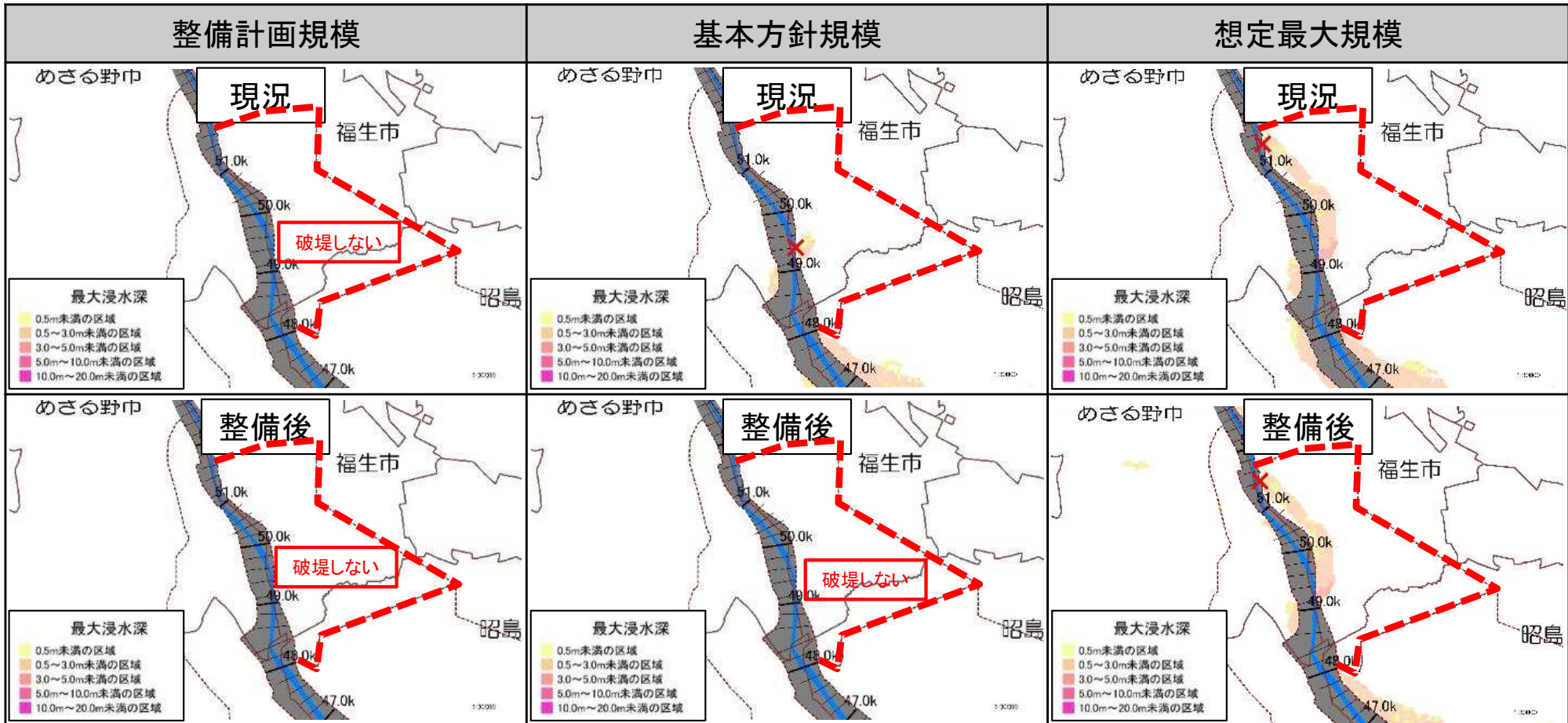


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

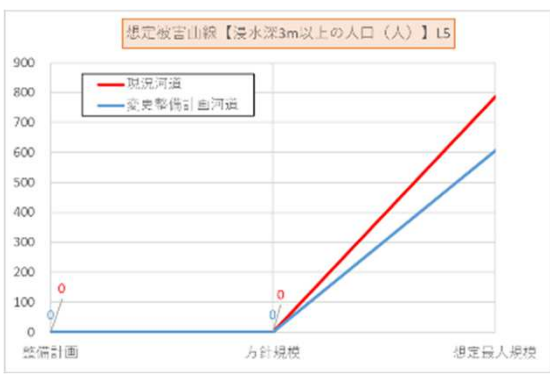
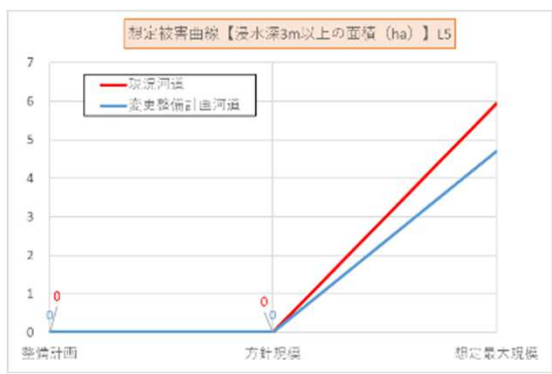
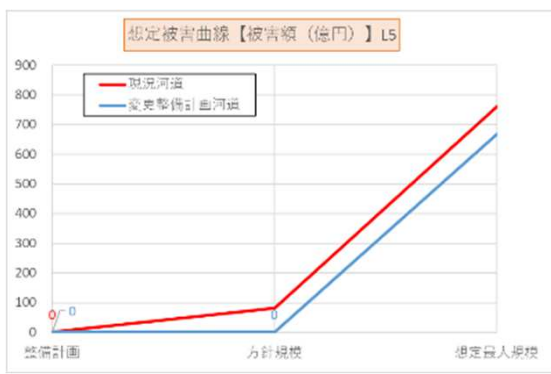


# (7) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L5ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて81億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

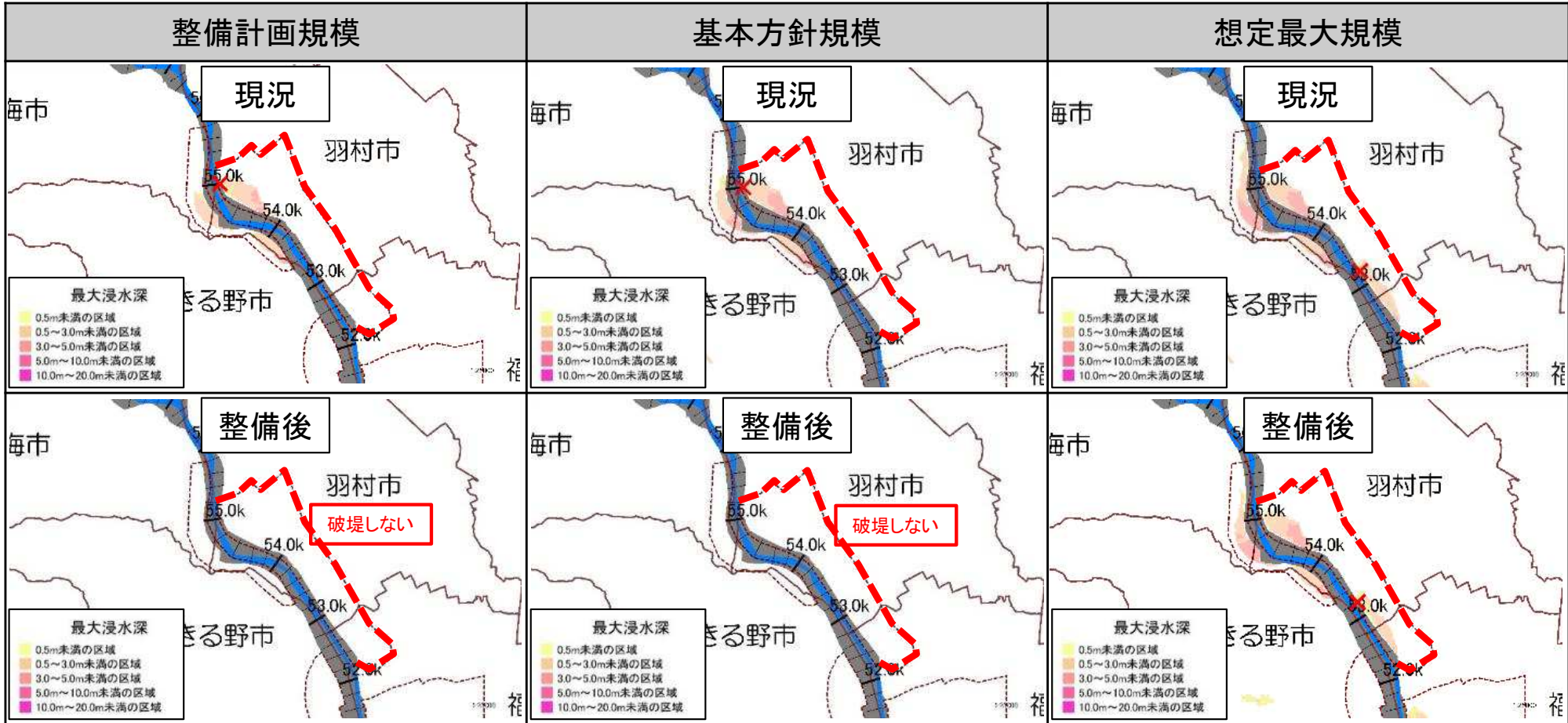


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

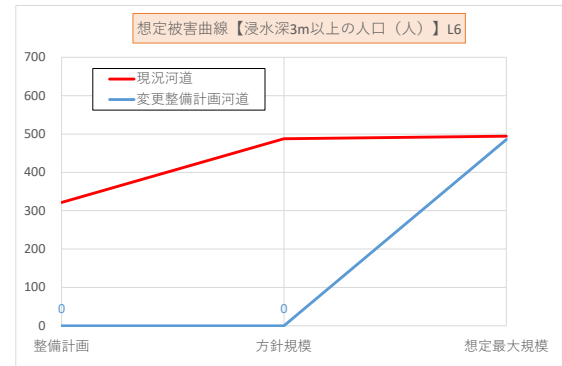
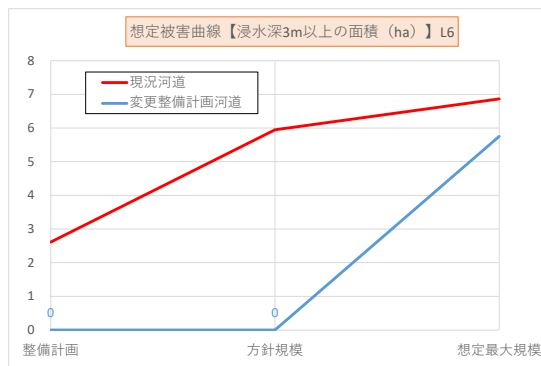
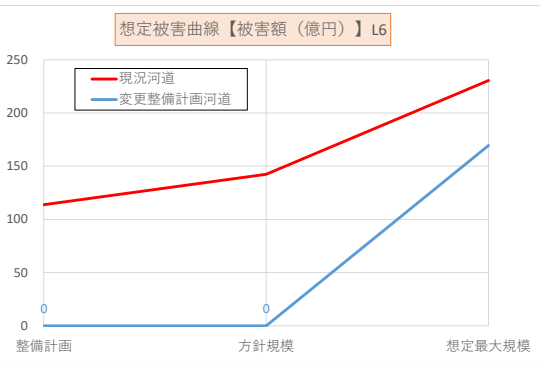


# (8) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L6ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて143億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は5.95ha減少。

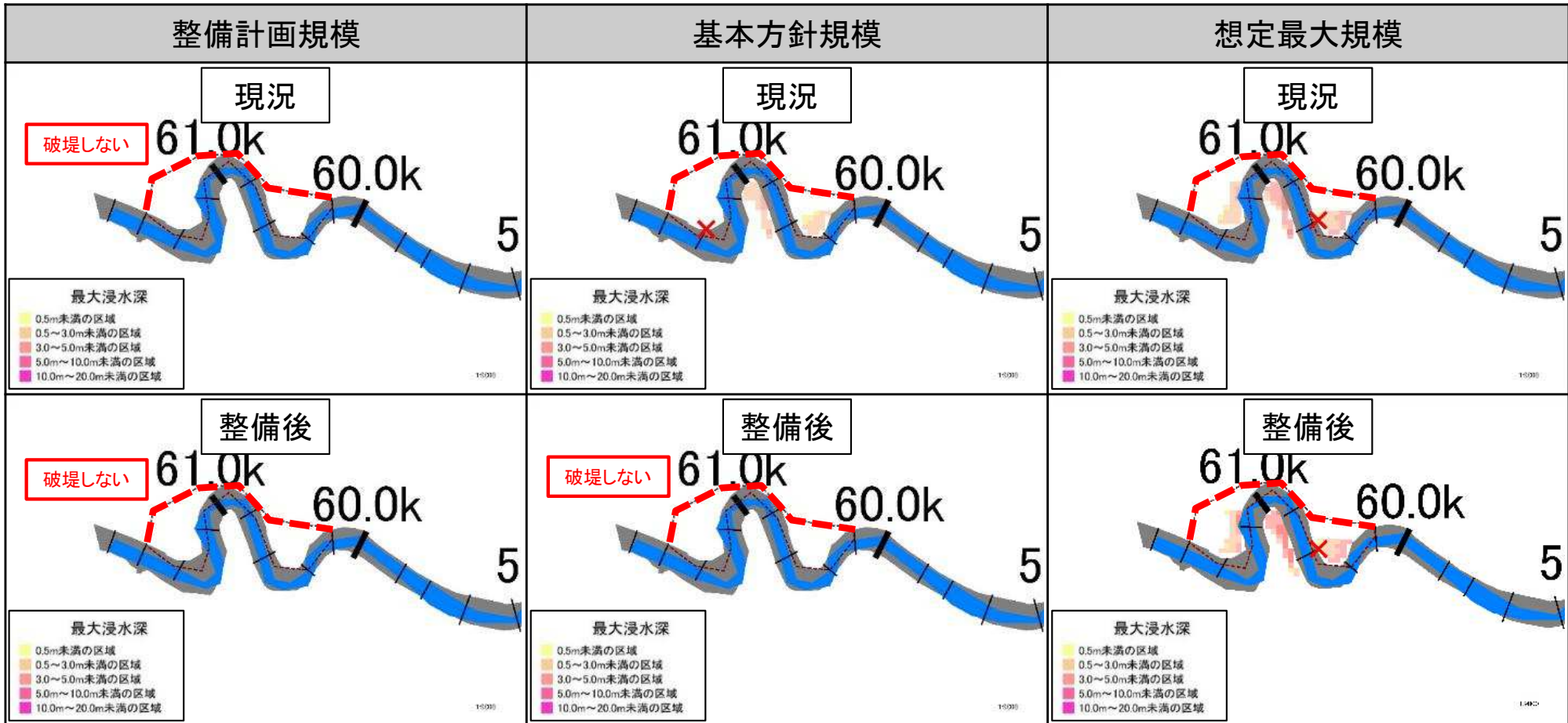


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

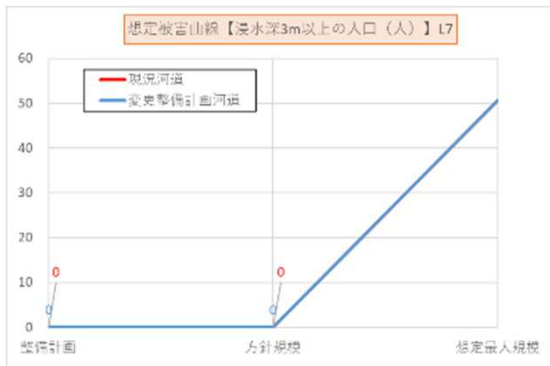
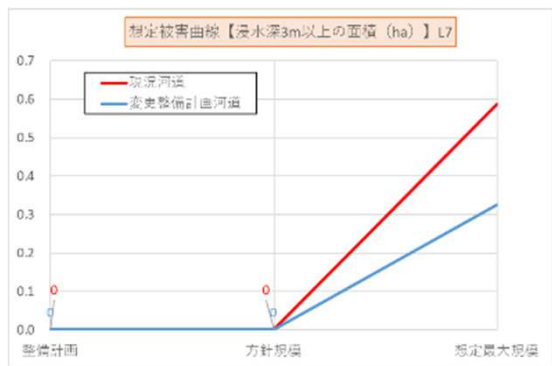
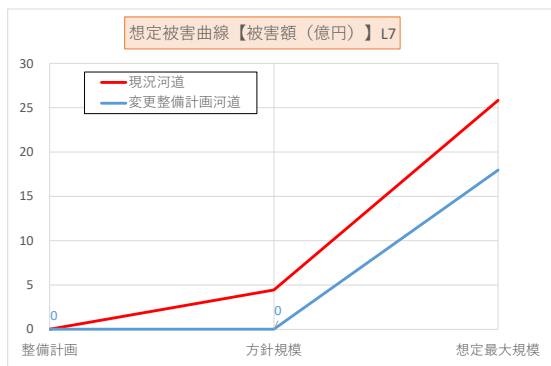


# (9) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:L7ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて4億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

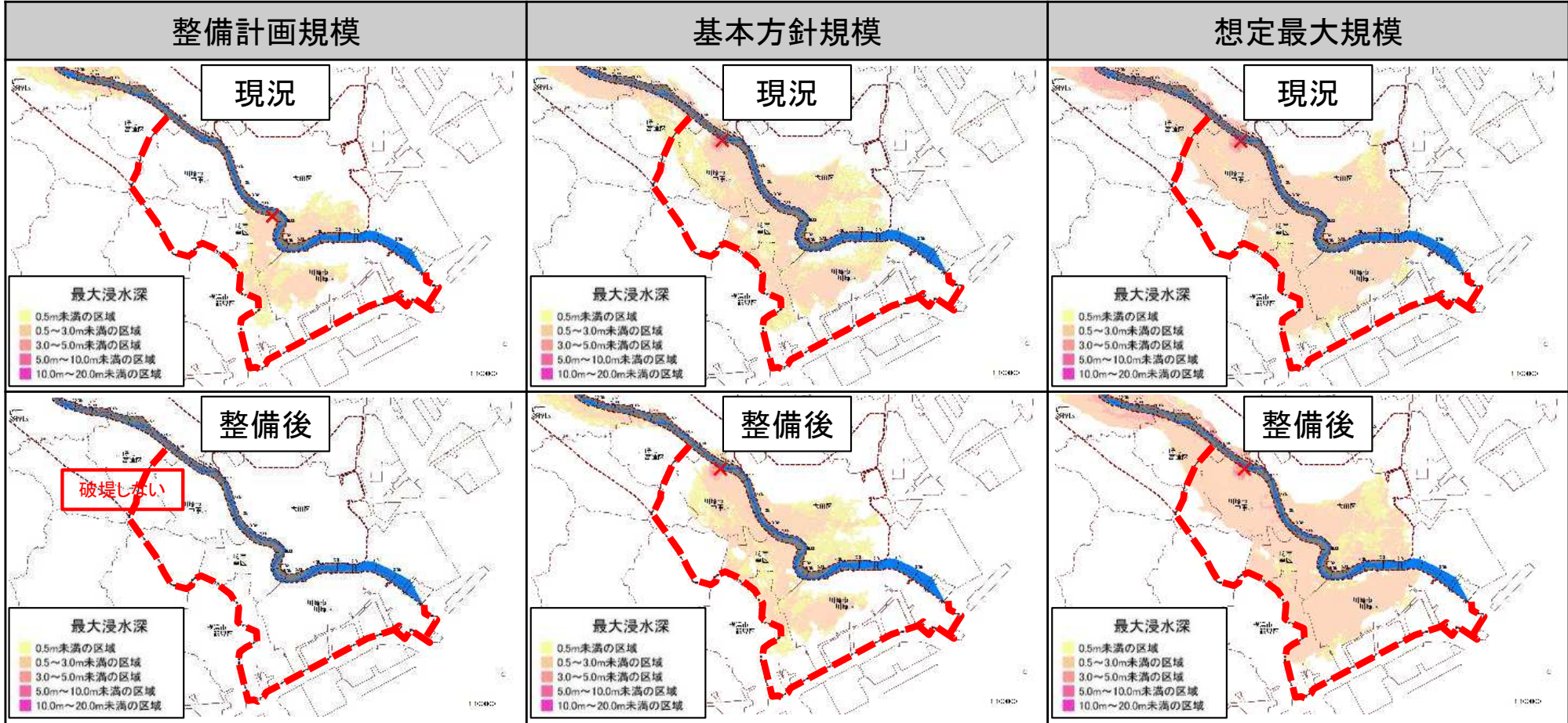


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

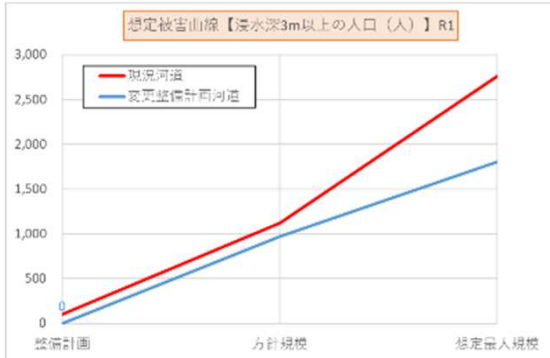
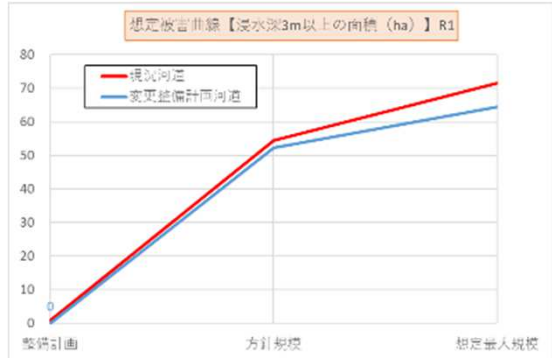
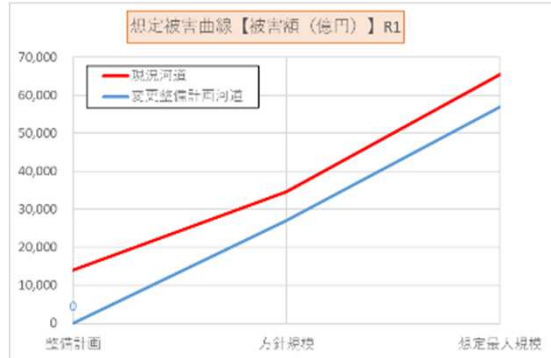


# (10) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R1ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて7,501億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は2.16ha減少。



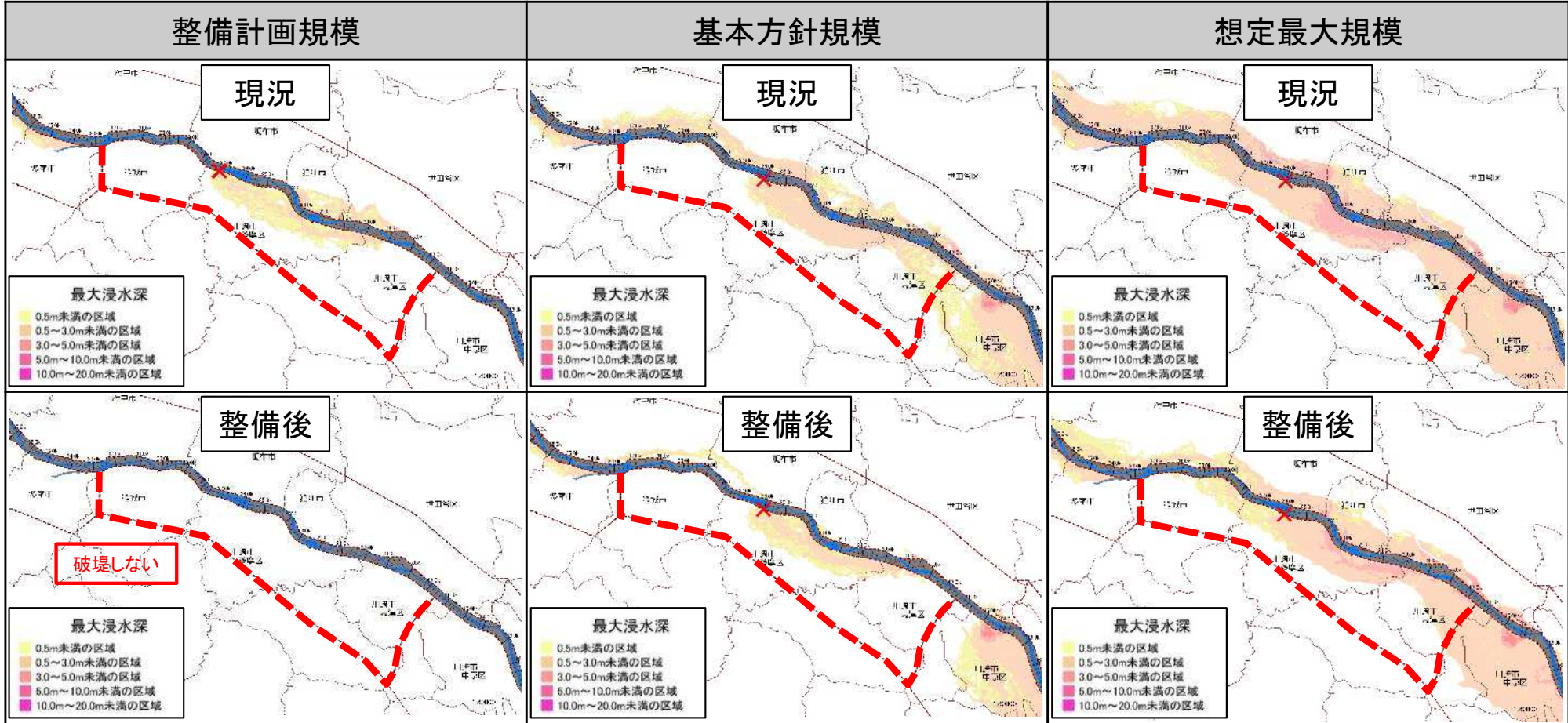
※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。



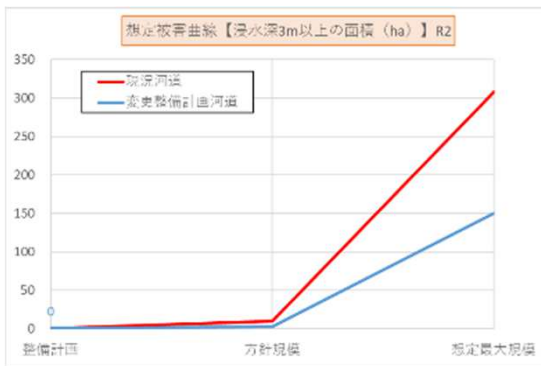
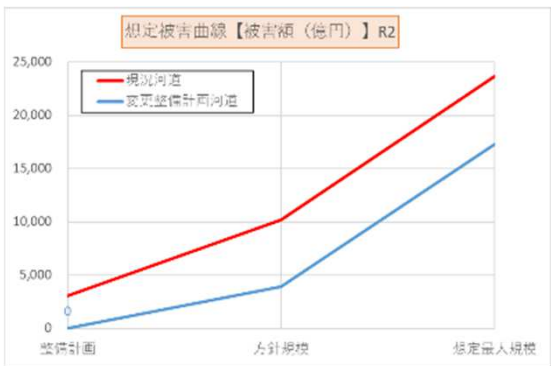


# (11) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R2ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて6,222億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は6.93ha減少。

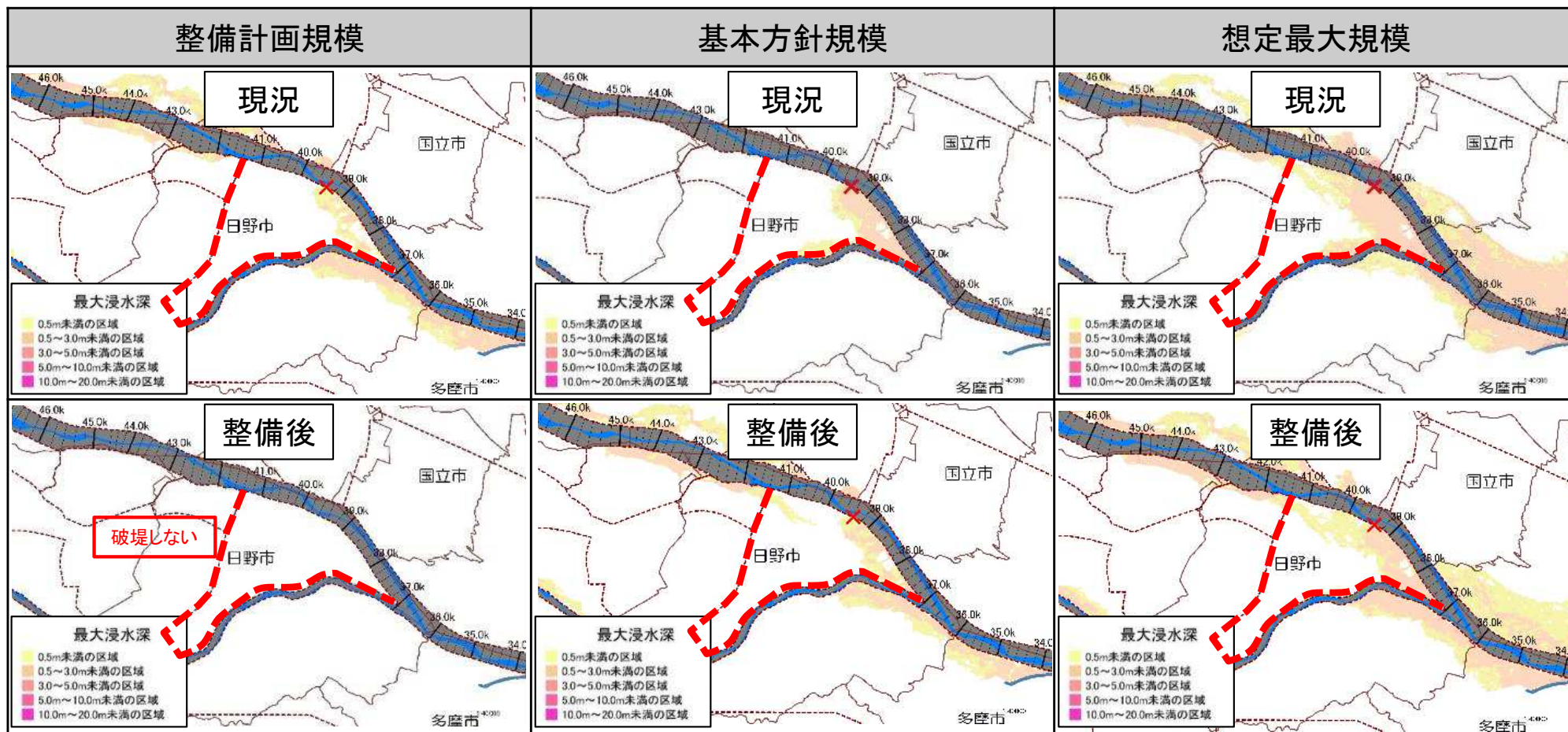


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

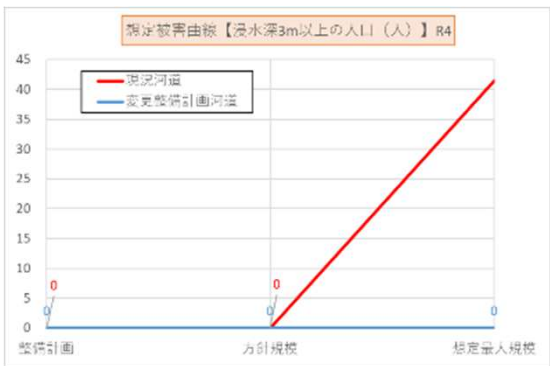
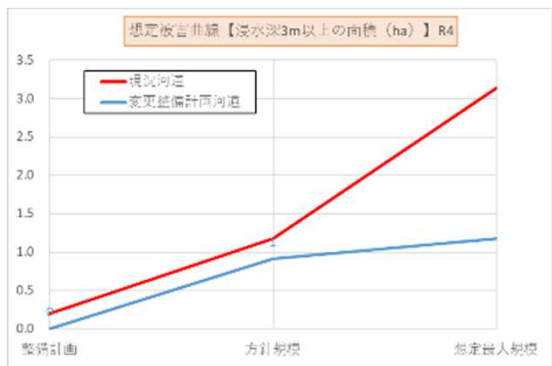
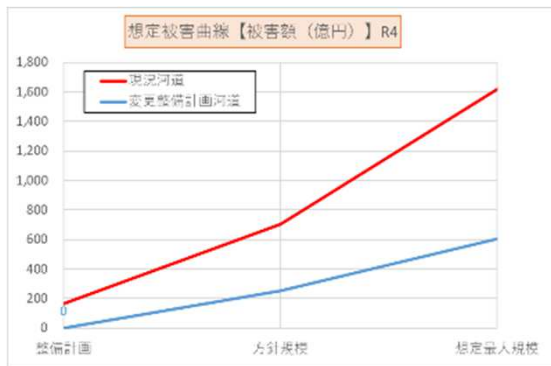


# (12) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R4ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて449億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は0.26ha減少。

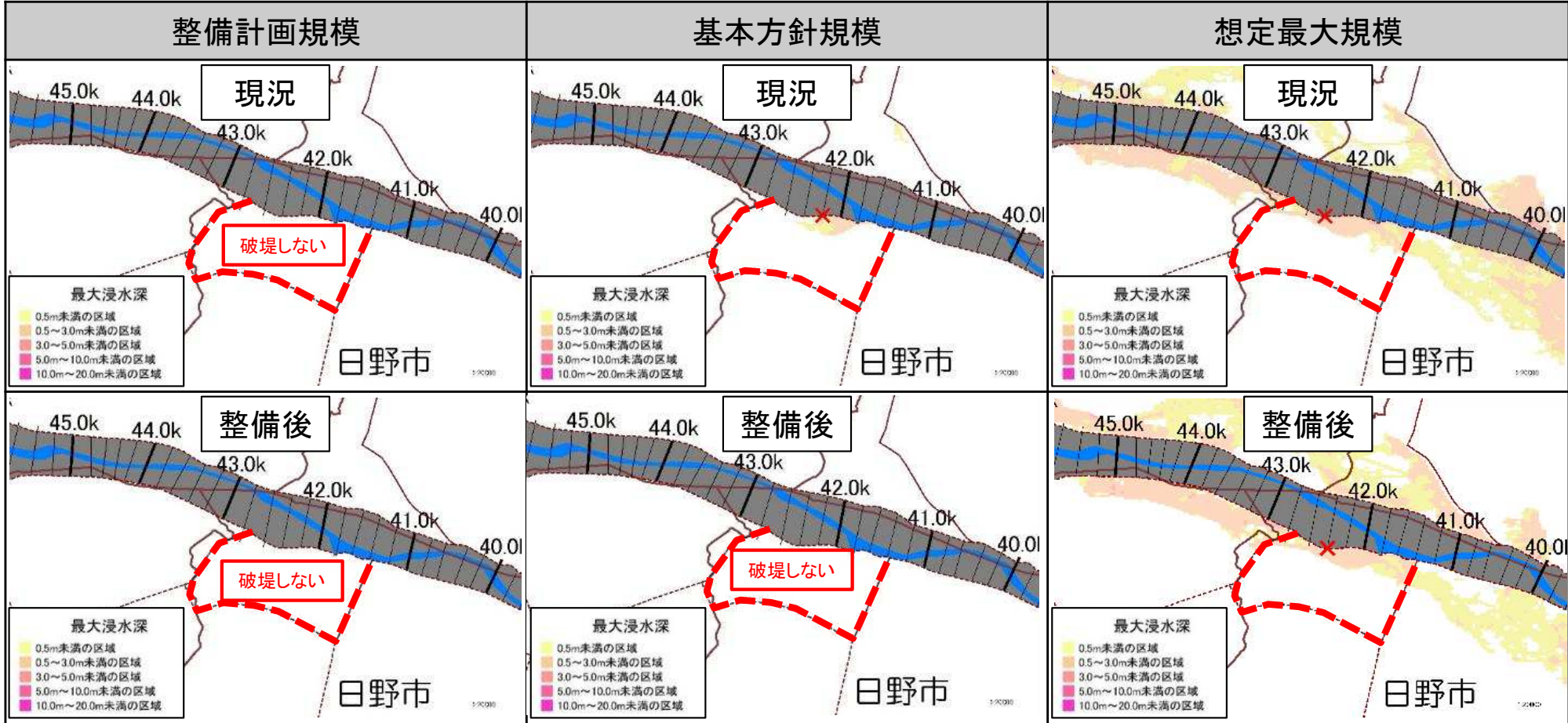


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

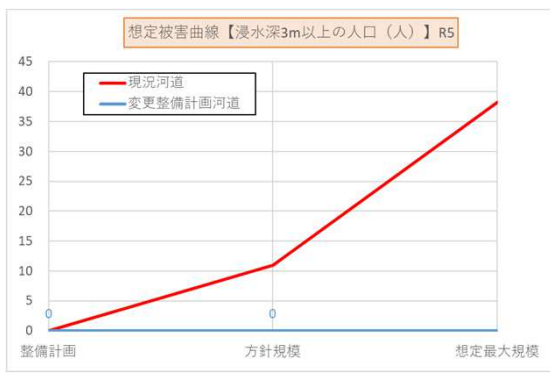
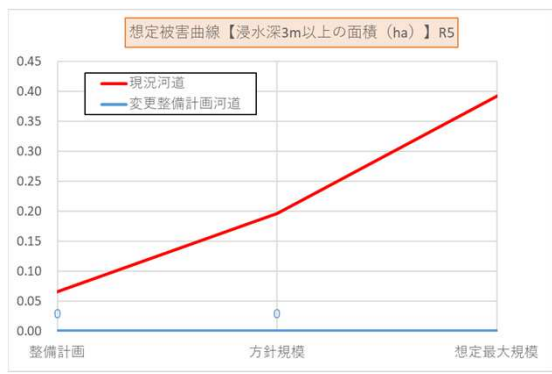
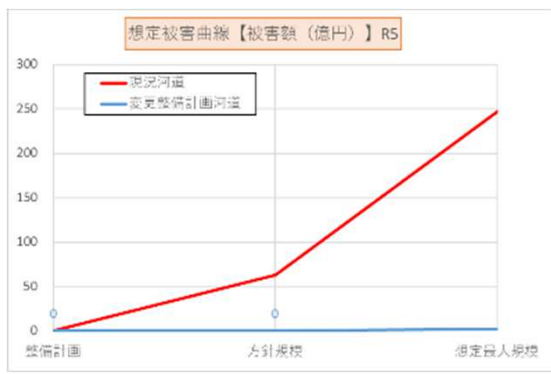


# (13) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R5ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて63億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は0.20ha減少。

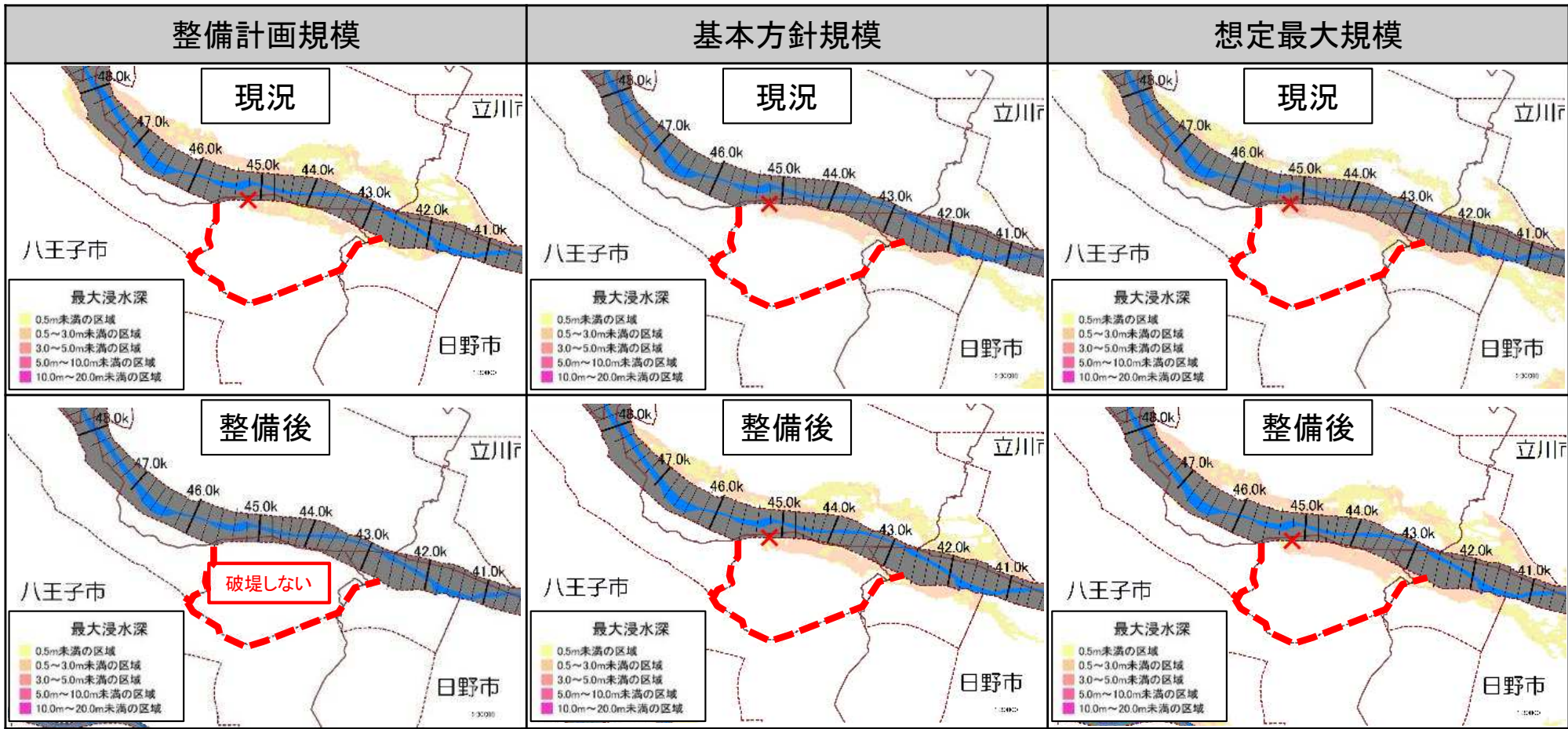


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

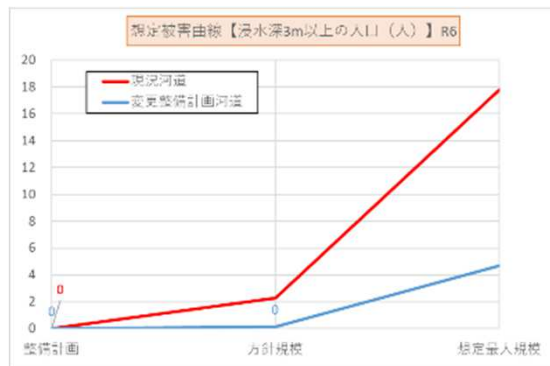
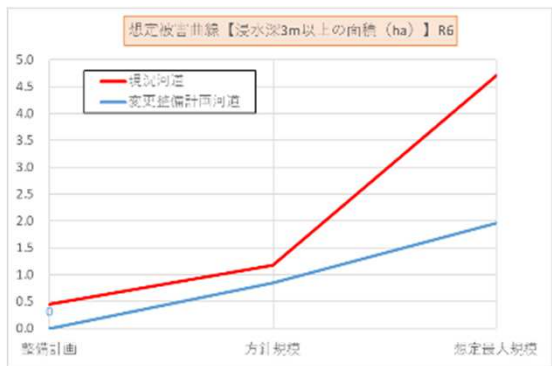
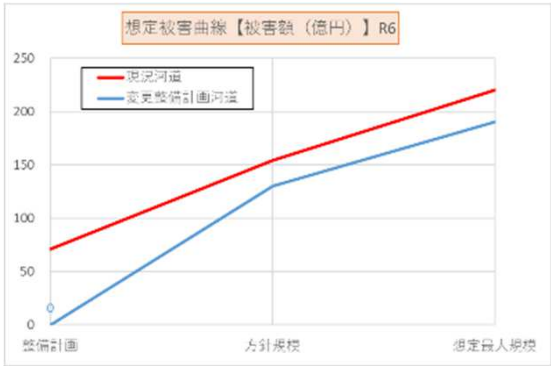


# (14) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R6ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて24億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は0.33ha減少。

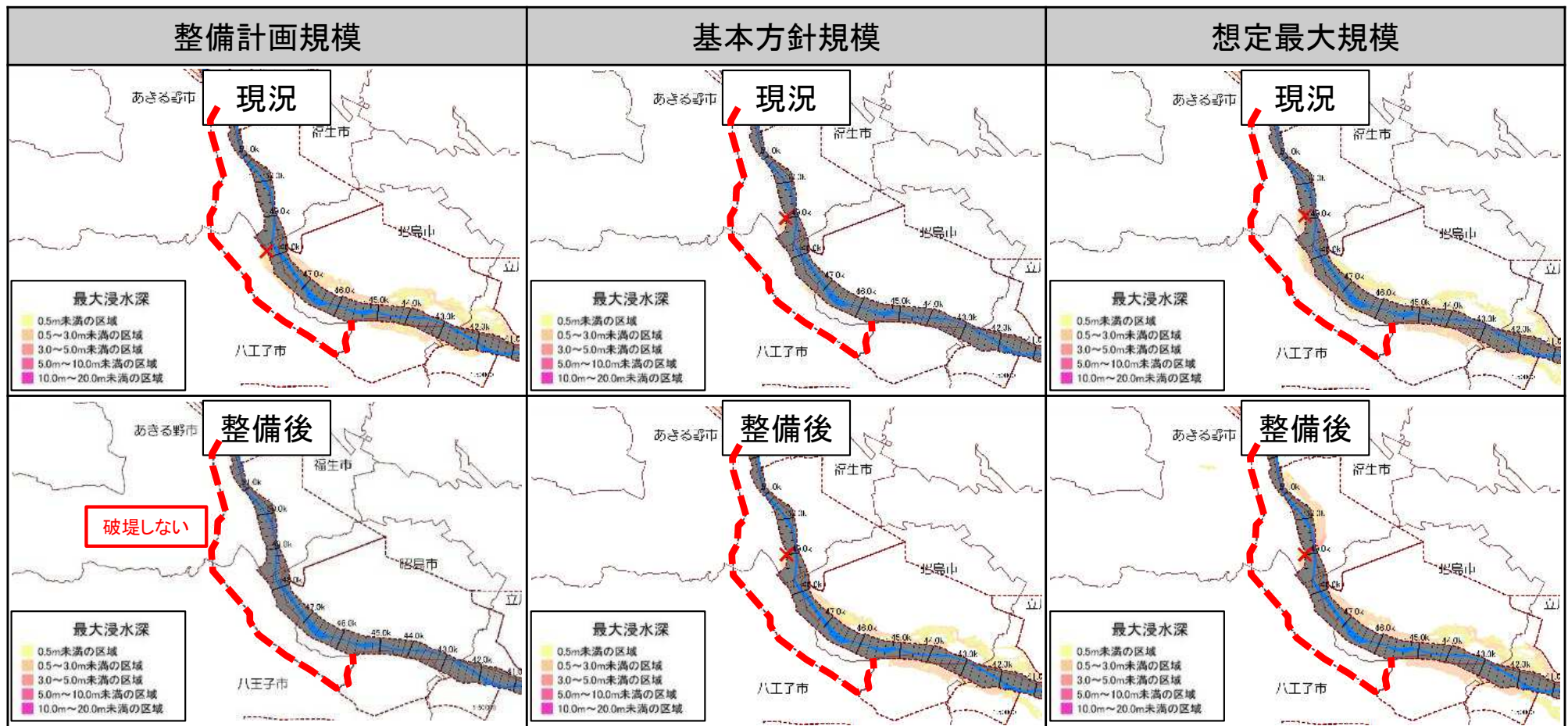


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

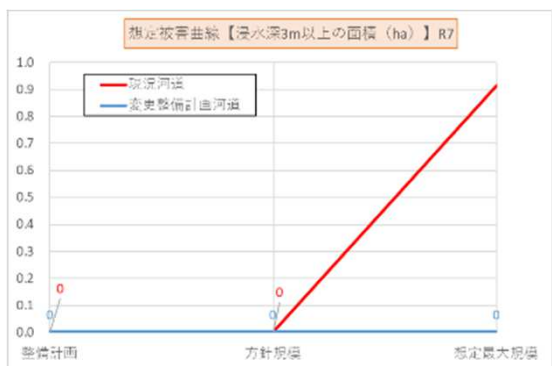
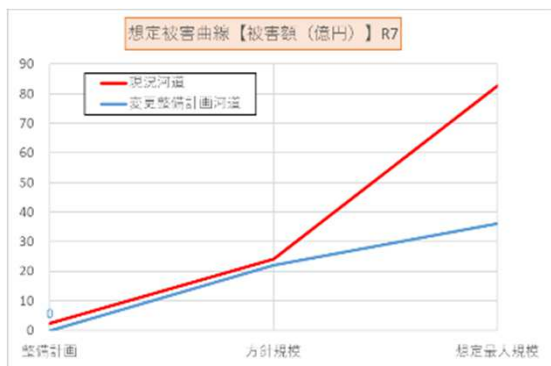


# (15) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R7ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて2億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

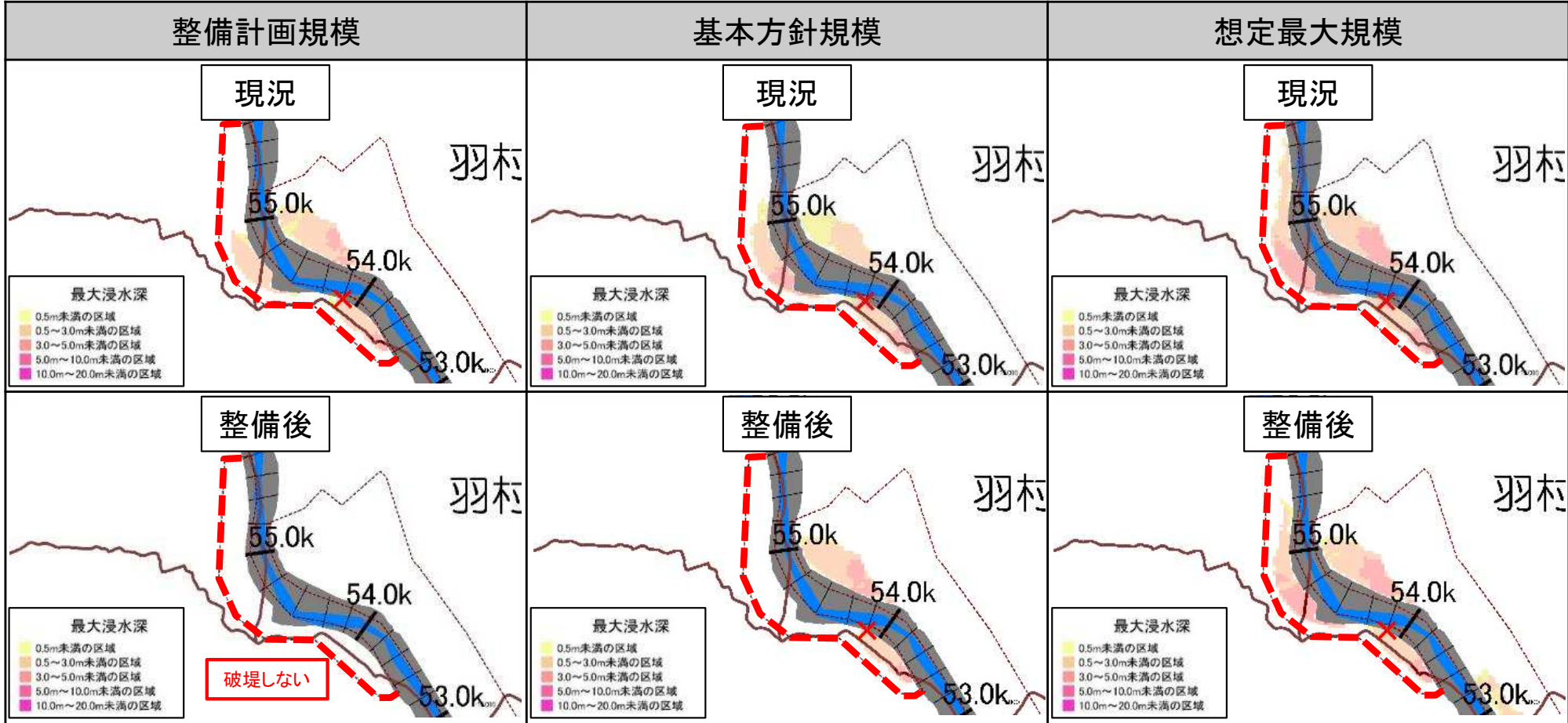


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

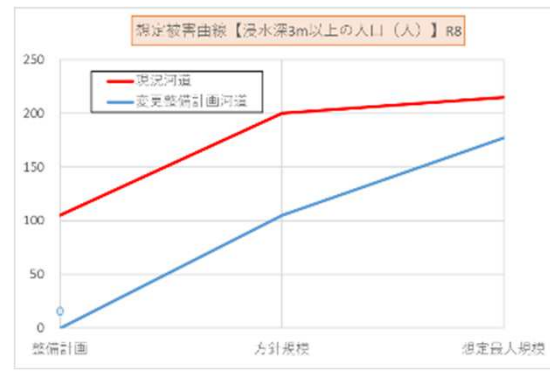
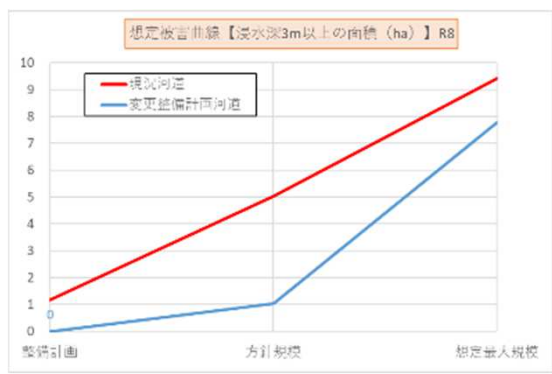
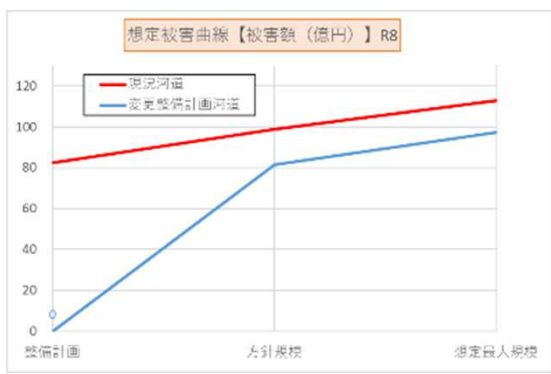


# (16) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:R8ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて17億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は3.99ha減少。

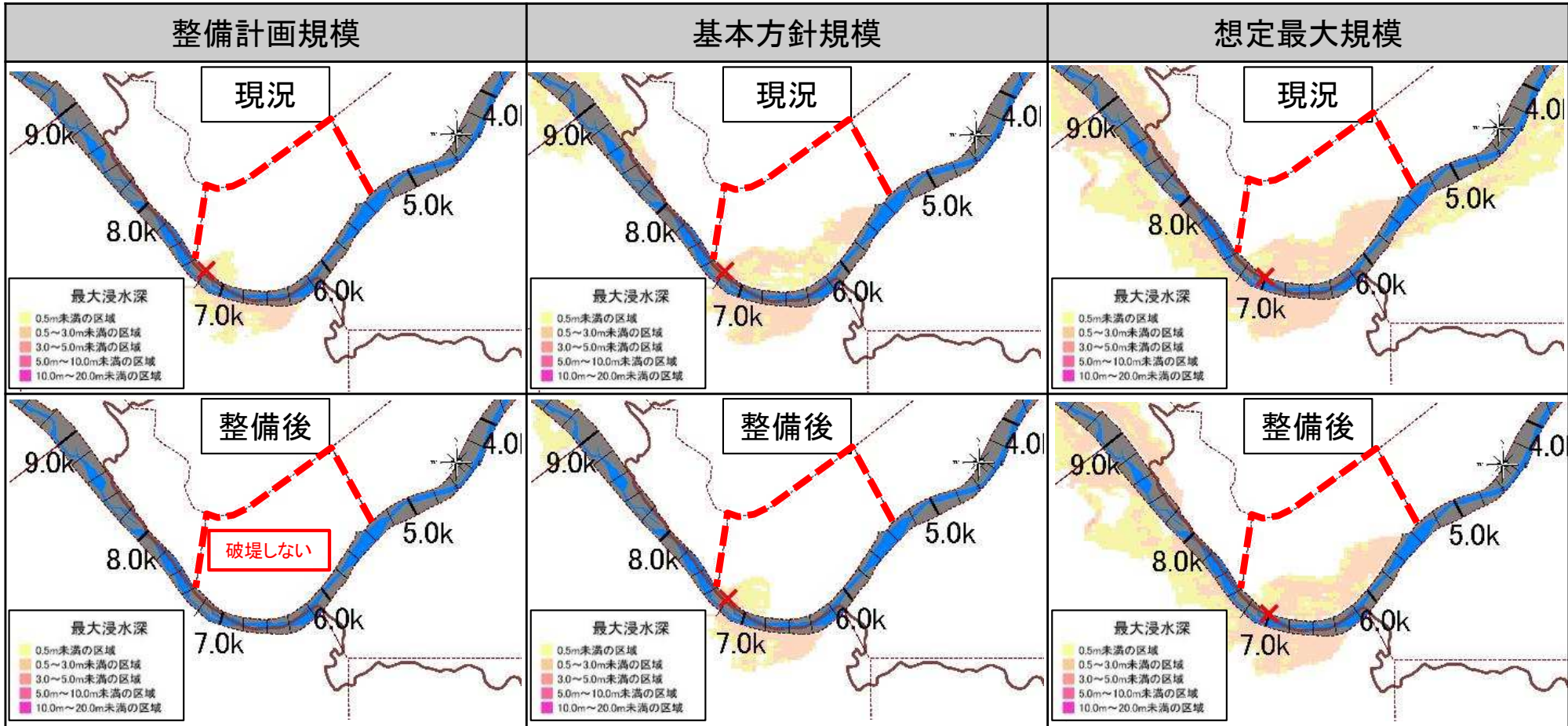


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

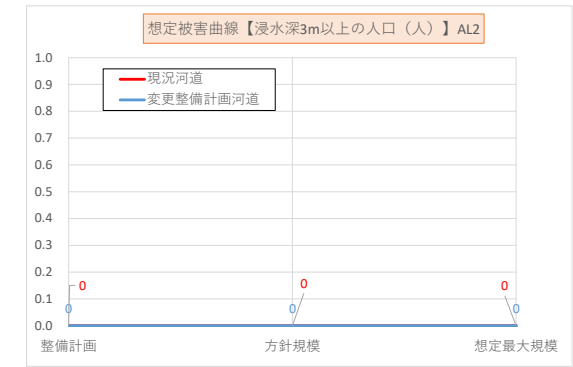
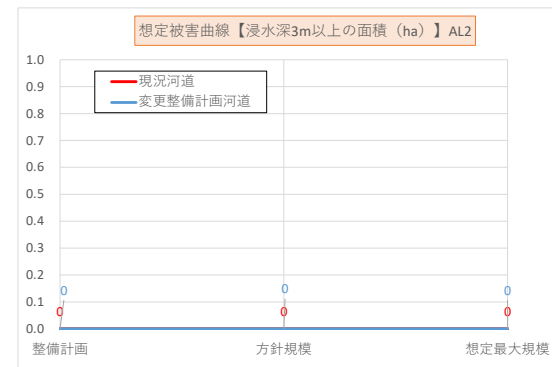
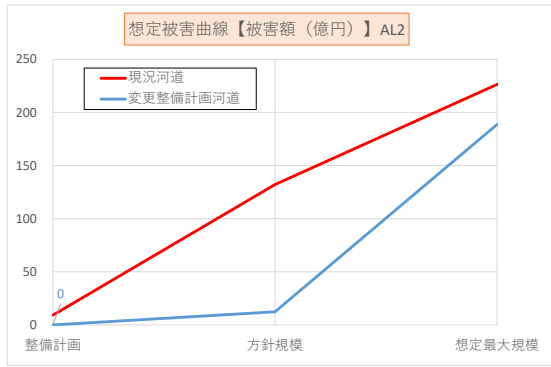


# (17) 氾濫シミュレーションの結果(浅川:AL2ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて120億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

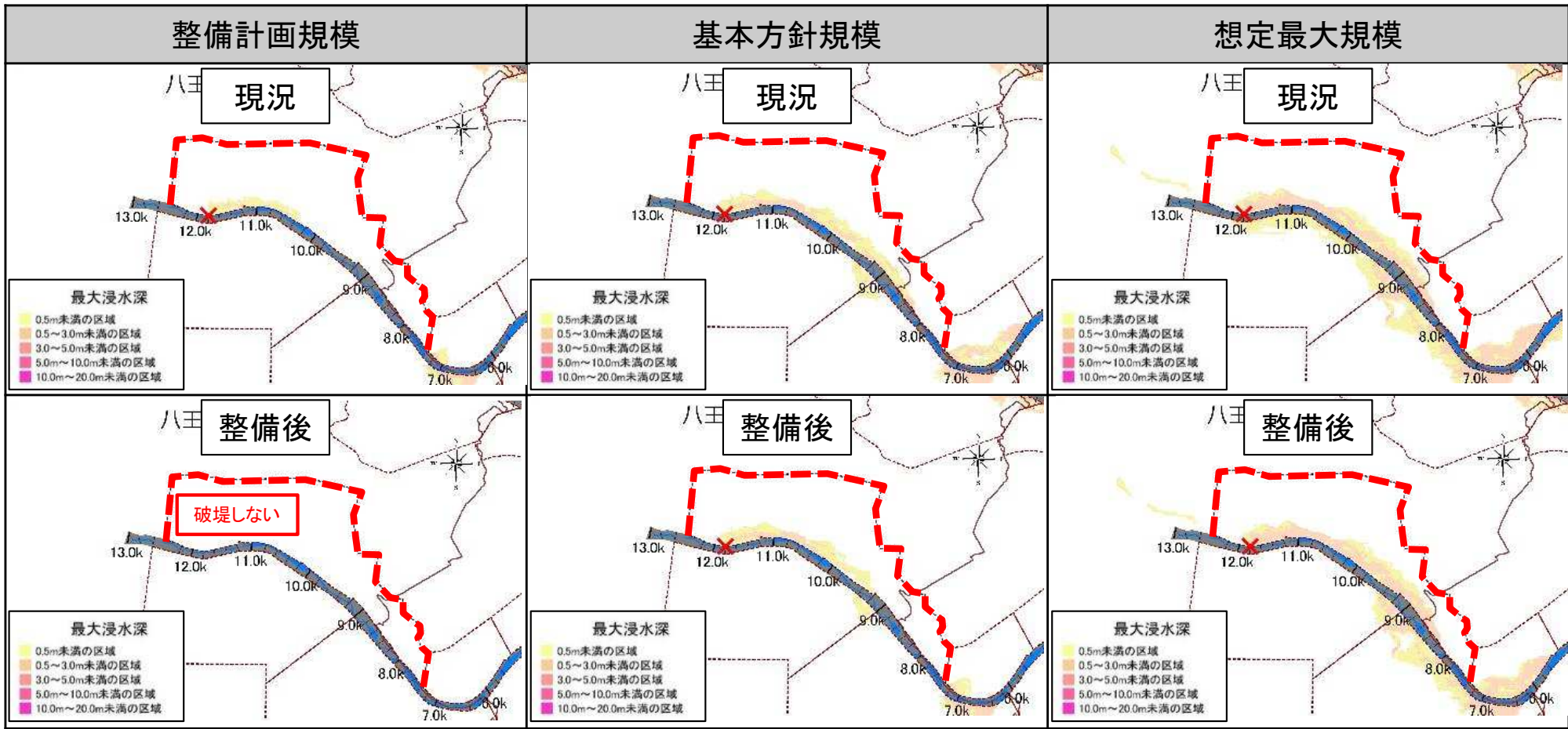


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

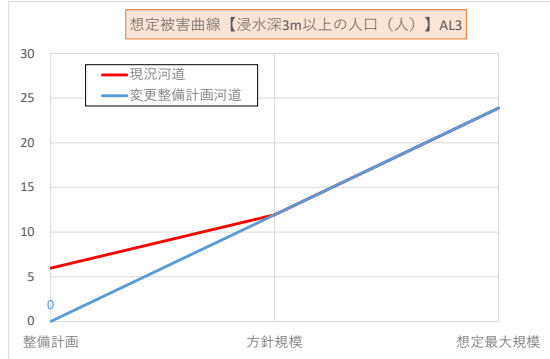
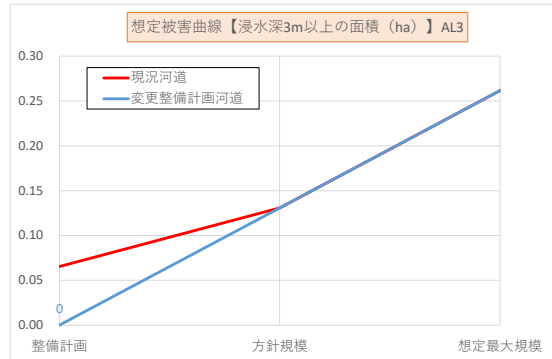
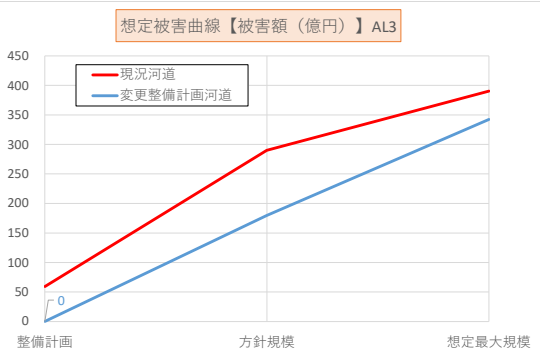


# (18) 氾濫シミュレーションの結果(浅川:AL3ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて110億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。



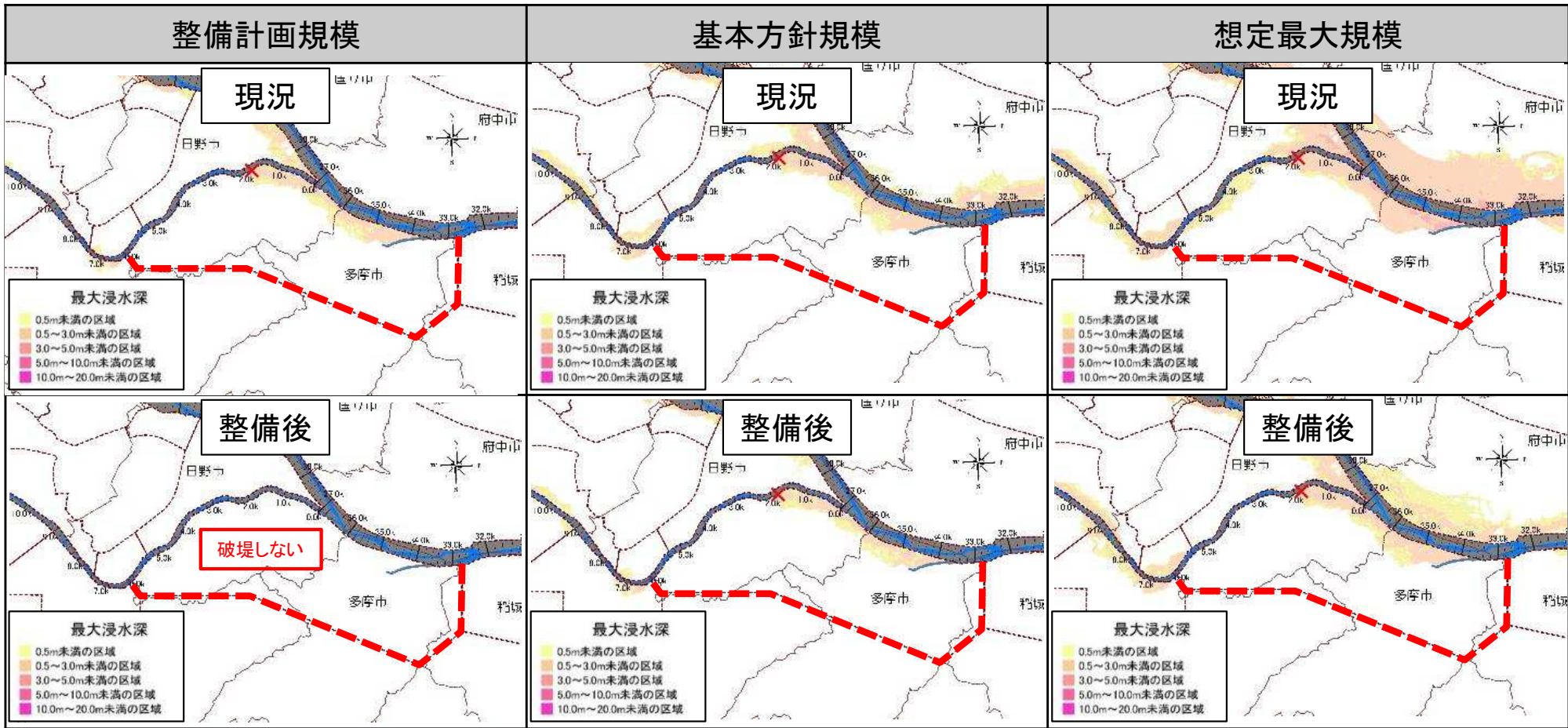
※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。



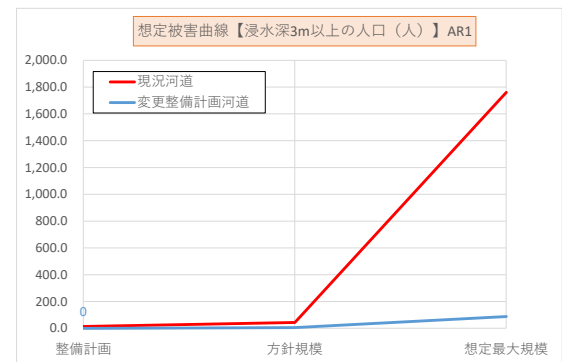
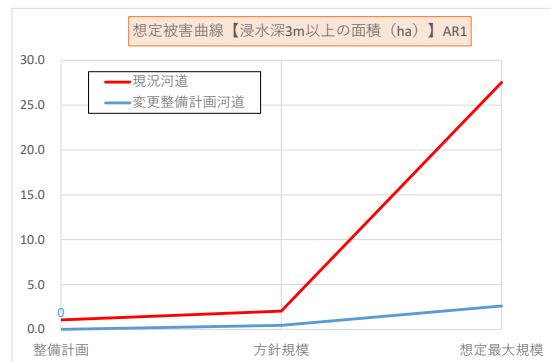
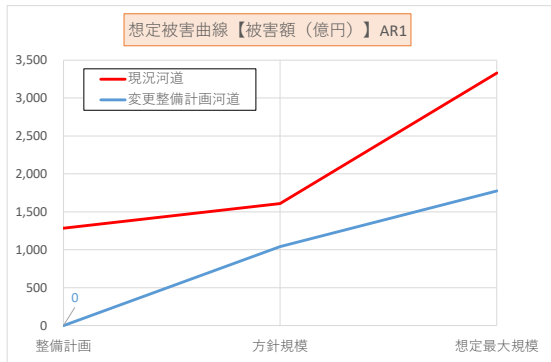


# (19) 氾濫シミュレーションの結果(浅川:AR1ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて569億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は1.57ha減少。

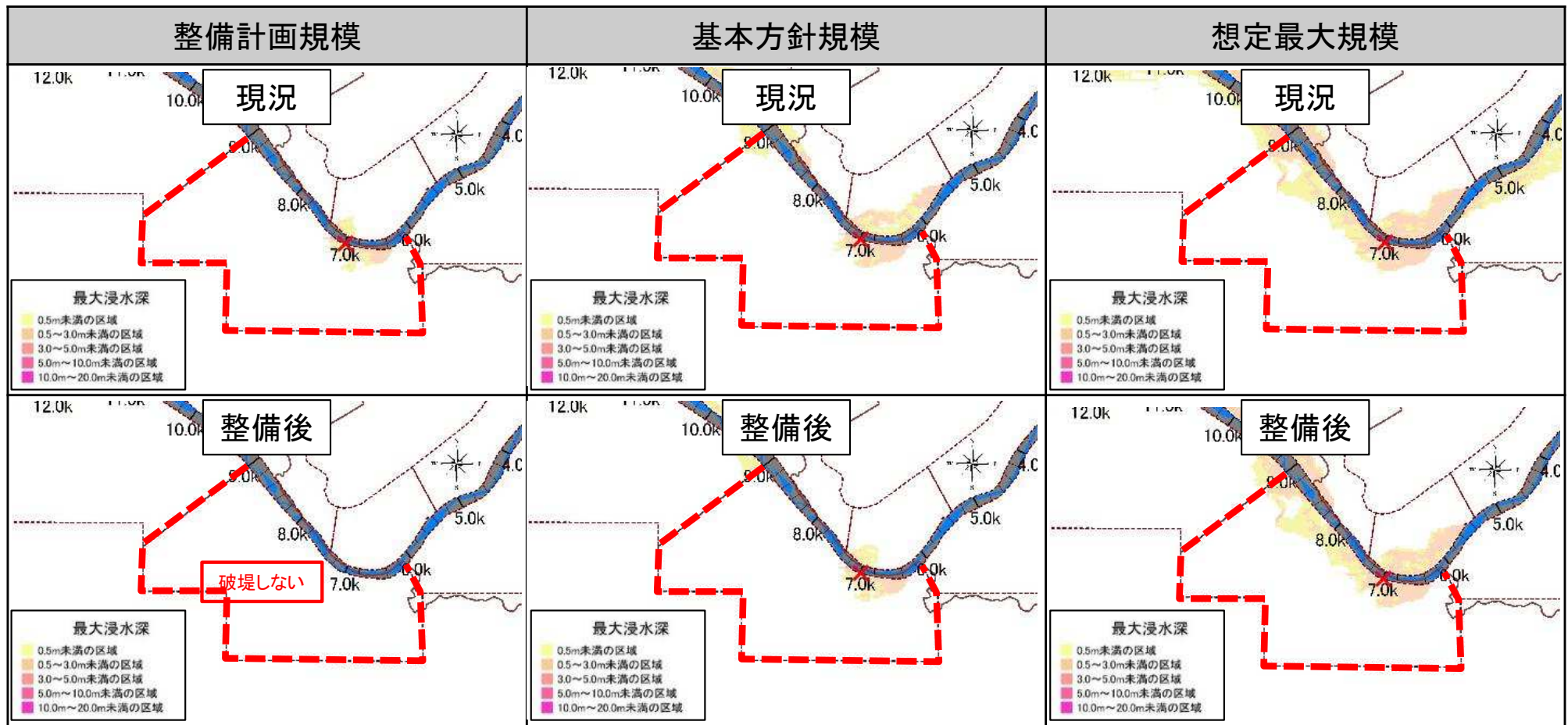


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

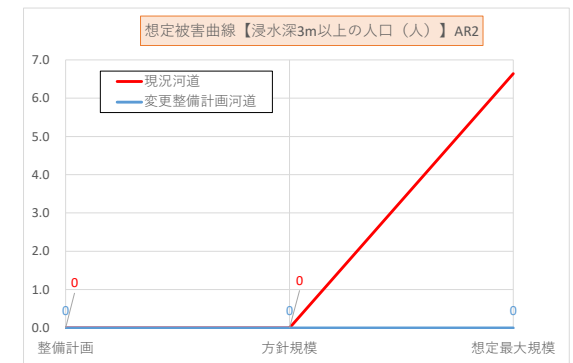
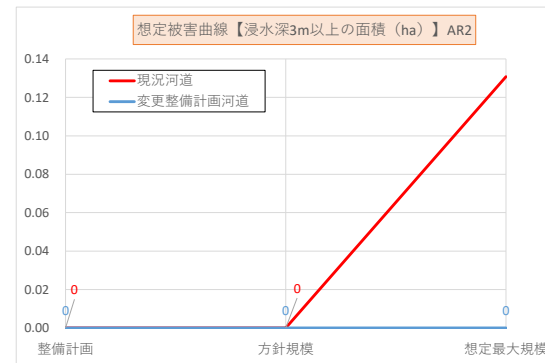
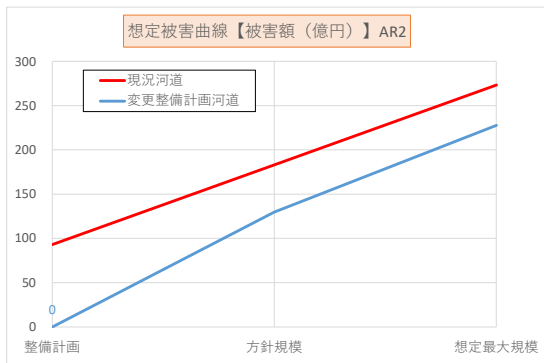


# (20) 氾濫シミュレーションの結果(浅川:AR2ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて53億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

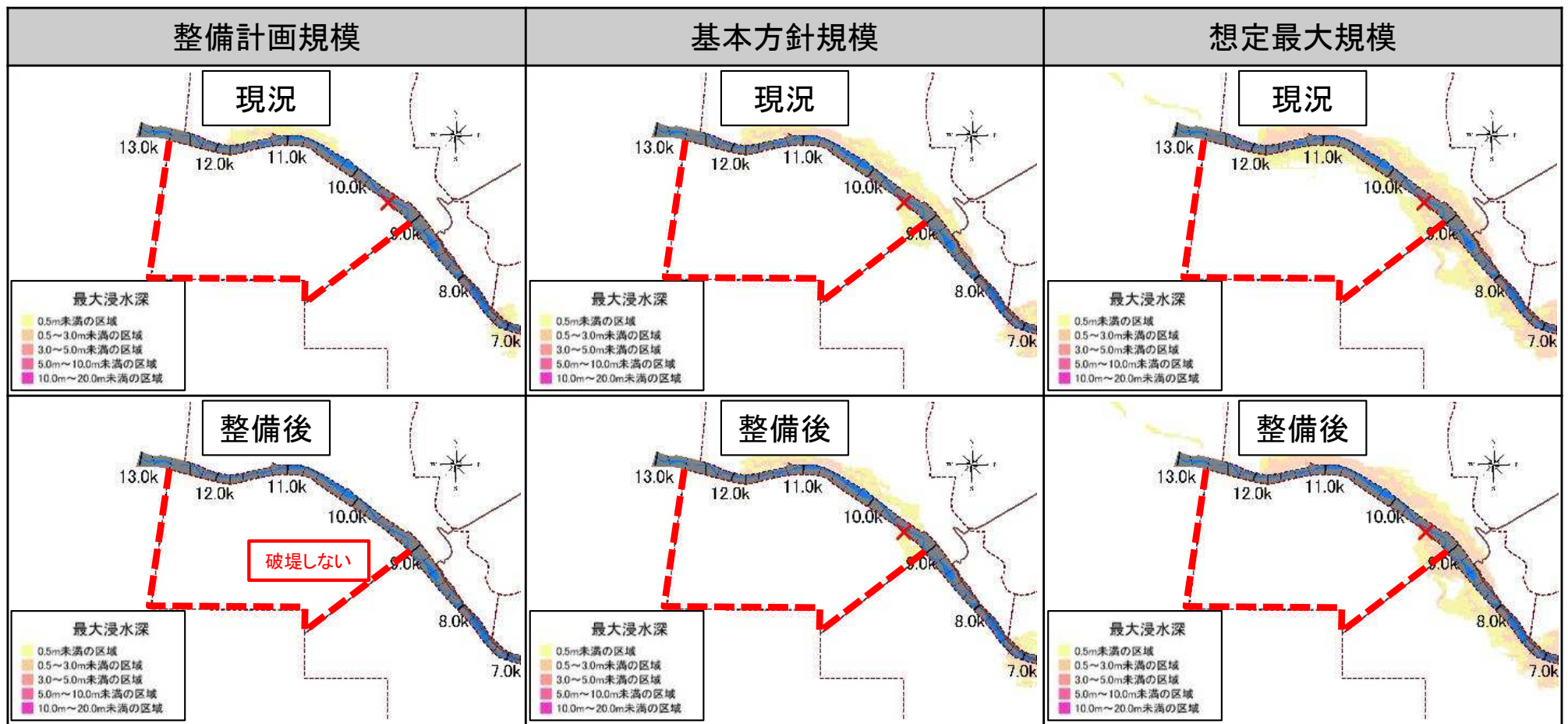


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

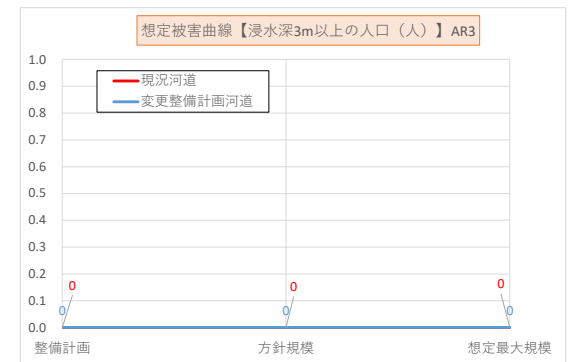
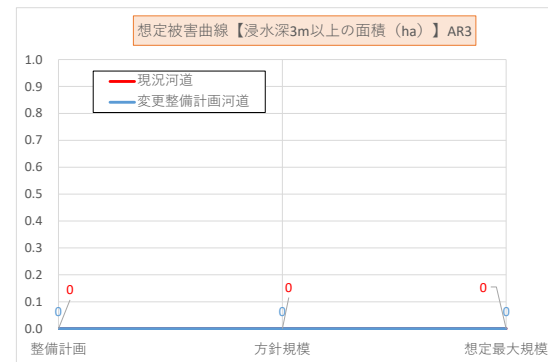
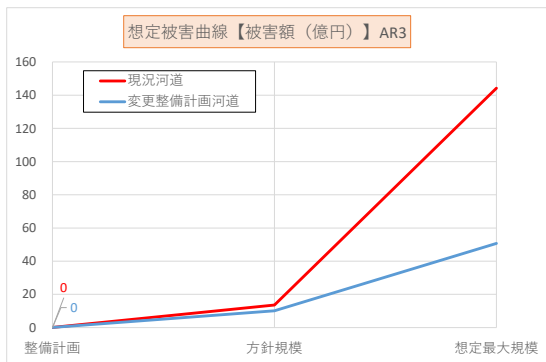


# (21) 氾濫シミュレーションの結果(浅川:AR3ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて4億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は変化なし。

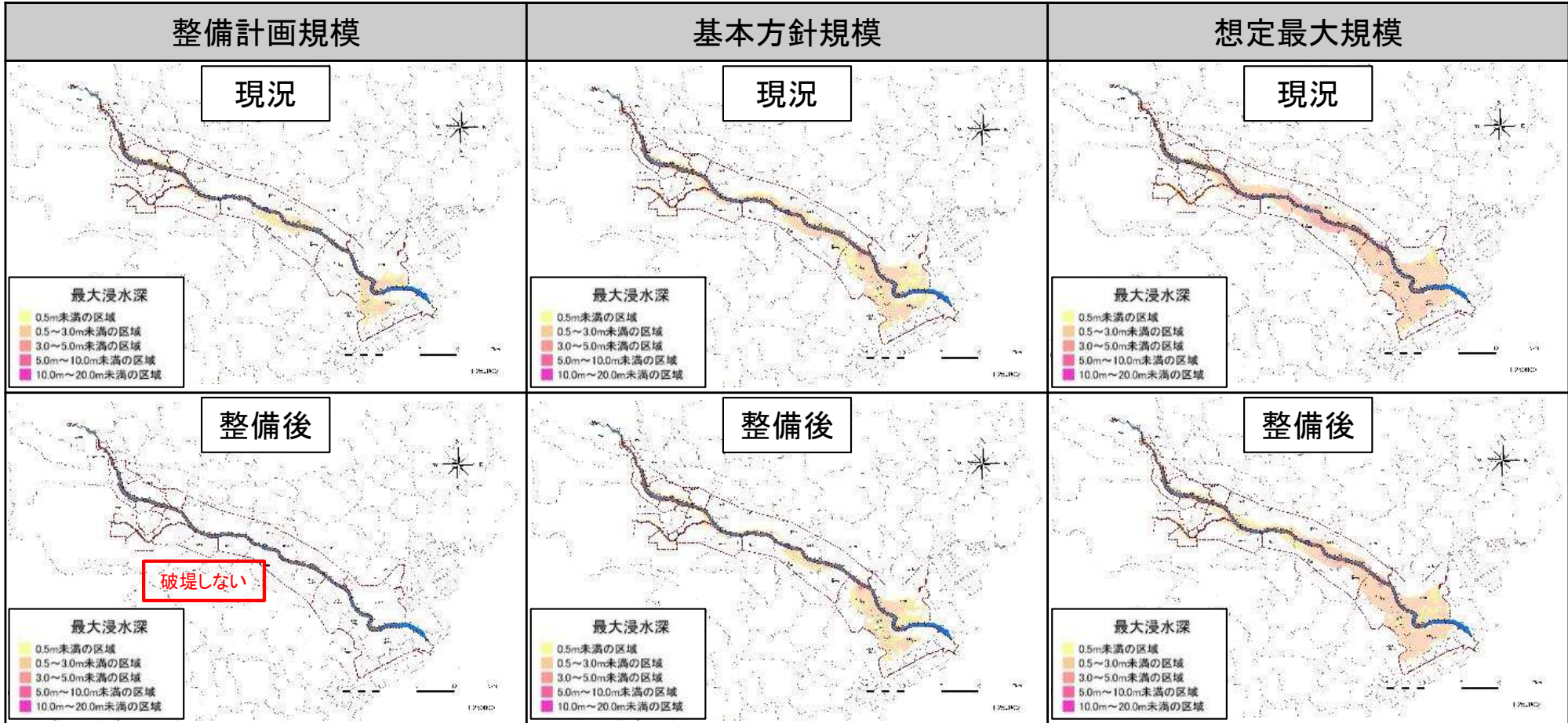


※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。

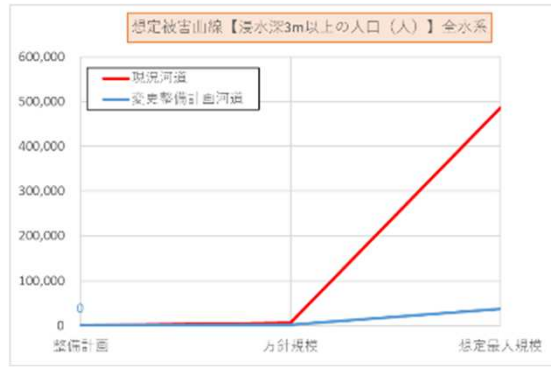
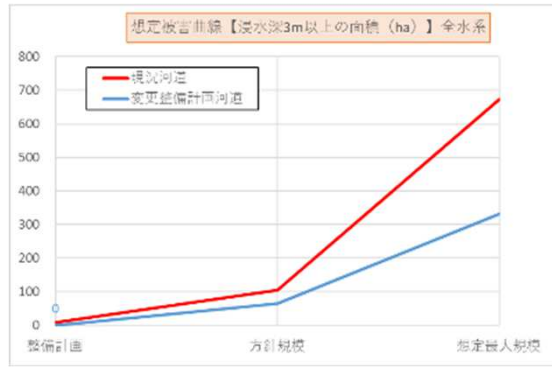
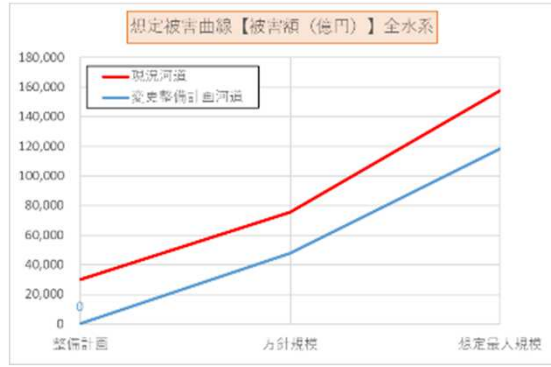


# (22) 氾濫シミュレーションの結果(多摩川:全ブロック)

○基本方針規模では、変更整備計画河道は現況河道に比べて28,027億円被害が軽減し、3m以上の浸水面積は43ha減少。



※本図は最大浸水深図をお示しています。  
 ※破堤点の上流で越流する場合は、越流による流量低減を見込んでいます。  
 ※浸水深3mは、1階の居室が概ね水没する水深です。  
 ※本検討は、暫定値です。



## (23) 参考: 代表破堤地点

- 氾濫ブロックごとに破堤敷高流下能力の小さい順に10地点を選定。
- 上記地点で破堤シミュレーションを行い、被害額を算定し、被害額最大の地点を代表破堤地点とした。
- 同一ブロックにおいても、現況河道と整備計画河道、確率規模ごとに破堤地点が異なる可能性がある。
- 多摩川R3ブロックは浅川AR1ブロックに含まれる。同様に浅川AL1ブロックは多摩川R4ブロックに含まれる。

河川	ブロック名	現況河道			整備計画河道		
		W=1/70	W=1/200	W=1/1000	W=1/70	W=1/200	W=1/1000
多摩川	L1	7.0k	9.6k	9.6k	-	9.6k	9.6k
	L2	23.6k	33.2k	23.6k	-	33.2k	23.6k
	L3	39.8k	40.0k	40.0k	-	40.0k	40.0k
	L4	48.0k	48.0k	48.0k	-	48.0k	48.0k
	L5	-	49.4k	51.4k	-	-	51.4k
	L6	55.0k	55.0k	53.2k	-	-	53.2k
	L7	-	61.4k	60.6k	-	-	60.6k
	R1	8.4k	14.4k	14.4k	-	14.4k	14.4k
	R2	27.2k	26.0k	26.0k	-	26.0k	26.0k
	R4	39.4k	39.4k	39.4k	-	39.4k	39.4k
	R5	-	42.2k	42.4k	-	-	42.4k
	R6	45.2k	45.2k	45.2k	-	45.2k	45.2k
	R7	48.2k	49.0k	49.2k	-	49.0k	49.0k
	R8	54.2k	54.2k	54.2k	-	54.2k	54.2k
浅川	AL2	7.2k	7.2k	7.0k	-	7.2k	7.0k
	AL3	11.8k	11.8k	11.8k	-	11.8k	11.8k
	AR1	1.8k	1.8k	1.8k	-	1.8k	1.8k
	AR2	7.0k	7.0k	7.0k	-	7.0k	7.0k
	AR3	9.4k	9.4k	9.4k	-	9.4k	9.4k

# 漁業関係者への意見聴取結果

- 京浜河川事務所では、多摩川水系河川整備計画変更の策定に向け、漁業資源を利用する側である多摩川沿川の漁業協同組合に対して意見聴取を行った。

意見聴取先：奥多摩漁協、秋川漁協、氷川漁協、川崎河川漁協、恩方漁協、多摩川漁協、大田漁協

分類	主な意見
魚道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アユは貴重な収入源であり、二ヶ領上河原堰の滞留魚対策は非常にありがたい。</li> <li>・ 京都府京丹後市を流れる宇川のように全面魚道にすれば、より遡上すると考える。多摩川は取水のための堰が多い河川であり、全面流下する構造への改築、または撤去を行って欲しい。</li> </ul>

## 【参考】

分類	主な意見
生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 羽村堰からの放流量が絞られて、平水時にアユが必要とする水深が確保できるかが疑問。</li> <li>・ チュウサギは問題ないが、アオサギ、コサギ、カワウはアユ等の魚類を捕食してしまうため、この鳥類を呼び寄せないようにして欲しい。</li> <li>・ 過去大量に漁獲出来たシジミが、昨今は少量しかとれない状況であるため、国土交通省でもシジミの調査に加えて、生息・繁殖環境の改善を考えて欲しい。</li> </ul>
土砂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アユの産卵床となる大きな礫が砂で埋まってしまい産卵できない。また、産卵床を整備しようとしても、砂が舞い上がり卵が駄目になってしまう。</li> <li>・ 土砂が流れ出てこないように、関係する様々な機関と連携して総合的な対策を講じて頂きたい。</li> <li>・ 掘削した土砂を何処へ持って行くかも問題。直下流に運搬しても下流に堆積するだけ。</li> <li>・ 昭和用水堰～八高線間に土丹が露出して礫が流されるため、生物の環境上好ましくない。</li> </ul>
水質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩川は他の人からみると「ドブ川」と思われてしまうこともあったが、令和4年9月に「清流めぐり利き鮎会」で準グランプリを取ることが出来た。水質が改善した証拠だと思う。</li> <li>・ 水温が高い下水道排水の影響が改善されると、魚にとってより良いと思う。</li> </ul>
河川の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩川の利用者が河川環境を理解してもらうために、上流～河口までカヌーやラフティングで流下出来るように横断工作物の修繕を行えば興味を持ってくれるのではないかな。</li> <li>・ 部分的でもきれいな川になれば、ゴミ拾いをしてくれる人が現れ、活動の連鎖が生まれる。</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高水敷において自治体がグラウンド等で利用していると思うが、仮設トイレが立ち並んでいて、多摩川の景観上望ましくないと思う。</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元で話して頂く事が重要と考える。多摩川の魅力発信にも繋がるためシンポジウムなどで情報発信してほしい。</li> </ul>